

Kansai University Alumni Association News

関大

第580号

平成26年(2014年)3月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

卒業
特集

贈る言葉—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長
新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
定年退職5先生のお別れの言葉

ソチ冬季五輪 町田5位、高橋6位入賞

2014スプリングフェスティバル

4月6日(日)に千里山キャンパスで開催

第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会

5月26日(月)に天野山CCで開催



6,300余人の新学士が学舎を巣立つ(写真は昨年の卒業式)



高岳館



高槻キャンパスに総合情報学部が誕生する2年前の平成4年（1992年）4月に、100周年記念セミナーハウスとして竣工した。

同キャンパス内の中央付近、正門を入れて右側にある。鉄筋コンクリート3階建てで、200人収容の大教室1室、50人収容の小教室4室、100人収容の資料室のほか、宿泊施設として洋室が24室（2～4人収容）、和室12室（8人収容）、100人収容の食堂ほかがあり、最大196人が宿泊できる。

宿泊施設は、ホテル顔負けで、ゼミ学生やクラブ学生に大人気となり、利用者は開館以来5カ月で5,000人を突破した。

今も、夏休み、冬休み、春休みはクラブの合宿等で、普段の週末はゼミ合宿等でほぼ満室の状態が続く。利用できるのは、学生、教職員とアイスアリーナ利用者。

関大 580号 目次

卒業特集

- 2 **新卒業生に贈る言葉**—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長
卒業に当たって—新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
大学を去るに当たって—定年退職5先生のお別れの言葉

大学・学生関係

- 12 **ソチ冬季五輪フィギュア男子シングル**
町田樹5位、高橋大輔6位に入賞
学内では深夜の応援会、350人がエール送る
寺内会長らは現地で応援、寄せ書きの日章旗を手に
2014年度一般・センター利用入試終わる
志願者数は2.9%減の84,248人
「再現！道頓堀の芝居小屋—道頓堀開削399年—」展
4月19日から大阪くらしの今昔館で開催

- 20 **校友抄〈6〉** 都島支部相談役 **乙咩淑子氏** (昭29学文)

本部活動

- 22 **2014スプリングフェスティバル**
4月6日(日)に千里山キャンパスで開催
校友会新年互礼会に260人集う
第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会
5月26日(月)に天野山カントリークラブで開催
- 25 **九州地区支部連合会「幹事長研修会」報告**
28 **海外支部だより** 会と催し
32 **北から南から**〈各地支部だより〉
52 **新刊紹介** 計報



■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



草の甲

人間の願ひ事は、健康であつたり商売繁盛や、あるいは家内安全であつたり、今も昔も変わりません。そんな面白いテレビ番組が有りました。それは、仏像の世界に表現されていて、仏教という仏像は、大きく①如来、②菩薩、③明王、④天に分類され、階級が明確になっているそうです▼企業に置き換えて考えると、①如来は、社長や会長に当たり、悟りを開いているのは如来だけで、その他は修行中らしいです。如来は、お釈迦様の像にしているのでも、座り姿勢で、服装は質素で袈裟のみを身に着けています。仏教が広まるにつれ、より専門的になり、極楽浄土に導く阿彌陀如来、病気を治す薬師如来となったそうです▼②菩薩は、部長、中間管理職で、如来だけでは沢山の民衆に伝えられなくなってきたので、いち早く動けるように立ち姿で片足を少し前に出していたり、馬に乗っていたりします。有名なのは弥勒菩薩で、より庶民の近くで支持されたのが、お地藏さんのようです▼③明王は、慈悲の心ではなく怒りの形相で仏教を護るガードマン。不動明王の様に入り口に配置され、怖い顔をしています▼④天は、インドの神話に出てくる神で、野球でいう助っ人外国人のようなもの。葛飾柴又の帝釈天や戦国武将に愛された毘沙門天で今のAKBの様に、単独で行動したり大黒天や弁財天と七福神となってユニットを組んだりして民衆に親しまれたらしいです▼『願ひ』の数だけ仏像が有る、こうした人間のご利益主義が、多種多様な仏像を生んだようです。

6300余人の「考動する関大生」が世界での活躍を胸に巣立つ

4年間のキャンパスライフを「考動する関大生」として過ごした若者たちが、卒業の時を迎えた。グローバル社会での活躍を胸に、思い出深い学舎を巣立っていく。

平成25年度学部卒業式は、3月20日、午前10時と午後2時から千里山キャンパスの中央体育館で挙行され、今年初めて卒業生を出す人間健康学部と社会安全学部も含め6300余人の新学士が誕生する。

また、大学院学位（修士・専門職）記授与式は、22日午前10時から第2学舎4号館BIGホール100で挙行され、約725人が卒業する。

本号では、「卒業特集」として、寺内校友会長、楠見学長、

池内理事長から、それぞれ「新卒業生に贈る言葉」をいただいた。

また、課外活動やボランティア活動などで充実した4年間を送った8人の新卒業生に、学生時代の思い出と新たな社会に踏み出す決意を語っていただいた。さらに、3月末をもって関西大学の教壇に別れを告げる先生方の中から、5人の先生に「お別れの言葉」を執筆していただいた。

なお、今年2期生を出した高等部は2月15日に、第一高等学校は2月20日に、北陽高等学校は2月22日に卒業式を挙行し、それぞれ131人、413人、394人が学窓をあとにした。



新卒業生に贈る言葉

常に柔らかく、強い心を

校友会長 寺内 俊太郎

は、初めての卒業生を輩出され、これまで最も多くの卒業生を送ることとなります。

卒業生活を送る上で、ご家族の方々には数多くのご支援をいただいたことと思いが、心から有難く存じますとともに、皆さんは卒業を期に改めて感謝の気持ちを表して戴きたいものです。

1ヶ月前には、ソチ五輪において、関西大学から高橋大



4年前に関西大学の門をくぐり、今日は輝かしい門出の卒業式を迎えられる皆さん。誠におめでとうございます。社会安全学部と人間健康学部で

大きな成果を生み出したと思っています。

皆さんも、ハードルにかかる度に立ち止まって、問題の本質は何かと新しい解決方法を導き出して戴きたいと思っています。

海外を含む全国各地で活躍中の校友には、各地の校友で組織運営されている131の地域支部、110の職域会・同期会等があり、関大の同窓であるという結びつきで、それぞれの活動を行っており、校友会が目指す社会との連携、地域との連携に深く関わり、活動の中でそれぞれが人間力

いずれも、支えてくれた家族を含め周りの方々への感謝を忘れず、くじけない強い心とひたむきさを失わない心が、

を高め、校友の輪を更に広めておられます。

皆さんがこれら地域支部等に積極的にな所属され、2016年に創立130周年を迎える母校との絆を結んでいただき、充実した社会生活の一助としていただければと願っています。卒業後の皆さんの活躍は、母校・関西大学の評価、好感度を高め、一層の充実発展につながることであります。地域支部等で、また皆さんとお会いしましょう。

卒業生の皆さんの大いなる飛躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

新卒業生に贈る言葉

世界で活躍できる人生を

目指して

学長 楠見 晴重



数々の思い出が詰まった関西大学を巣立って行く皆さん卒業おめでとうございます。皆さんの在学中の様々な努力に対して敬意を表するとともに、健やかで充実した学生生活を

送ることができたことについて、ご両親はじめお世話になった方々とともに、皆さんに対して感謝したいと思います。皆さんの在学していた4年間は、学内外において多くの出来事がありました。先月、ロシアのソチで開催された第22回冬季オリンピックにおいて、高橋大輔、町田樹両君の活躍は記憶に新しいものです。高橋君は、2006年のトリノ大会から3大会連続出場ですべて入賞、日本のフィギュア

アスケート界を引っ張ってきでくれましたが、何より関西大学の私たちに大変な勇気を与えてくれました。改めて高橋君の健闘に心からの感謝の意を表すると共に、関西大学の大きな誇りとして、私たちの心にもいつまでも輝き続けるものと確信しています。

また、3年前の2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原発事故も、忘れてはならない大災害です。被災された多くの方が未だに仮設住宅で暮らしておられますが、一日も早い復興・復旧が望まれます。今般の卒業式を迎えた関大生の中にも被災学生がいますが、逆境を乗り越えての卒業には、全関大人が誇りに思っています。さらに

皆さんの中には、直接被災地を訪れボランティア活動に参加した人もいますが、皆さんも、関大の誇りであると共に、今後とも、東北地方の復興・復旧に関心を抱き続けて下さい。

さて、世界はボーダレスの時代に入ったと言われ、人、物、情報が国境を越えて自由に行き来し、それは加速度的に進展しています。そして若い人達はグローバルな人材としての期待が高まっています。グローバル人材とは、単に語学運用能力が高い人を指しているのではなく、異文化と、その多様性にレスポンスし、一方、自らのアイデンティティとしての日本の社会、文化を深く理解しつつ、あら

ゆることに積極的に関与できる心を持っている人です。皆さんが活躍するこれからの社会は、このグローバル化がますます進展するとともに、他方、地域社会にも多くの課題が山積しています。国際社会の課題も地域社会の課題も、これらを解決するためには、国際理解と国境を越えた人々と協調していかなければなりません。皆さんには卒業されても、グローバルに活躍できる人材として普段の努力を怠らず、頑張っ頂くことを期待しています。

最後に、体を鍛え、心を磨き、地球社会で活躍されることを祈って、みなさんの卒業に対する私からの饒の言葉といたします。

門出を祝して

理事長 池内 啓三



たり、心からエールを送ります。そして、学費の支弁をはじめ、皆さんを物心両面から懸命に支援して下さい。ご家族、ご関係の方々には、私からも深く感謝申し上げます。

本学は、「正義を権力より護れ」を建学の精神とし、学理と実際の調和を説いた「学の実化（じつげ）」を学是に掲げ、一貫して社会・市民の啓

発と教育に取り組んでまいりました。一法律学校として出発した本学が、3万5千人の学生・生徒等を擁する一大総合学園に発展いたしましたのも、ひとえに、全42万校友が世界中で本学の使命や理念を体現され、活躍されてきたことによるものであります。

本学は、2016年に創立130周年を迎えますが、そのキャッチコピーであります「この伝統を、超える未来を。」（関西大学130周年）のとおり、過去の栄光に安住することなく、さらに社会から求

められ、評価される大学とならなければなりません。そのためには、皆さんの今後の活躍が不可欠です。卒業生が社会に出て受ける評価は、母校の評価となり、やがて本学の永き歴史の1ページとなることを自覚して、大いに奮闘頂きたいと願っております。

さて、我が国の経済は、ようやく上向いてきましたが、われわれを取り巻く社会情勢は依然厳しく、未来を担う皆さんへの期待は多大なるものがあります。社会に出ますとすぐに職業人として自立するこ

とが求められるでしょう。しかし、臆することはありません。皆さんの進む先には、あらゆる分野で活躍されている先輩方がおられ、世界中にそのネットワークが張り巡らされています。卒業してからの方が、むしろ、関西大学の絆を強く感じるほど、校友の輪は皆さんにとって頼もしい存在となるでしょう。

皆さんが今後、学んだ知識を総動員して、自ら考え、決定し、志をもって行動する人材となり、世界中で関大校友の存在感を高めて下さることを大いに期待しております。

関西大学での豊かな経験を通じて大きく成長された皆さんが、社会へ旅立たれるにあ

卒業に当たって

学生生活4年間の思い出

小さな経験の積み重ねで

「成長」「成果」を実感

今井 智子（社4）

文化会落語大学渉外、芸名は花の家なこみ。平成25年2月に開催の第10回全日本学生落語選手権「策伝大賞」で優勝。女性落語家が大賞に選ばれたのは大会史上初。



私は、落語大学に所属していました。部の活動の中で、最も印象に残っていることは、3年生の時に出場した全日本学生落語選手権「策伝大賞」で優勝を果たしたことです。あの大舞台に立った時、私は生まれ変わりました。この優勝は一朝一夕で得られたものではありません。その背景にはたくさんの出会い

と苦悩があります。

落語大学は、地域の施設（公民館、老人ホーム、図書館等）から依頼をもとにボランティア公演を行っていて、私はそれらの依頼を受ける渉外を務めていました。公演の運営に参加して様々な所に呼んで頂き、毎日が新鮮でした。いくつも公演を行っていると、時には納得のいかない形で終わってしまうこともよくありました。私は、その度に強烈な悔しさを感じました。その悔しさは自分の失敗による恥ずかしさではなく、お客様の期待に応えられなかったやりきれなさからくるものでした。

私は、この経験を通じて「絶対に、お客様にいいものを見せる」と強いポリシーを持っていました。芸をする者の責任の大きさと、舞台を用意して頂けることのありがたさを痛感したのです。成功と失敗を何度も繰り返し、いつも謙虚な気持ちでいることを心がけていました。

そして、私の周りには切磋琢磨できる仲間がいました。いい舞台を作るために真剣に向き合う仲間との関係は、まさに私の成長の糧でした。厳しい言葉をかけ合うこともありましたが、それによって気づかされること

もたくさんありました。

私は、一見失敗や何も変わっていないと思えるような小さな経験を積み重ねていくことが「成長」だと思っています。忘れたような苦い思い出も、積もり積もれば大きな成果につながるのだと実感することができました。

感謝の気持ちを忘れずに

次のステージで恩返し

大宮 良（政策4）

体育会アイスホッケー部主将。第86回日本学生氷上競技選手権大会ホッケー部門競技4位。



私は、体育会アイスホッケー部に所属していました。アイスホッケー部に所属していた事で、たくさんの方を経験する事が出来た。特に最高学年であった4年生の時には、キャプテンを務める事になり、チーム全体で同じ目標に向かうことの難しさ大切さを実感しました。今までは、自分が結果を出すことだけを考えていましたが、

キャプテンを務めたことで、自分の結果よりもチームの勝利を考えるようになりました。17年間のアイスホッケー人生で初めてキャプテンを務めたため、戸惑うことも多く、悩むこともありました。13人の同期に支えられ、更に最後までついてきてくれた後輩達、応援してくれた友達やOBの方々、指導してくれた監督・コーチ、どんな時も支えてくれた家族のおかげで、最後までキャプテンを務めることが出来ました。

目標であった日本一という形で恩返ししようと考えていましたが、果たす事が出来ず、とても悔しく思います。

私は、幸いに今後も日本のトップリーグでアイスホッケーを続けることができます。この悔しさを忘れず、次のステージで結果を残し、今までお世話になった方々に恩返ししたいと思います。

大学4年間で学んだアイスホッケーを忘れず、自分がトップリーグで活躍することで、関西大学のアイスホッケーは、プロでも通用するということを示していきたいです。

最後になりましたが、関西大学の体育会に所属していたという事は、本当に大きな財産となりました。今までご支援・ご指導いただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも体育会アイスホッケー部をよろしく願います。

人との繋がりに感謝

越智 翼（法4）

体育会重量挙げ部主務。第61回関西学生ウエイトリフティング選手権大会1部3位。



「人との繋がりの大切さ」を学ぶことが出来た4年間でした。これを教えてくれたのは、体育会重量挙げ部の主務としての活動でした。私は選手として、主務として、部員が競技に専念できる環境作りを目指して取り組んできました。

部を運営するための日々の事務処理や、試合や合宿に参加するための手続きなど、主務の仕事は多岐にわたります。良いように言うとう部を運営するための不可欠な仕事であります。これらの仕事を主務がこなすことは当たり前の仕事です。そんな当たり前の仕事と向き合いながら、新しいことにも挑戦しました。

練習場の改装工事の実現は

その1つであり、練習環境を大きく向上することが出来ました。スポーツ振興グループを始めとする職員の方と打ち合わせを何度も行い、完成した新しい練習場を見たときは本当に嬉しかったです。

主務の仕事と取り組む中で私は失敗の方が多かったですが、しかし、どんな時でも周りの仲間が私を支えてくれました。時にはお叱りを受けながら、共に喜び、励ましがあったからこそ主務の責務を果たすことが出来ました。

私は選手としては、良い成績を残すことが出来ませんでした。しかし、競技成績以上に重量挙げで培った経験は、私にとって誇りです。一人で出来ることは本当に限られており、私たち体育会は特に、大学やOB・OGの先輩方を始めとする周りからのご支援・ご声援があつてこそ部が成り立っていることを痛感しました。人との繋がりの大切さを私は主務の仕事を通して学ぶことが出来ました。

支えて下さった多くの方々に感謝し、何よりも親に感謝の気持ちでいっぱい입니다。人との繋がりの大切さを忘れずに、4月からは社会人として新たな道を進んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。

自分の思いを正確に伝えることの大切さ

木林 玲央奈（外4）
学術研究会英語研究部、ドミトリ1月が丘寮入寮。



私の大学生活は、「伝える」ということについて考えた4年間だったと思います。私は英語研究部（ESS）に所属し、社会問題を扱ったスピーチ作成をメインに活動してきました。スピーチ活動をしてきた理由は、人に希望や勇気を与えられるような、聞いている人の記憶に残るスピーチを作りたいからからです。

目標を大きく掲げながらも、自分の気持ちをうまく言葉にするには、多くの練習が必要でした。厳しい評価をたくさんもらいましたが、仲間の協力を得て自分と向き合い、またスピーチの内容、言葉の選択、発音、表情、ジェスチャーなど様々な視点からスピーチの価値を一つ一つ高めていきました。

伝えたいという気持ちを持つことは大切です。しかし、人それぞれ価値観は違い、相手の立場を考えた伝える工夫の方が大切なのではないかということに、部活動だけでなく4年間の寮生活からも気が付かされました。日々の礼儀や何気ない会話も、相手を思うことが言動に反映されるため、様々な寮生と関わることで意識をしました。

3年生では、最後に大きな大会で入賞することができましたが、決して一人では達成できなかったことです。そばで応援してくれた仲間がいることが一番幸せなことだと感じます。そして、これまで様々な場面で、英語研究部の活動を支援して下さいました大学関係者の皆様、言葉の大切さを教えて下さった田尻教授へ、心からお礼を申し上げます。

この4年間で、自分の思いを正確に伝えることがどれだけ大切なことを学びました。私は春から教員になります。大学での経験を活かし、生徒一人ひとりに寄り添って適切な声掛けをしていきたいです。

悔しい一戦でチームは成長 結束一層強まる

久保 隆一（社4）

軟式野球同好会前主将、第35回全日本大学軟式野球選手権大会4位、関西六大学軟式野球春季・秋季リーグ戦では4連覇中。



「大学軟式野球」というマイナースポーツに全力を注いだ4年間でした。私は、軟式野球同好会で主将を務めました。私たちが所属している関西六大学連盟は、2011年に全国制覇を果たした同志社大学をはじめ、強豪が揃っており、入部して2年間は思うような成績を残すことができませんでした。

「全国制覇・西日本制覇」という目標を掲げて、新チームは始動しました。最終戦までもつれた春季リーグを18年ぶりに制し、全日本大学選手権への出場権を得ました。忘れられない悔しい一戦があります。準決勝、東北福祉大学戦。1対1で迎えた延長12回、試合は2時間半を超え、ノーアウト満塁から始まるタイブレークに突入しました。長短打で一挙に4点を奪い、勝利を確信しました。しかし、裏に追いつかれ、相手の底力に圧倒されました。

ネット契約で保険料を節約！まずは見積りから。

自動車保険 **そんぽ24**
海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/car>

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険事業部・オフィス事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社 豊中市新千里北町2-20-8 TEL0120-50-5421 / 関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内

一瞬の油断と、主将としての力不足が招いた敗戦でした。翌日の3位決定戦でも敗れ、4位で大会を終えました。この試合があったからこそ、チームは成長し、結束がより一層強まりました。その後、秋季リーグを制し、西日本大学選手権では19年ぶり2度目の優勝を果たすことが出来ました。4回生の夏に「全国制覇」という目標に再びチャレンジしましたが、ベスト8で敗れました。この目標は後輩たちに託したいと思います。

同好会という立場ながら、目標に向かって努力し、このような成績を残すことができたチームを誇りに思います。この経験を糧に、春からは社会人として日々成長していきたいと思います。

最後になりますが、この4年間、素晴らしい舞台を経験できたのは、OB・OGの先輩方、共に戦った仲間、支援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

フィギュアスケートで 得たこと・学んだこと

国分 紫苑 (社4)
体育会アイススケート部。第86回日本学生氷上競技選手権大会フィギュア部門競技女子Aクラス団体優勝(3連覇)。

私は、体育会アイススケート部に所属し、有意義で充実した4年間を過ごしました。自らの



大学生活を振り返り、今まで支えてくれた人々への感謝の気持ちが一杯であると共に、計り知れない経験という財産を得ることが出来ました。

特に思い出深いのは、4年生の1年間であり、今までで最も苦しく、辛い1年間でした。18年続けたフィギュアスケートのラストシーズンでもあったので、集大成として後悔したくない思いが強く、日々全力で取り組んでいました。しかし、6月あたりから、入院、怪我が絶え間なく続き、なかなかスケートが出来なくて、非常に辛い日々でした。大好きで楽しい練習も、痛みを我慢しながらだったので、楽しさを感じることさえ出来なくなっていました。

この時、私の大きな支えになったのは、コーチ、友人など私の周りにいた人々です。コーチ陣は、私にとって最善の方法を

考えてくれたり、友人は、私の精神面においてサポートしてくれました。思い返してみると、様々な面で支えてくれた周りの人々がいないければ、私はラストシーズンを乗り越える事が出来なかったと思います。

辛いシーズンではありましたが、辛さも今となっては良い思い出であり、なかなか物事が思うようにには進みませんでした。悔いのないラストシーズンでした。むしろ、私は周りの人々に支えられて生きているという事、スケートが大好きだという事を改めて実感できた。集大成に似つかわしい素敵なラストシーズンでした。

スケートを引退した今、私は諦めなければ、何事でも乗り越える事が出来ることを学びました。今後の人生も、周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、スケートでの学びを活かせるよう努力し、前進し続けます。

信頼できる仲間と共に 人間として大きく成長

小関 ひかり (総情4)
体育会馬術部。第63回全日本学生賞典障害飛越競技大会の個人の部で優勝。同大会では1位、4位を関大が独占、団体の部でも大会3連覇を果たし、8度目の優勝を飾った。

私の大学生活は、体育会馬術部での活動を中心としたものでした。この経験を通じて、私はひとりの人間として大きく成長



し、多くの信頼できる仲間を得ました。

関西大学馬術部は、大学の全大会で何度も優勝している強豪校です。私は、高い技術力を持つ環境で、自己の成長を図りたいと強く思い、関西大学馬術部に入学しました。高い技術力を持った選手や指導者と共に練習できることは、とても新鮮で、毎日が新しい事の発見でした。また、一年生の時から多くの試合に出て学んだ技術や精神面の一つひとつが、私の乗馬技術の土台となりました。

しかし、思うような結果を出せないことが続き、試合に出場することができなくなることがありました。同期の仲間だけが結果を残し、自分ひとりが関西大学馬術部に貢献できず、私はただただ焦っていました。この時期、私は多くの仲間たちに助けられました。馬術部の部員たち、乗馬クラブや学部の人々、

THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ



東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

そして家族にです。彼らのおかげで、この苦しい時期を乗り越えることができました。この経験から、私は大きな成長を果たすとともに、仲間がいることの大切さを知りました。個人・団体共に日本一になることができたのは、仲間がいつもすぐそばにいたからなのです。

最後になりますが、悩んだ時、苦しかった時、どんな時も側で支えてくれた同期メンバー、いつもサポートしてくれた仲間、時には厳しく時には優しく指導してくださったコーチ陣や監督、本当にありがとうございました。また、この素晴らしい練習場所を提供してくださった大学関係者様、重ねてお礼申し上げます。この4年間で培った経験を、今後の社会に出て活かしていきます。

袖振り合うのも「一生」の縁

三上 翔平（法4）

学術研究会法律相談所、学術研究会本部役員、秀麗寮入寮。

関西大学での4年間で振り返ってみると本当にいろいろなことがありました。

法律相談所での活動、秀麗寮での生活、新入生歓迎オリエンテーションや学園祭の実行委員、ボランティア活動など挙げたらきりがありません。

その中でも、私に大きな影響を与えてくれたのは、毎年4月に行われている新歓オリエンテ



ーションの運営に携わることができたことです。

本当のことを言うと、初めからやりたくて関わったわけではありません。たまたま学術研究会に所属する法律相談所という部活に入っていて、部の中でたまたま学術研究会本部の役員になることになって、その中でたまたま新歓オリエンテーションの実行委員をすることになったのです。

そんな偶然が重なってすることになった実行委員ですが、その活動はすごく充実していて、私はすぐに夢中になりました。多くの人に協力してもらいながら、ひとつのイベントを自分たちで作り上げていくことの楽しさを感じることができたし、これがきっかけとなって自分の世界がどんどん広がって、いろいろな人と関わることでできたからです。何より、人とのつながりと温かさに溢れた雰囲気が好きでした。

改めてみると、私は本当に周囲の人に恵まれていたのだと思います。関西大学を通じて得たたくさんの方の出会いの1つ1つに感謝するとともに、大学を出た後、これから訪れる出会いも大切にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、卒業にあたり、これまでお世話になったすべての人に、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

えやっていたら、それで大学では通るのだという意識があったのではないかと。私は、ひそかに反省している。

大学を去るに当たって 定年退職教授のお別れの言葉

母の教え

法学部教授 土倉 莞爾



になる。私の生涯の重要な部分のすべては関西大学に関わっている。私から関西大学を引くとも残らない。私には、骨の髄まで関西大学がしみこんでいるのである。

さて、私は、藤原書店編集部編『大学改革最前線』（藤原書店、1995年）で次のように発言したことがある。「ある大学の先生が自分の弟子、後継者を一人養えば、それで私の使命は終わりなのだというふうに、ものすごく時代錯誤的な発言をしたというのを聞いたことがあります」。

私は、大学とは象牙の塔であり、学問の伝統を守り続けなければならないという意識があったのだと思われる。

私が言いたいのは、その先である。研究と教育、これは両立するのであるのか？ 少なくとも、私が今、気になっているのは、私の心のどこかに、研究さ

最終講義の日、私はフランス第3共和制下のキリスト教民主主義者であったルミール司祭の話をした。実は、私のその研究は緒に就いたばかりであり、当日の話は準備篇のようなものにすぎなかった。当然、講義は短時間で終了し、中身の無い杜撰なものに終始した。私が自責するのは、その象徴的意味である。大切な最終講義に、これから書く論文のための予行演習的な報告に代えてよかったのだろうか。今、私は、そのことを悔やんでいる。

たぐいなきこの学園で 50有余年！

経済学部教授 加勢田 博



思えばまだ18歳であった1962年の春に入学して以来、50年を超える歳月を関大で過ごしてきたが、思い出されることはあれもこれも楽しいことばかりである。

この千里山キャンパスで学

部、大学院を過ごし、そして母校である本学の教壇に立つようになった。それから40年余り。この時代は、関大の130年の歴史の中でも、特筆すべきその質量ともの向上・拡大の時代であったと言つてよいであろう。高度経済成長のエネルギーあふれる社会にあつて、学生もまた大きな希望を持って学生生活を謳歌していたように思える。

その若い学生の情熱が、急速な社会の変化への対応に遅れを取った大学の改革を求めて立ち上らせ、大学紛争と言われたような混乱を引き起こしたことも忘れられない。いろんな評価はあるが、この学生たちの行動は、関大をはじめ日本の多くの大学における民主化の大きな契機となったことは疑いない。今も、その時代の大学の事情を知る人も少なくなってきたが、大学のありようを変えていくのは、やはりここで学ぶ学生諸君であることは、今も昔も変わりない。

経済学部助手の時代に、こうした大学の転換期を経験したこととは、その後の私の教育に携わる者としての精神構造に大きな影響をあたえたのであった。「若木に腰をかけるな」とは、はじめて教壇に立つことになった私への、今は亡き母の教えであるが、この教えを忘れず、限りない可能性を持つ若い学生諸君の、成長の芽を押しつぶすこと

のないよう心掛けてきた。学部や大学院での学生生活を、私のゼミとともに過ごした若人たちが、社会人となって、それぞれの持ち場で活躍されているのを見聞きするにつけ、我が人生に悔いなしである。

出来そこないの
〈関大人〉として
社会学部教授 岩見 和彦



私の67年間にわたるこれまでの人生の過半が関大とともにあったことになる。長く居過ぎたような気もする。

着任もない30代の頃、大学教員は10年くらいで転動しないと、自分も組織も腐ってしまうなど周りの人に思われていた。古い「体質」に、居直ったり居座ったりしたくない、という思いからである。この言が正しければ、11年目(1990年頃)からは、きつと私の中、周りでは異臭、腐臭が漂いはじめ、だから今などはもう、大変なことになっている、はずである。

にもかかわらず、ここに至ったのは、当の本人がチョー鈍感になってしまったから、と言

言うほかあるまい。まことに不徳の致すところである。時すでに遅しだろうが、この間に会った数限りない学生諸君、同僚教員や職員の方々に、先ずはお詫びと、並々ならぬ我慢心にもお礼を申し上げたい。

とはいえ、ちょっと狡い言い方もしたくなる。長くいたからこそ分かることもある。たとえば、組織の変容ぶり(腐敗だけではないが)は、長くないと見えてこないではないか、と。たしかに私自身、長居した分、関西大学という組織の殻の中を、ほんのちよつとではあるが覗き見る機会も増えていった。そんな具体的な経験を(不幸にも)重ね着するうちに、11年目を越えた私のサバイバル戦略なのだろうが、〈関大人〉アイデンティティといったものに目覚め出したみたいなのである(校友としてのそれとは、おそらく異なった意味においてである)。鈍感になった分、自分の居場所を価値あるものと感じたくなったのかも

しれない。

そんな自分勝手な〈関大人〉から「この伝統を、超える未来を。」(創立130周年キャッチコピー)は、時代と社会を見つえつつ、よほど腹を決めて構成員と組織の両「体質」と闘わな

関西大学 エクステンション・リードセンター TOEIC® テスト対策コース 海外滞在集中型プログラム

～英語で暮らしながら実践を積み、かつ徹底したTOEIC対策を受講することで英語力の総合的な底上げを図りながらスコアアップをめざす!～

募集内容	海外短期集中クラス ＜フィリピン・セブ島＞	期間	8月10日(日)～17日(日)	定員	備考	別途、航空券代130,000円と海外旅行傷害旅行保険への加入が必要
		受講料	(本学学生) 84,500円 (卒業生) 85,500円 (一般) 86,500円 ※税込	20名		
募集内容	プラス生活体験クラス ＜フィジー＞	期間	8月31日(日)～9月15日(月)	定員	備考	別途、航空券代145,000円と海外旅行傷害旅行保険への加入が必要
		受講料	(本学学生) 111,500円 (卒業生) 113,000円 (一般) 114,500円 ※税込	15名		

※航空券は当センターで取り纏め一括で購入します。個人手配はできません。
※上記航空券代は2014年3月時点のものです。燃油サーチャージ料の変更、運賃料、諸費用改定等の場合や、申込時の空席状況により変更となる場合があります。申込時点と発券時点で差額が生じた場合には追加徴収を行うか返金することがあります。
※その他の受講申込に必要となる詳細な条件については、以下の『受講申込前ガイダンス』にて説明します。

短期間で効率的な対策! 限られた時間の中でスコアアップをめざす社会人のために、海外において英語で暮らしながら、かつ密度の濃い対策を行う集中型プログラムで効果を実感!

廉価な受講料設定! 現地学校との提携により、リードセンター限定の廉価な受講料を設定

学生にとっては就職活動の自己PRなどで活用! 自分次第では、例え短期間でも日本と異なる厳しい環境に自ら飛び込む積極性や、そこで得た経験を、エントリーシート等の「学生時代に頑張った事」で自己PR等に繋げる事も可能かも!

◆受講申込受付中! ◆ ただし受講申込の前に下記ガイダンスいずれか1回の参加が必須! ガイダンス参加せずに受講申込することはできません。

『受講申込前ガイダンス』			＜内容＞クラスの概要／申込資格／申込前の注意事項／その他			→ ※ 参加申し込み不要。会場へ直接お越しください。			(会場) 千里山キャンパス 第3学舎3号館 C303教室(予定)
＜フィリピン・セブ＞			①4月5日(土) 18:30-19:30		②4月25日(金) 18:30-19:30		③6月13日(金) 18:30-19:30		
＜フィジー＞			①4月24日(木) 18:30-20:00		②5月17日(土) 13:00-14:30		③6月16日(月) 18:30-20:00		

※受講申込は先着順です。定員が限られており、早期の締切りが予想されますので、『受講申込前ガイダンス』は①～③の内の早い回の参加をおすすめします。また、受付が早期に定員に達した場合には、上記ガイダンスを実施しない場合もありますのでご注意ください。

【問合せ先・受講申込受付場所】 関西大学 エクステンション・リードセンター事務局
TEL: 06-6368-0721 (10:30～21:00) ※日・祝・本学休業日は除く
<http://www.kansai-u.ac.jp/extension/> (※資料請求はこちらからも可)

※遠方に在住の方で上記ガイダンスに参加できない場合、別途振替え制度がありますので、詳細はリードセンター事務局までお問い合わせください。また、『受講申込前ガイダンス』へ参加した方(本学学生除く)のみ、電話での受講申込が可能です。詳細はリードセンターHPおよび「講座案内2014」でも確認できます。「講座案内2014」を希望される方(本学学生除く)はリードセンター事務局まで資料請求をしてください。

りかけた小心者のツイートとしてお目に留まれば、至福。

学生の励まし

総合情報学部教授

鵜飼 康東



昭和50(1975)年4月に、関西大学専任講師として着任した。前半の19年間経済学部教員として千里山キャンパスに、後半の20年間総合情報学部教員として高槻キャンパスに勤務した。

学者としては、融合分野「ソーシャルネットワーク戦略」を開拓し、関西大学に附置研究所を創設したので、「やるだけのこと」はすべてやったという達成感がある。

しかし、教育については最後まで自信が持てなかった。最先端の学問を教えようとすればするほど、「学生が何も分かっていないのではないか?」という恐怖感に苛まれた。

それでも私は、39年に渡って教員を職業にしてきた。この理由は学生の励ましである。ただし、面と向かって励まされたことは一度もない。すべて文章で

ある。あるときは手紙に、あるときはブログやツイッターに、学生たちは私の講義に対して様々な励ましの言葉を書いてくれた。

ある経済学部学生は、長い手紙のなかで「卒業生総代として答辞を読むことができたのは、4年前に先生の講義を受けたからです」と書いてくれた。また、ある総合情報学部学生は、自己のブログに「最近のメガヒットは鵜飼先生。彼はやばすぎる。熱すぎる。震えるぞ、ハート。もえすぎるほどヒート」と書いた。

これに加えて、卒業して何年も経過してから、写真と手紙を送ってくる校友がいる。ある中国人校友は、結婚式の写真を同封して「先生の幅広い知識、生徒への差別なしの対応」によって今日の自分の幸福がある、と書いてきた。40代に公務員試験のための全学講義を担当したので、法学部や文学部の卒業生からも手紙をいただく。

この100余の校友の文章の束は、金庫に大切に保存してある。これは、私の人生における最大の宝である。「私が死んだら、この文章を棺に入れて、私と共に焼いてくれ」と妻に頼んでいる。

最後まで未熟な教育技術しか持ち得なかった私を、あたたかく励まして下さった若い人々に深い感謝の祈りを奉げる。主よ、関西大学に祝福を与え給え!

関西大学に感謝、卒業生に感謝!

システム理工学部教授

北嶋 弘一



1963年(昭和38年)に入學以来、関西大学での時間は足掛け50年を超えることになり、人生の大半を関西大学で送ったことを改めて実感している。

工学部創設6年目の年であり、機械工学科に機械第2工学科が増設され、まさに日本の高度成長期の真っただ中にあった。当時、工学部創設に参画された先生方のはほとんどは、阪大や京大からの新進気鋭で、熱意あふれる指導の中で、学生はばやばやしておれず、緊張の中にも充実した日々を過ごしたことを懐かしく思い出す。

これまで教育者、研究者としての自分を形成してくれたのは、4年次生および修士課程での研究生生活であり、多くの師、先輩や同僚に恵まれ、何よりも恩師田中行雄先生には様々なことを学ばせていただいた。

今でこそ当たり前になっている産学連携を、当時から実践し

ておられ、関西大学の理念である「学の実化」を実行して「実際の生産現場の役に立たない研究は工学ではない」という精神をいやというほど叩き込まれ、私の研究上の哲学となってきました。

研究室を巣立った卒業生は、就職した企業の生産現場で困った問題が出る度に研究室の扉をたたいてくれ、お陰で今日まで多くの産学共同研究をさせていただいた。

そのお陰で企業の方々との付き合いも多くなり、学生の就職に有効に利用し、キャリアセンタ―主事を6年、キャリアセンタ―所長を3年務めさせていただいた。

学生時代は、日本のモータリゼーションの幕開けで、愛車プリンス・スカイライン2000GTで通学したり、関西大学体育会自動車部主催の「関大ラリー」に出場したり、全国各地で

学会がある度に、田中先生のヒルマンと連ねて走り回ったことを懐かしく思い出す。

その縁から自動車部の顧問を引き継ぐことになり、在任中に全日本総合成績第1位という快挙を2度も達成して「関大自動車部ここにあり」と、全国に示してくれたことも大変うれしい思い出である。OB・OGの皆さんに感謝感謝であります。

思い出は尽きませんが、良き師、良き先輩、そして多くの卒業生諸氏に恵まれたお陰と、自由闊達な関西大学の校風が、今日までの私を育てていただき、「学の実化」を実践できた喜びを、今しみじみと噛み締め、皆様方に感謝申し上げます。

母校関西大学の今後の発展を、しっかりと見つめていきたいと思っています。

16人の先生が退職

この3月31日付で、16人の先生が、定年退職等で関大を去られることになった。

▽法学部(1人) 土倉莞爾教授▽経済学部(2人) 加勢田博教授、森岡孝二教授▽商学部(1人) 鈴木政史准教授▽社会学部(2人) 王耀鐘教授、岩見和彦教授▽政策創造学部

(1人) 安田信之教授▽外国語学部(2人) 北村裕教授、望月通子教授▽人間健康学部(1人) 岸山太助教▽総合情報学部(1人) 鵜飼康東教授▽システム理工学部(3人) 北嶋弘一教授、田村進准教授、藤井和成准教授▽化学生命工学部(2人) 池内俊彦教授、土戸哲明教授。

新卒業生の皆さんに

このたび新しく社会に羽ばたかれた新校友のみなさん！あなたの肩には42万人の校友の温かい目が注がれているのです。一日も早く私たちのスクラムに加わり、ともに新しい道を切り拓き、母校の永劫の発展に寄与していこうではありませんか！

基本カードの提出を 4月10日までに

みなさんにお送りしておりますご案内に同封しておりますハガキ（平成26年3月卒業・校友基本カード）に必要事項をご記入の上、ご提出下さい。校友会が大学から委託され共同利用する校友の住所管理の基礎資料となります。今後、現住所、勤務先など変更された場合にも、早急にご連絡下さい。

校友データの利用に つきまして

校友データの利用は、(1)機関紙「関大」の送付、(2)大学からの案内、(3)校友会地域支部等からの総会案内、(4)在学生の就職活動への支援等に利用させていただきます（詳しくは後述の「個人情報」の取り扱いについて」を参照）。

「関西大学校友カード」 の申し込みを

校友会では、「関西大学校友カード」を発行し本年3月現在、既に1万人に及ぶ校友の申し込みを受けております。校友カードはJCB・VISA（三井住友）と提携し、本来のクレジット等の機能を持つほか、校友のみが所持できる会員証的機能を併有、さらに、このカード独自の特典として、提携優待店の協賛を得て特別割引等の特典を設けております。なお、校友のみなさんの特別な負担はございません。

社会人として第一歩を踏み出すみなさん！校友としての友好の絆と、母校への親しみをより一層深めるための絶好の機会です。校友のステータスシンボルである「関西大学校友カード」を申し込んでください。折り返しカード会社より申込書をお送り致します。

個人情報の取扱いについて

校友会では、本会の目的達成のために大学よりご提供いただいた個人情報（校友データ）を厳重に管理し運用しています。登録する情報は、氏名・フリガ

ナ・性別・生年月日・卒業年・学部学科・ゼミ・住所・電話番号と、別途お届けする「基本カード」でご連絡いただいた勤務先等です。今後この情報は大学と共同利用致します。

個人情報を利用するのは次の ような場合です

- (1) 機関紙「関大」の送付、
- (2) 大学からの案内や就職に関するアンケート等の送付、(3) お住まいの校友会地域支部や関係の同窓会より総会等の案内状の送付、(4) 在学生の就職活動の支援（キャリアセンターでは先輩校友へ失礼が無いよう指導し、所定の手続きを行ったうえで校友名簿及び在社名簿の閲覧を許可しています）

- (2) (4) の利用に同意されない方は、校友会からお届けする「校友基本カード（返信葉書）」か、文書で校友会事務局までお届け下さい。その場合(1)の機関紙の送付以外には一切利用いたしません。
- なお、お届けが無い場合は(2) (4) の利用に同意いただいたものと見なします。

個人情報第三者に開示・ 提供しません

校友会では、法律に基づき開

示しなければならない場合を除き、本人のご承諾が無い限り登録された個人情報を、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報いつでも開示・変更または削除できます

校友会では、会員ご本人より申し出があった場合に限り、その本人の登録情報を開示します。また個人情報の追加・訂正または削除は、本人の届け出により行います。引越、住居表示の変更などの場合は、必ずご連絡下さるようお願い致します。

【重要】悪徳業者による個人情報 の開き出しにご注意

最近、関西大学卒業生に対して、関西大学や校友会と紛らわしい名前を騙り、電話やハガキで個人情報を集めているケースがありますのでご注意ください。個人情報お問い合わせには、必ず発信元の電話番号や住所を確かめたうえでご返事ください。不審な場合は、校友会事務局までお問い合わせ下さい。

個人情報は厳重に管理して います

校友会では、個人情報の紛失・誤用・改ざん・外部からの侵入がないよう厳重に管理し、一般の利用者がアクセスできない安全な管理下に保管しています。

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
UNIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>



併設3高校も卒業式挙行

関西大学高等部卒業式 2期生131人が巣立つ

高槻ミューズキャンパスで2月15日、高等部の卒業式が挙行された。

今年度で2期生となる卒業生

は、鶴飼昌男中等部・高等部長から卒業証書を授与され、学校関係者や在校生からの祝辞・送辞に対し、答辞として、学校での思い出と教職員や家族・友人など、自分たちを見守ってくれた多くの人たちへ感謝の意を述べた。

鶴飼校長から激励の式辞を贈られた卒業生131人は、晴れ晴れしく母校を巣立っていった。



第一高等学校卒業式 413人に祝福と激励

2月20日に第一高等学校の卒業式が挙行された。
橋本定樹校長から、新たに旅



北陽高等学校卒業式 4期生394人が旅立ち

北陽高等学校は2月22日、卒業式を挙行了した。

今年度で第65回となる卒業式では、関西大学北陽高等学校4期生394人の希望ある旅立ちの日を、鈴木清士北陽高等学校・中学校校長や学校関係者、保護者、在校生などが祝福した。

鈴木校長から卒業証書を授与され、激励の言葉を贈られた卒業生は、学校生活での思い出を胸に母校を巣立っていった。



立つ卒業生413人へ、祝福と激励の言葉が送られた。

卒業生就業支援室からのお知らせ 校友に向けた求人情報のご紹介をお待ちしております。

卒業生就業支援室では、学部卒業（大学院修了）後、5年程度までの卒業生に対して就業支援サービスを展開し、自分の能力を伸ばすために転職を考えている方や、卒業後の進路が決定しなかった方、公務員や資格試験を断念して改めて就職活動をスタートする方に対しての就業相談や支援セミナーを行っています。

この支援サービスには、年間を通じて約500名の新規登録があり、その中には自身の専門性を磨いた人材や、就業意欲の高い人材が多数おりますが、企業・団体様から寄せられる求人数は、景況を反映してか伸び悩んでおり、能力・意欲があるにもかかわらず、就業に至っていない卒業生が継続登録をしています。

自社の人員拡充をお考えの経営者の方や、人事担当者様におかれましては、転職エージェントを利用した採用活動や、ハローワーク等への求人登録のみならず、本学の「卒業生就業支援室」にも、是非ともお声掛けをいただき、求人票をご送付いただければ幸いです。

本学校友の皆さま方におかれましては、卒業生就業支援室の事業にご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

関西大学キャリアセンター卒業生就業支援室

電話06-6368-0345、Fax06-6368-1358

E-mail: sotsushien@ml.kandai.jp

URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/Syusyk/graduate/index.html>

ソチ五輪フィギュア男子シングル

町田樹5位、高橋大輔6位に入賞

2月13日と14日(現地時間)に、ロシア・ソチで開催された第22回オリンピック冬季競技大会のフィギュアスケート男子シングルで、アيسスケート部の町田樹(文4)が5位、高橋大輔(M文2)が6位に入賞した。オリンピック初出場の町田・ショイトプログラム(SP)では3回転ルッツが2回転になるなどジャンプのミスがあり、83・48点の11位と出遅れたものの、3位とはわずか3・50点差だった。



た。フリーの曲は、昨季から演じてきた「火の鳥」。「集大成のつもりで、大きな翼で天高く飛ぶつもりでやりたい」と臨んだが、完璧に跳んだつもりの最初の4回転トゥールプでまさかの転倒。その後はよく耐えて大きなミスはなく、169・94点をあげ4位。合計253・42点で、あと1・68点でメダルに手が届く僅差の5位となった。

オリンピック3大会連続出場で、前回バンクーバー大会銅メダルの高橋。昨年11月に痛めた右膝下に不安を抱えての演技。SPでは、最初の4回転ジャンプを失敗したものの、日本男子を長年引っ張ってきたエイスの貫禄をみせ、3位とは0・58点差の4位となった。しかし、フリーでは、2回を1回に変更して臨んで4回転ジャンプは、SP同様回転が足りず着氷も両足になった。それでも最後まで笑顔で滑りきり、ビートルズ・メドレーに乗せた世界屈指と言われるステップには会場から拍手が沸き起こった。「最高の演技を見せられず残念」な結果は、164・27点で6位。総合でも250・67点で6位だったが、3大会連続の入賞を果たした。

学内では深夜の応援会 350人がエールを送る

一方、大学では、フリースケートの行われる15日深夜に約350人が集まって応援会が開催された。

千里山キャンパスの総合学生会館・メディアパーク凜風館1階のモニター前に、楠見晴重学長・黒田勇副学長、池内啓三理事長ら大学関係者、校友会、教育後援会、体育OB・OG会役員、アيسスケート部選手はじめ体育会各部学生などが陣取り、多くのマスコミも取材に訪れ、午前2時から応援会が始まった。

黒沢花衣応援団第92代団長の指揮で学歌を斉唱。楠見学長、廣内良明教育後援会長、女



川隆体育OB・OG会長が、「壮行会でも必ずメダルを持ち帰ると言っていた。最高の演技をして是非実現してほしい」と、それぞれ挨拶。応援団のリードで会場は、競技前から大きな盛り上がりを見せ、両選手の滑走直前には、それぞれ「マチダ」「タカハシ」の声援が飛び、ジャンプなどが決まるたびにチャイムスチックが打ち鳴らされ、歓声も最高潮に達した。

競技終了後、町田5位、高橋6位の「入賞おめでとう」横断幕が掲げられると、会場は再び大きな拍手に包まれ、府上沙綾応援団第92代副団長のリードで追遙歌を合唱、黒田副学長の「彼らを誇りに思う。高橋くん、町田くん、感動をありがとう！」

モンゴルのゲルの形が目印。
但東が誇る、つつつイイすべての美人湯です。

シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

Tel 0796-54-0141

Fax 0796-54-0848

代表取締役 奥田 清喜

取締役 宮嶋 幸広 (S53工卒)

あらゆる宿泊合宿に対応いたします。

- ・2面分使えるグラウンド
- ・全天候型スポーツ施設「シルクドーム」
- ・テニスコート4面
- ・体育館

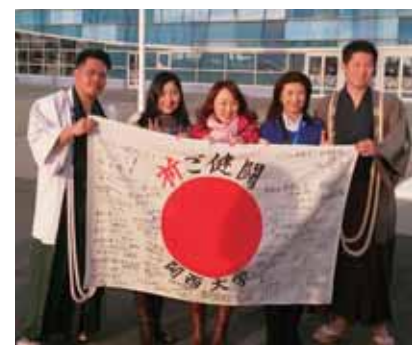




との閉会挨拶で4時30分に終了した。

寺内会長らは現地で応援 寄せ書きの日章旗を手に

ロシア・ソチで開催された第22回オリンピック冬季競技大会のフィギュアスケート男子シングルに出場のアイススケート部の高橋大輔（M文2）、町田樹（文4）の2人を応援するため、校友会の寺内俊太郎会長と中井邦夫事業部長が、自費でソチに向かった。寺内会長は、4年前のバンクーバー大会でも応援に駆けつけており、2大会連続の現地訪問となった。



行動を共にした。

オリンピック会場に到着した一行は、スケート会場前で池内理事長、楠見学長はじめ法人理

事、校友会本部役員らが寄せ書きした日章旗をかざし、学歌を斉唱、応援歌を歌って両選手に届けとエールを送った。日本から駆けつけたファンに「関大だ」と声をかけられ、次々と記念撮影も。会場内では、東京経済人倶楽部寄せ書きの日章旗も加え、懸命の応援を行った。

BIGホール100で壮行会

学生や教職員千余人が健闘祈る

ソチ五輪フィギュア男子の日本代表となった高橋大輔、町田



樹両選手の壮行会が、1月8日に千里山キャンパス・第2学舎4号館BIGホール100で行われ、生憎の天候にもかかわらず、学生や教職員、熱心なスケートファンが詰めかけ、千人収容のBIGホール100だけでは入りきらず、別室での中継も実施された。

壮行会では、楠見学長と池内理事長が、「ソチ五輪での活躍をオール関大で応援する。できれば2人で金と銀をとってほしい」と激励の挨拶。続いて、市のマスコット・すいたんを同伴の井上哲也吹田市市長と濱田剛史高槻市長から祝辞が述べられ

た。



選手挨拶で、高橋選手は「全日本ではヒヤヒヤした場面を見せてしまったが、最後の五輪で金メダルを持って帰れたら」、町田選手は「五輪は経験したことがないので夢のよう。一世一代の大舞台でチャンスをものにしたい」と、メダル獲得に向けてそれぞれの決意を表明した。

寺内校友会長と廣内教育後援会長から2人に花束を贈呈、続いて、2人の後輩にあたるアイススケート部の部員や体育会各部の学生たちから、応援メッセージを寄せ書きした日章旗が贈られ、応援団の演舞演奏で応援歌を合唱、世界の大舞台で戦う2人に全員でエールを送った。

なお、高橋・町田両選手は、壮行会の前に、大学本部、校友会、教育後援会等を表敬訪問。校友会では、寺内会長から両選手に活動奨励金を贈呈した。















■ 正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケーターハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種> メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、ブジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

JIRON 自動車株式会社
 昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
<http://www.jiron-auto.co.jp>
 〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間:(平日)9:00~19:00 (土・日・祝)10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

14年度一般・センター利用入試終わる

志願者数は2・9%減の8万4248人

2014年度学部一般入試・センター利用入試は、学部個別日程・全学部日程・センター利用中期試験が2月1～8日に、後期日程が3月3～4日に、千里山キャンパスをはじめ、全国28都市で実施された（今年度は富山試験地を新設、沖縄試験地を廃止）。

14年度の志願者数は、昨年度より2505人少ない8万4248人（97・1%）となった。18歳人口が、昨年度と比較して約5万人（約4%）減少していることや、昨年度、志願者数

が8・5%も増加したことなどの反動があり、志願者数は微減した。

全国的には、理系人気の高まりが続いており、関西大学でも昨年度は理系3学部が10%以上の増加を記録。今年も理系の2学部、文理融合の総合情報学部、社会安全学部の志願者が増えている。なお、政策創造学部は、今年度大きく志願者が減ったが、昨年度47・9%増という驚異的な伸びを示した反動があったと思われる。

また、地元指向が叫ばれるようになって久しいが、今年度は近畿地区が1・4%の減に対して、近畿以外は7・0%の減と減り方が大きかった。各学部の志願者数は、次のとおり（%は昨年度比）。

▽法学部5905人（81・8%）▽文学部1万0073人（95・8%）▽経済学部8397人（102・0%）▽商学部9496人（99・8%）▽社会学部9864人（95・6%）▽政策創造学部3514人（66・1%）▽外国語学部4190人（104・9%）▽人間健康学部4020人（103・7%）▽総合情報学部6



被災地の高校生を関大生がサポート 岩手・大槌高校への遠隔学習支援を開始

関西大学社会的信頼システム創生センター（センター長＝与謝野有紀社会学部教授、略称STEP）は、関西大学学生によるICT（多点コミュニケーションシステム）を活用した大槌高校への遠隔学習支援の本格運用を1月から始めた。



232人（107・5%）▽社会安全学部2657人（107・2%）▽システム理工学部8735人（97・8%）▽環境都市工学部5191人（109・1%）▽化学生命工学部5974人（102・9%）。なお、AO入試やSF入試など多彩な入試を加えた志願者総数は、8万7675人となった。

この事業は、ICTを利用し、学生を中心に設立された教育支援ボランティアサークル「KUPIDO（クピード）」のスタッフが、千里山キャンパスからインターネットを通じて、あたかも対面で話しているかのように自然な形で学習を支援するプログラム。

プログラム全体については、与謝野センター長がトータルデザインを、高校生への指導方法については、外国語学部・田尻悟郎教授が監修を行っており、大学内の知的資源を融合する形でプロジェクトが運営されている。田尻教授は、昨年9月に大槌高校での出張講義を実施しており（＝写真、そこで捉えた生徒の特徴やニーズに応じた指導

を行うため、毎週学生へのトレーニングを行っている。

実際の遠隔学習支援として、まず、1月22日・29日・2月12日に田尻教授によるキックオフ講義が行われた。2月下旬からは、「KUPIDO」のスタッフが、原則として毎週水曜日の午後5時から6時半までの90分間、英語を中心に指導する。「KUPIDO」は、教員を目標とする学生が多く在籍しており、この活動を通じて、被災地支援を行うことに加え、教員を目指す学生の実践的トレーニングに繋げることもねらいとしている。

DDプログラムの協定 北京外国語大学と締結

関西大学外国語学部と北京外国語大学中国語原文学院は、「DD（ダブル・ディグリー）プログラム」の協定を締結することと合意に達し、昨年12月19日に協定書の調印式を行った。



このプログラムは、2014年度から正式に運用を開始する。具体的には、2年次スタディ・アブロードプログラムで、北京外国語大学に留学した学生のうち、希望者を選抜し、3年次の春学期に、引き続き北京外国語大学で所定の単位を取得し、4年次の中国でのインターシップ、および卒業論文（プロダクト）を提出することで、関西大学学士と北京外国語大学学士の2つの学位を取得できる。

西宮市教育委員会と締結 連携協力に関する協定

関西大学と西宮市教育委員会は、関西大学の教育活動ならびに西宮市教育委員会の教育事業の充実・発展に寄与することを目的に、「連携協力に関する協定」を締結することで合意に達し、1月10日に協定書の調印式を行った。

関西大学では、学生が教育現場で就業体験を行う「学校インターシップ」プログラムをはじめ、高校生を対象にした出張講義形式、公開講座形式などの各種セミナーといった高大連携事業を積極的に展開しているが、この連携協定によって、本学の「学校インターシップ」プログラムにおいて、西宮市教



育委員会管轄の学校・園で実習を行うことが可能となった。

河原教授と堺・河月堂 連携して「冷凍餅」開発

関西大学と堺市は、2008年に地域連携協定を結び、さまざまな連携事業を行っているが、このほど、河原秀久化学生命工学部教授と、堺市の老舗和菓子店・河月堂が、アスリートの栄



養補給に最適な「冷凍お餅」を開発した。

この「餅」は、エネルギーを効率よく補給できる機能を備えているほか、河原研究室が発見したカイワレ大根由来の不凍タンパク質を加えることで、冷凍による品質劣化を抑制。自然解凍しても作りたての柔らかな食感を保ち、ランニング前などにおいしくエネルギーを摂取することが可能。

今後、賞味期限の短い和菓子の海外輸出などへの応用も期待されている。商品化は4月以降、1つ150円程度になる予定。

関テレ扇町スクエアで 淀川今昔明日ものがたり

関テレ扇町スクエアで2月22・23日、関西大学と関西テレ



び主催の「淀川今昔明日ものがたり」が開催された。

この催しは、淀川の「今」を生きるグループが集まり、さまざまな活動やコンテンツを紹介するもので、会場では、関西大学所蔵の約8メートルにおよぶ

絵巻物、大岡春卜作「浪花及澁川沿岸名勝図巻」のデジタル映像の放映や、総合情報学部の実武文研究室のAR（拡張現実）コンテンツなどの展示が行われ、2日間で約2700人が来場した。

「再現！道頓堀の芝居小屋 —道頓堀開削399年—」展 大阪くらしの今昔館で4月19日から開催

関西大学大阪都市遺産研究センターでは、大阪くらしの今昔館との共催（協力：道頓堀商店会、後援：関西大学校友会、関西大学教育後援会）で、4月19日（土）から大阪くらしの今昔館（大阪市北区天神橋6丁目）企画展示室で、「再現！道頓堀の芝居小屋—道頓堀開削399年—」展を開催します。

れる道頓堀ゆかりの逸品などから、芝居町道頓堀の往時の風情を再現し、今なお人々を魅了する道頓堀の魅力に迫ります。会期は、5月25日（日）まで。（大阪都市遺産研究センター）

今では「くだおれ」の街大阪を代表する名所となった道頓堀は、来年、開削から400年を迎え、大阪城に次ぐ歴史を有する街です。かつては、芝居小屋が立ち並び、現在でもおなじみの歌舞伎や浄瑠璃の演目が初演される大阪文化の発信地として賑わいました。

展示会では、センターが入手した新発見の劇場図面や、華やかに舞台を彩った背景画のデッサン、舞台で人々を魅了した役者絵をはじめ、図書館に所蔵さ



80年前の千里山花壇 カラー絵図はがき発見



昭和25年、関西大学は千里山キャンパスの外苑（千里山花壇）2万余坪を買収した。現在の社会学部、関西大学会館、校友・父母会館、100周年記念会館、教育会館・同別館一高・一中、幼稚園などの建物が建ち並ぶ地域である。

このほど、関大が買収する15

年程前の姿が描かれている絵はがきを偶然買い求めた。それは、昭和9年に当時の京阪電

車が発行したものである。

昨年未の12月28日、阪神百貨店の催し会場では、古書籍展示即売会が開かれていた。さきに古書を買った後、横の「はがき」のコーナーに行ってみた。陳列棚には大正、昭和時代のはがきが6個のダンボール箱に、1箱凡そ2000枚ずつぎっしり詰めてある。

箱には、旧日本軍、地方の景色、風物、マンガ、神社仏閣、スポーツ等の目録がついているが、個人の写真やイラスト、絵画の郵便はがきもある。使用済や未使用はがきを取り混ぜている。全て官製はがきではなく、所謂私製はがきである。1枚が100円から1000円の値札が付いている。

季節ものの気に入った未使用はがきを3枚手にした後、また別の棚から40〜50枚ほど驚ぶかみで持って、何気なくパラパラとめくってみた。その時、カラーで鮮やかなはがきで手とまった。

何気なく見ると、「図畧壇花山里千」とある。戦前の発行物は全て右書きである。現代書き

では「千里山花壇略図」となる。何度も何度も見直してみた。私の母校の一高ではないか！

絵の中に描かれている飛行塔を確認した。間違いないと思うと身体が熱くなった。我われが一高通学時は、現在の「関大前駅」ではなく、「花壇町駅」であったから、「花壇」の文字と「千里山」の文字に反応していた結果であった。宝くじに大当たりしたような思いだった。

詳しく見てみると、「飛行塔」は、関大会館前に設置されている「和」のモニメントの場所であり、その左下辺りに「稲荷社」がある。現在の「教育会館」付近であろうか。また飛行塔の右下には「滝」があり、ずっと下って池に繋がっている。この滝は現在の「慰霊碑」と思える。「池」は一高グラウンドか。「休憩場」も描かれている。桜花、紅葉の色鮮やかな公園であった。

なお、絵はがきを眺めた方から、京阪電車と阪急電車の間違いではと尋ねられたが、昭和18年までは、この路線は京阪電鉄の経営であり、阪急はこれを買収している。因みに、この絵はがきの価格は最高額の1000円であった。

（副会長 田中義昭）

豪州政府派遣の研修生に 国際部長が修了証を授与

1月22日、国際部が受け入れを行ったオーストラリア政府派遣短期日本語・日本文化研修プログラム（ELTF）の研修生56人が、約3週間の日本語・日本文化研修を修了し、吉田栄司国際部長から修了証が授与された。修了式には、在大阪オーストラリア総領事館キャサリン・テイラー総領事も出席、研修生に祝辞を送った。

このプログラムには、オーストラリア各地の日本語教師や、日本語教師をめざす大学生らが参加しており、国際部での受け入れは4年目。1月2日から22日までの日程で、日本語の授業を受講するほか、神戸、京都の文化施設・寺社を訪問したり、近隣の小・中・高校へ授業参観に行ったり、吹田市の成人式に



参加したりと日本文化体験などを行った。

17日には、吹田市国際交流協会で風呂敷包み、お弁当作りを体験。研修生は、和柄の風呂敷の美しさと、風呂敷でさまざまな形の物を包む体験を通じて、日本式のラッピングを楽しむ、エコ活動にもつながる日本の伝統文化を楽しく学んだ。また、お弁当作りでは、国際交流に関心のある吹田市民の人々に講師として参加してもらい、研修生はいなり寿司やたまご焼きなどの作り方を体験した。

関大×ふくい笑い講 森下教授の講演など

JR福井駅前、AOSSAの福井県民ホールで1月12日、公益財団法人長寿科学振興財団と関西大学の共催で、「笑いをつくる健康なこころとか



らだ」を総合テーマに「長寿た



すけ愛講演会2014 inふくい／第7回関大×ふくい笑い講が開催された。

第1部では、森下伸也人間健康学部教授による「笑いは百薬の長」と題した講演や、広崎真弓人間健康学部助教による「笑うからだに福きたる？」と題した笑いヨガの実践指導が行われた。第2部では、現役の落語家による寄席が開かれ、多くの来場者が笑い与健康について考える機会となった。

7回目を迎えた淀川大掃除活動

学生450人とミズノ社員30人

淀川河川公園で2月22日、関大生ら約450人とミズノ(株)の社員約30人が、淀川大掃除を実施した。

淀川清掃活動は、ボランティアアセンダー学生スタッフが、関大生にボランティア活動について関心を持ってもらうため、2007年から実施してきたもので、今年で7回目を迎えた。

2011年度から、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所より「淀川サポーター」に認定されたことを受け、規模を拡大し、ミズノ(株)との連携事業として「淀川大掃除」みんなの力で輝く淀川」を開催している。寒空の中、学生たちは力を合わせ、朝10時からペットボトル



や古タイヤなど約8トンのゴミを回収した。

また、当日は4月から関大に入学する予定の高校生も参加し、ボランティア活動を通じて

さまざまな人と交流する機会ともなった。



関大やったんていず! in東北わくわくマルシェ

2月6日と7日の2日間、大坂市の西梅田スクエアで開催中の「東北わくわくマルシェ」会場内で、「関大やったんていず! in東北わくわくマルシェ」が開催された。

「東北わくわくマルシェ」は、東北の冬の味覚を食べて買って応援し、東北と関西の食・人・文化の交流を行い、ともに元気になるという、昨年12月から約60日間のイベントで、今回の取り組みは、関西学生社会的信頼システム創生センター(STEP)の協力のもと、社会学部・与謝野有紀教授ゼミの学生たちが主体となって企画。さまざまな学生団体の協力を得て、

実現したもの。



2日間の開催期間中には、パレードや応援団およびギター部、吟詩部、混声合唱団など文化会所属団体によるステージ、募金活動、東北ゆかりの品々をアピールするブースの設置や、梅田ミツバチプロジェクトのハチミツと東北の果物サルナシを使った関大オリジナルドリンクの提供など、さまざまなイベントを実施した。

若者用の堺観光マップ 総合情報学部生が作成

関西学生と堺市の地域連携事業の一環として、総合情報学部の徳山美津恵准教授のゼミ学生11人が、学生の視点で堺市の文化資本にかかわる魅力を発信することを目的に、堺市の観光マップ「S-Map」(えすま

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
及工場
〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会賞受賞

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)



びを制作し、1月29、30日に
なんば駅周辺で配布した。

このマップは、堺市内にある
7つの寺社と、和菓子店や飲食
店計15軒を、学生たちが調査・
取材し、それぞれの紹介文やア
クセス方法などの基本情報を写
真入りで掲載したリーフレット
で、スマートフォンを日常的に
使用する若者を対象にしており、
マップに記載されているQRコ
ードをスマートフォンで読み取
り、専用サイトにアクセスする
と、目的地までのルートを調べ
ることができる。

学生フィギュア女子A 団体で3連覇を達成

1月5～9日に北海道帯広市
帯広の森スポーツセンターで開
催された第86回日本学生氷上競
技選手権大会フィギュア部門女
子Aクラス競技で、アイススケ
イト部の細田采花（法1）が2



細田采花



上野沙耶



村元哉中

位、上野沙耶（商1）が3位、
村元哉中さん（人2）が4位の
成績を収め、女子Aクラス団体
で3連覇を達成した。

また、男子Aクラス競技でも
山田耕新（政策4）が7位、吉
野晃平（総情1）が10位で、男
子Aクラス団体で3位になった。

冬季国体フィギュアで 上野沙耶が優勝飾る

1月27～31日に栃木県日光市
で開催された第69回国民体育大
会冬季大会スケート競技会のフ
ィギュア競技成年女子の部で、

アイススケート部の上野沙耶
（商1）が優勝した。
また、同部の細田采花（法
1）が3位、國分紫苑（社4）
が4位、村元哉中（人2）が6
位に入賞した。

四大陸フィギュア選手権 宮原知子が初出場で2位

1月22～25日に四大陸フィギ
ュアスケート選手権2014
が、中華民国台北市で開催さ
れ、女子シングルに日本代表と
して出場した高等部の宮原知子
（1年）が準優勝を飾った。

宮原は、24日のSP（シヨ
ープログラム）で自己ベスト
（国際大会）を更新し4位に入
り、フリーでも自己ベスト（国
際大会）を更新する126・26
点を出し、合計186・53点を
あげ、初出場で準優勝という素
晴らしい結果を出した。



高校フィギュア男子 関大北陽が団体2連覇

1月20～24日に青森県三沢市
で行われた第63回全国インタ
ーハイのフィギュアスケート競技で
関大北陽が2年連続男子団体総
合優勝を果たした。中村優（5
位）市橋翔哉（13位）濱田建蔵
（33位）の3人による記録。

高槻ハーフマラソンで 学生20人がボランティア

1月19日、高槻シティハーフ
マラソン実行委員会・高槻市主
催、関西大学特別協賛の第22回
高槻シティハーフマラソン大会
が開催され、学生団体KUMC
に所属する学生約20人が、大会
運営のボランティアとして参加
した。

当日は、東日本大震災復興支



射撃部来シーズンに弾み 関西学生新人戦で優勝

12月21、22日に能勢射撃場
で行われた関西学生ライフル射撃
新人戦で、射撃部が総合団体優
勝を飾り、来シーズンに向けて

援をテーマに、約8千人のラン
ナーとゲストラランナーのエリッ
ク・ワイナイナさんらが関西大
学のゼッケンを身に付け、小雪
のちらつく中を力走した。
なお、男子ハーフマラソン
（16～39歳）では、陸上競技部の
伊原径（総情3）（写真）が、
見事優勝を飾った。

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 www.ykkap.co.jp



弾みをつけた。
新人戦は、団体混合で、メン
バーは岡本利樹（文1）、堅田

吹田観光ポスターコンクール 加藤（経4）が春部門で大賞

吹田にぎわい観光協会が主催する、吹田市内の4大学（大阪大学、大阪学院大学、関西大学、千里金蘭大学）の学生による「吹田観光ポスターコンクール」で、加藤裕朗（経4）の図案が春パージュンで大賞を受賞し、1月17日に表彰式が行われた。

今回受賞したポスターは、JR吹田・岸辺、JR貨物吹田貨物ターミナルの各駅、および阪急・大阪モノレール・北大阪急行の全駅約150駅で、2月下旬から1か月間掲示されるほか、吹田市内の観光イベントで



みちる（経1）、津田智永（社1）の3人。

射撃部は、平成21年、22年には、2年連続5冠（インカレ、学生選抜、西日本、春秋関西）達成の偉業を成し遂げているが、ここ数年は、全国大会で2位、3位はあるものの、なかなか総合団体優勝ができない状況が続いている。

26年度は、「関大魂」で部員一同一丸となり、インカレ優勝を目指して頑張ってほしいと願っている。校友の皆さんの応援をお願いします。

OBOG会 女川隆

関関COLORSに 池田市長から感謝状

2月7日、池田市の栄町商店街で活動する「関関COLORS」を運営する学生17人が、池田市長から感謝状を贈呈された。



「関関COLORS」は、関西大学と関西学院大学の学生が共同で運営するサークルで、2

も掲示される予定。

加藤さんは、受賞挨拶で「在学中は、吹田観光のバスツアーガイドを務めるなど地域振興活動に参加すると共に、グローバルな視野の獲得と海外の舞台で活躍したいという想いから台湾・カナダへ留学しました」と、これまでの学びが成果に繋がったことの喜びを語った。

校友短信

010年6月から「学生による空き店舗活用事業」として、地元小学生の放課後の学習や遊び

◇香川県土庄町副町長に難波正樹氏就任 2月1日付。難波正樹氏（なんば・まさき、昭52学法）は、昭和52年に土庄町職員となり、福祉課長などを経て、平成23年から総務課長。任期は4年間。59歳。

◇大阪府公募の住宅まちづくり部長に堤勇二氏就任 4月1日付。大阪府は1月22日、公募していた住宅まちづくり部長と健康医療部長の最終選考を終え、合格者を発表した。住宅まちづくり部長には、府港湾局次長の堤勇二氏（つつみ・ゆうじ、昭54学法）が決定した。書類審査や松井知事による面接などを経て決まったもの。堤氏は、昭和55年に大阪府職員となり、政策企画部企画室課長、同室副理事、府民文化部住宅まちづくり部副理事等を歴任し、平成25年4月から府港湾局次長。57歳。

◇長谷工コーポレーション社長

を支援するサービスや、地域の人と人をつなぐさまざまな企画を実施画している。

に辻範明氏就任 4月1日付。辻範明氏（つじ・のりあき、昭50学法）は、昭和50年長谷川工務店（現長谷工コーポレーション）入社。平成11年取締役、15年常務、25年から副社長。61歳。

◇大橋博氏が第72回山陽新聞賞（教育功労）受賞 1月9日贈呈式。大橋博氏（おおはし・ひろし、昭42学法）は、平成19年、教育とスポーツを融合させ、学力、体力、人間性を備えた人材を育成する理念を掲げ、環太平洋大学を開学。22年からは岡山市の創志学園高を法人グループに入れ、体育や看護に特化した授業を進めている。創志学園理事長。69歳。

秋の叙勲（追加）

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順、敬称略

叙勲

◇瑞宝双光章

橋本義和（はしもと・よしかず）72歳。元公立中学校長。兵庫県川辺郡猪名川町。

好友抄

六

乙咩 淑子氏

継続するということ



乙咩（おとめ、旧姓竹中）
淑子氏（都島支部相談役）。

昭和7（1932）年3月
大阪市南区鍛冶屋町（現・中
央区島之内町）に三人姉妹の
長女として生まれる。実家は
浄土真宗大谷派定久寺であ
った。

妹たち小学生は、滋賀県愛
知郡に学童疎開するなか、中
学生からは準戦闘要員として
大阪に残され、主にバケツリ
レー等をして焼夷弾を消す係
を担う。

同19年大阪市立東高等女
学校（北久太郎町）に入学す
るも全く勉強どころではない。
羽曳野市高鷲にある女学校の
農園でもっての、農作業半
分、勉強半分といった具合
だ。農園には作業員夫婦が住

んでいて、じゃがいも、さつ
まいも、うなぎ（食用）などを
分けてもらった。ほかにもご
自宅の庭や貸し農園で芋や南
瓜も作っていた。お金が用を
なさない時代とはつきりと覺
えていらつしやる。

同20年3月13日の大阪大
空襲ですべてが焼けた。桐の
木が2本、樫の木、八つ手、
枇杷、いちじくなどの木々が
あった定久寺は木1本残さず
全焼する。近所の人たち全員
と避難していた小学校と中学
校だけが残り、大阪市内すべ
てなくなっていた。後に定久
寺は長居で再建される。
交通手段は地下鉄しかなく
なり、女学校へ通学するには
本町から内本町まで歩くしか
なかった。

同23年高等女学校4年生
のとき、東高等女学校、船場
女学校、汎愛中学校が統合
し、男女共学の東高等学校と
なる。この統合により学年が
高等学校2年生となった。そ

れまでの高等女学校は5年制
で、高校へ進学できるように
なった。当時女子は家事、裁
縫ができればよいという時代、
男女の学力差に驚く。英語は
それまでは敵性語であったの
が、大ブームとなる変わりよ
うだった。

化学部と英語部に入部し、
部長を務め、化学部では功労
賞を、英語部では府下弁論大
会で4位の成績をおさめる。
謡曲部ができ、文化祭では仕
舞（注1）「紅葉狩」を演じた。

同25年関西大学文学部英
文学科入学。この頃家族は豊
津に住んでいて近いからとい
う理由だ。受験の帰りに千
里山遊園地（注2）で飛行塔
の飛行機に乗った。

入学後に苦労したのは意外
にも英語。受験勉強とは違
い、文学作品の研究がとても
難しかった。第二外国語はド
イツ語を選択したが、4月に
入学し、すぐ9月のテストは
相当大変で徹夜で勉強した。

よく勉強したからか成績は上
がり、就職や後の再就職に役
立ったとのこと。

大学へは、男子学生のほと
んどが詰襟学生服、女子学生
は白ブラウスに紺色のスーツ
を着て通学していた。制服と
いうわけではないのに皆同じ
だった。興味深いのは、胸章
が「文」ではなく「英」「独」な
ど学科で違っているというこ
とだ。



卒業アルバム

教室の前列は数少ない女子
学生が占めていた。今日のよ
うに空調がなかったのに、な
ぜだが寒くなかった。お母様
の手作り弁当を持参していた
が、ときには正門前の「丸美
屋」でうどんを食べた。当時
のご自身は「大海に浮かぶ小
舟のような存在」と、その心
もとなさを振り返られた。因
みに29年英文科卒業女子学
生は3名となっている。

クラブ活動に目を移すと、
2年次生から茶道部、ユネス
コ研究部、謡曲部（現・能楽
部）に在籍。紅一点と言われ
た。家が近いという理由で3

つのクラブに入部できたとお
しやる。正門をくぐってす
ぐ左、うっそうとした木々の
奥に学友会館（現・新関西大
学会館北棟）が建っていた。
その1階は西村食堂、ユネス
コ研究部と千里山法律学会、
2階の大広間で謡曲部と茶道
部、囲碁部が曜日を決めて、
活動拠点（部室）としていた。
その名残なのか、現在も能楽
部と茶道部は凱風館で部室を
共同で使っている。

茶道部では七輪でお湯を沸
かし、風炉（注3）の釜があつ
た。現在も能楽部、ユネスコ
部とはOGとして学生たちと
関わっておられる。

ユネスコ研究会では関西大
学代表として近畿大会へ参加
し、その参加者の中から全国
大会（御殿場）まで出しても
らった。女子は広島からの参
加者と二人きりだった。OB
会長東浦栄一氏（昭26商）は、
彼女とは学生時代には顔を合
わせることはなかったが、湯
豆腐で有名な天六交差点近
くの「上川屋」で学生を交え
た、10数年前の総会で初めて
会った。その印象は、明るく
頭がよく、楽しい女性、と語
られた。

東女学校で習った謡曲部に
大学でも入部した。この時



2011年 関大能

代、女子部員は一人だったが、今ではほとんどが女子で、比率は反対になっている。部長教授の金子又兵衛先生の自宅で発表の会をしたこともある。次に部長教授になられた元学長の大西昭男先生は長い間熱心に来てくださった。その次の部長教授は狂言もさわれている関屋俊彦先生である。熱心な方で、能楽部の歴代をまとめたものを書いていらっしゃる。また、当時クラブで指導をいただいていた安東竹次郎・一郎両先生に習うため、10人程で週一回天六のご自宅へ通った。夜2時間の稽古だ。西梅田のサンケイ会館で行われていた文化祭で舞囃子や狂言(注4)をするようになり、同28年、能楽部

に改称した。

50歳の時、現役部員が二人だけになったので、現・瓢箪会会長榎井俊司氏(47工)をはじめOBで賛助出演した。今は部員も多いが、仕舞などに賛助出演している。誘えば後輩たちも見には来てくれるが、出てはくれないのでぜひ出て欲しい、ともおっしゃる。

OBには観世流能楽師である、山本章弘氏(58工)をはじめ七人もいらっしゃる。なお、伯父の山本勝一氏(昭20大予)、ご子息の麗晃氏は政策創造学部2年次生という関大一家である。現在は山本能楽堂に於いて毎年自演会を開催しており、昨年12月15日には「能楽部創部90周年関大能」が行われ、仕舞「菊慈童」を演じられた。

実はこの日のプログラムを観ていて偶然乙咩先輩が能楽部出身と知り、本好友抄への取材を思いついた次第である。この演目は立ったり座ったりが多いと、そのお話をされる表情は充実感のあふれる笑顔だった。「舞台に出る以上はちゃんとしたものをしなければならぬいから」との思いで4



卒業文集より能楽部部員一同

年前から能楽師の前田和子氏(平2学国)に師事していられ、常日頃の鍛錬が裏付けているのであろう。

学生時代に話を戻すと、辞書がボロボロになるまで勉強された集大成の卒論は「シェイクスピアの喜劇」。他の学生は「悲劇」が多い中、皆と同じものでない方が良く、という理由から選ばれた。

同29年卒業。卒業後は、楽器の輸入会社勤務した。「女は掃除をしろ」という時代。英文タイプも何もすべての仕事を上し、早く出勤して掃除をしなければならなかった。もともと掃除は嫌い。夏休みに教員資格を取ったこともあり半年程で退職された。その後、中学校の英語の教員を10年勤めた。二人目の

お子さんができたので教員を辞めた。その後子育てが済み、東高校、淀商業高校に講師として復帰した。当時は塾が少なかったため、家庭教師のアルバイトはフル回転。仕事、アルバイトが済んでからハイボールを飲みに行くのが楽しかったそうだ。お酒といえば入学時は飲めなかったが、コンパに行つて、卒業頃にはやつと飲めるようになったとおっしゃる。「やつと」とおっしゃった。

校友会活動では、寝屋川支部で女性一人でありながら、復活総会から副支部長を務められた。都島支部で副支部長、支部長も務められたが、幹事長のとき、東淀川支部では寺内俊太郎校友会会長も幹事長をされていた時代。女子秀麗会では初代総務部長等を務められた。二九千里会



二九千里会

では、第5代会長を務めておられる。今年卒業60周年記念総会を開催されるそうだ。ゴルフコンペがあるので、と50歳からゴルフを始められる。「いつもべなよ。ハンディをもらいすぎて優勝したこともあるのよ」と、くすくすと笑われる。

お話を伺っていると、よく覚えていらつしやることに驚く。高等女学校から始められた謡曲を今も現役で続けておられる。舞台に立つためにと、78歳にして改めて稽古を再開された。自分の30年後を想像し、その気構えを見習いたいと思う。

《注釈》

(注1) 仕舞とは、能の一部を面・装束をつけず、紋付袴が袴のまま素で舞う略式上演形態の一種。笛、小鼓、大鼓、太鼓という囃子方は入らず、地謡のみで演ずる。

(注2) 現在の関西大学一中・一高の場所にあった遊園地。

(注3) 風炉とは火を入れて釜を掛ける器物。茶席では湯を沸かすために、夏もしくは炉のないところで用いる。

(注4) 舞囃子は仕舞に囃子が加わった形式。狂言は風刺や皮肉の混じったいわゆる喜劇。日常的、写実的な台詞劇。

(取材 池松知永子・田中義昭)

2014スプリングフェスティバル 4月6日(日)に千里山キャンパスで

校友会では、昭和61年から毎年4月の第1日曜日を「校友デー」と定め、校友の母校愛の一層の高揚を願い、母校と校友、また恩師と校友、クラブ現役とOBなどを直接結ぶ行事として、千里山キャンパスで「スプリングフェスティバル」を大学の全面的な協力を得て開催している。

今やオール関大人の心待ちする春のイベントとなり、29回目を迎える今年は4月6日の日曜日に開催するが、当日、教室での総会や懇親会、テントでの催事を企画している団体は、2月末現在で60を超えている。

さあ、今年も桜の母校で「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」

◆開催日時 平成26年4月6日(日) 午前10時～午後3時(時間内に自由に来学ください)

◆開催場所 関西大学千里山キャンパス(阪急千里線「関大前」駅下車)
(駐車場はありませんので、電車を「利用ください」)

3回目の「見える学びを街へ」開催

博物館では「関西大学名品万華鏡」展

行事

＊歓迎セレモニー(千里山中
央グラウンド) 13時～14時

……校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶に続いて、応援団など現役学生による演舞・演奏が華やかに繰り上げられます。

＊落語公演「さくら寄席」(凜風館1階ロビー) 11時～12時)……特設ステージを設け、落語大学の学生による「さくら寄席」を特別公演。落大生たちの明るく楽しい寄席をお

楽しみください。

＊見える学びを街へ(総合図書館前テント(予定) 10時～15時)……関西大学では、地域や社会との連携を積極的

に進めているが、3回目の今回は、「化粧品品の科学―毛髪の美しさを求めて」と題して、化学生命工学部の長岡康夫教授の研究成果を紹介する。メラニンは健やかな黒髪を形成するためには欠かせない物質で、皆さんの毛髪診断や皮膚のメラニン量測定などを行う予定。また、研究がきっかけ

となり開発された毛髪化粧品や、その他の化粧品品の紹介も行われる。当日アンケートに答えていただいた方には、毛髪化粧品品のサンプルを進呈する。

＊野点・俳句(悠久の庭) 10時～12時半、14時～15時)……野点会場(無料)を設営し、茶道部現役学生がお点前で参加者を歓迎。また、俳句コーナーでは、桜を賞でながら句作ができ、作品はその場で掲示する。作品の中から「春の俳句大賞」を選び、入選された方には後日景品を贈呈します。

見学施設



＊総合図書館……昭和60年に開館。大学図書館としてはトップクラスの設備と機能を誇り、研究者と学生の両者を対象とする蔵書構成とサービス機能を備え、中央図書館としての機能も有している。

なお、1階展示室では「関西大学図書館の歴史展」(仮題)を開催する。大正3(1914)年7月、福島学舎に本学初の独立した図書館が竣工し、本年は100周年。これを記念して、総合図書館年表パネル、写真、図書館運営の歴史的な資料を集めて展示する。会期は4月1日から5月18日まで(図書館の開館日程に準じる)。

＊博物館(簡文館内)……平成6年に開館。23年に国の登録有形文化財(美術工芸品考古資料の部)に登録された「本山コレクション」を中心に、考古、歴史、民族などに関する資料や美術工芸・自然資料など約1万5000点を所蔵。重要文化財指定16点を含む約700点を常設展示している。

今年の特別展は、図書館の100周年と博物館の開館20周年を記念するとともに、創立130周年記念事業の一環として、初の連携企画展「館選 イチオシ! 関西大学名品万華鏡」を開催する。図書館、博物館双方の名品、優品を相互に関連させて構成。これまで一般に公開されることの少なかった貴重な資料も多く含まれる。会期は4月1日から5月18日まで(日・祝日閉館、4月6日と5月18日は特別開館)。

＊年史資料展示室(簡文館内)……128年におよぶ関西大学の歴史に関する資料を展示する常設展示室と企画展示室がある。

企画展示室では、昨年創立100周年を迎えた一高・一中の100年の歴史を、パネルや卒業アルバム、帽子などで紹介する「Start For Next」関西大学第一



＊生協本部食堂……凜風館2階のダイニングホールディノア（生協本部食堂）では、和定食・洋定食・麺類・丼物をほ

食事・弁当・飲物

＊豊臣期大坂図屏風復元陶板（第1学舎1号館内）……堺の宿院から住吉、天王寺、大坂を経て宇治平等院までを描いており、豊臣最盛期の大坂城を髣髴させる、類例の少ない豊臣時代の大坂を描いた貴重な作品。

高等学校・第一中学校創立100周年記念展」を開催する。
＊高松塚古墳壁画再現展示室（簡文館横）……平成20年3月に美術陶板を使って発見当時の写真から高松塚古墳の極彩色の壁画を再現する展示施設として設置された。



平成26年校友会新年互礼会が、1月15日午後6時から大阪新阪急ホテルで開催された。池

創立130周年に向け一致協力を 校友会新年互礼会に260人集う

じめ子供向けメニューも用意しています。また、教室等で総会・懇親会を開催の場合は、弁当（お茶付・1000円）やパーティー用特別料理・飲物の予約もできます。関大生協飲食事業部（電話06-6368-7531）まで直接申し込みを。
＊生協テント……総合図書館前の生協テントでは、弁当・缶ビール・缶ジュースのほか、

お問い合わせ

関大関係書籍や記念品にもなる「校章入り瓦せんべい」やシャツ・ネクタイなど関大オリジナルグッズを販売しています。
2014スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、関西大学校友会事務局まで（電話06-6368-0041・46・FAX06-6380-8476）

内啓三理事長、楠見晴重学長をはじめ大学関係者、校友の首長、議員、地域支部や職域会の代表、校友会本部役員など約260人が集い、創立130周年に向け、母校のますますの充実・発展を祈念し、母校を支える元氣な校友会として活動の促進を誓った。
草川大造、塩田貴美代両総務副部長が司会を務め、開会の言葉を北嶋弘一副会長が述べた。応援団第92代団長・黒沢花衣さんのリードで学歌を斉唱した後、寺内俊太郎校友会会長が挨拶。寺内会長は、「昨年1月

に校友会長を再度拝命し、この1年間、恙なく会務を遂行することができた。これも皆さんのご支援の賜物と深く感謝している。あと3年あるので、引き続いてのご支援ご指導をお願いしたい。

昨年1年の経過を踏まえて、皆さんと共有したいことが2点ある。1つは、この2月のソチ五輪に高橋大輔と町田樹の両君が出場するということ。関西大学はフィギュアスケートのメッカであり、これを支えているのは高槻キャンパスにあるアイスアリーナである。アイスアリーナについては、我々校友会も大いに協力している。そういう誇りを持って、今回もソチに行き、皆さんの代表として応援したい。振り返れば、4年前には楠見学長とバンクーバーに行き、高橋君、織田信成君を応援した。高橋君は日本男子として初の銅メダルを獲得。その時の感動を新たにしたいと思っている。

もう1つは130周年。様々な記念事業が企画され、具体化してくると思うが、募金活動等でも協力していきたい。また、法科の関大として130周年を迎えるためにも、法人、教学はいろんな意味で努力をされているので、これを支援したい。法科大学院の再建に対する法人・大学の努力を、教育後援会と一



お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

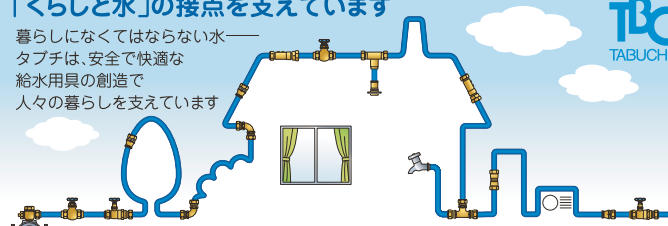
高槻の隣り町 島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくってはならない水——
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています



ホームページは [タブチ](#) [検索](#)

給水用具の設計・開発・製造

株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210



緒になってバックアップしていく。このことが、130周年を迎える母校の大きな目標ではないかと思っている。皆さんのご賛同をいただき、校友会をより一層充実して、物心ともに母校を支えていきたい」と、決意を述べた。

来賓紹介に続いて、池内理事長は、「高橋・町田両君の壮行会で、2人は心強い決意を述べてくれ、我々としては、関西大学として2人に最大限の支援を」と約束した。募金活動を始めていっているので協力をお願いしたい。

たい。

法人としての関西大学が命運を賭けた2010プロジェクトで、この3月に人間健康学部と社会安全学部が初の卒業生を出す。ここまで順調に推移しているが、教育・研究面で高い評価を得るためには、今しっかりとやっておかねばならない。また5年を経過して見直した長期行動計画に基づき、教育・研究・社会貢献など目標を立てて遂行するが、チェック&アクションをしっかりとやっていきたい。創立130周年記念事業のアウトラインについては、本日発行の機関紙『関大』で詳しく説明している。しっかりとした事業展開をしていきたい」と挨拶。最後に、最近引用している「ザ・チーム」の言葉で関西大学の組織のあり様を紹介した。

楠見学長は、「私もソチ五輪に関連し、3大会連続出場の高橋君に、関西大学の一員として最大限の敬意を表する。また、町田君の初出場も喜ばしいことで、2人の活躍をオール関大で応援したい。また、残念ながら連続出場がなかった織田君の奮闘にも最大限の讃辞を送りたい。第一線からの引退を表明したが、我々は長い間、彼に勇気付けられ、励まされた。本当にありがたい」と述べた。また、今年の抱負として「大学の使命

は教育の充実を図ることが第一。更には研究力を高めることが活力になる。関西大学は、大阪にしっかりと根を下ろし、地域社会に貢献しつつ、グローバル化にも貢献できる教育と研究を進める大学として、更に高い

ステージに飛躍させたい。国際化については継続して促進するが、校友会の海外支部のご協力も仰ぎたい」と挨拶した。

栗原宏武評議員会議長が乾杯の挨拶と発声を行い、懇親会に移った。応援団吹奏楽部の演

舞・演奏が会場を盛り上げ、しばし歓談。応援団第92代副団長・府上沙綾さんのリードで追遙歌を合唱したあと、廣内良明教育後援会会長が大阪締めを行い、田中義昭副会長の閉会の言葉で盛会裏に閉宴となった。

第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会 5月26日(月)に天野山CCで開催

支部相互の親睦と校友の親睦を図る催しの一つとして、第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会を、次の通り昨年度に続き天野山カントリークラブ(36ホール)で開催します。新緑さわやかな好季節に、日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮していただき、校友会長杯(団体戦)、理事長杯(個人戦)をめざして、楽しくプレーしてください。なお、知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。



戦Ⅱ上位10位まで入賞。10位単位飛賞あり。

◆表彰式 競技終了後、クラブハウスのレストランで成績発表、表彰式、懇親会を行います。ぜひ表彰式までご出席ください。

◆参加費 6000円(ゴルフ場での支払いは各自負担。プレーフィはキャディ付き税込1万3850円Ⅱ1ドリンク・昼食付。但し懇親会での酒類は各自負担)。全員に参加賞あり。

◆記念品 今回の第30回記念として、豪華記念品を参加者全員に準備しております。

◆申込方法 1支部4人以上(4人に満たない場合は個人戦のみ、先着250人Ⅱ定員になり次第締切。最終は4月21日(月)必着。参加申し込みをされた方には、5月上旬頃に実施要項、参加者氏名・住所届用紙、組合わせ表等をお送りします。

※参加ご希望の方は、所属地域支部、氏名、卒業年・学部、住所、電話、生年月日を明記の上、郵送かFAX(06-6380-8476)にて、またはE-mail: honda@jin.kansai-u.ac.jpへ、早めにお申し込みください。

※個人での参加も歓迎します。問い合わせ等は、校友会事務局(06-6368-0042)まで。

◆競技方法 18ホールストロークプレー(プレーのコースによりティーの場所が異なる、6インチリプレース可、ローカルルール適用)、ダブルペリア方式を採用(競技委員長・ゴルフ場支配人一任)

◆表彰 団体戦Ⅱ上位5位まで入賞(各支部上位4人のネット合計で決定)。個人

九州地区支部連合会研修

3回目として「幹事長研修会」を開催

北九州と佐賀の活動事例聞き、討議

九州地区支部連合会（花田正利会長）では、1月18日に福岡市・平和楼天神本店で幹事長研修会を開催した。

今回3回目となる研修会は、支部の中軸となる幹事長の役割や責任について討議するために九州・山口・広島各支部（会）から幹事長や事務局長、若手幹事など19人が参集、本部からも田中義昭副会長、田中義信組織部長、本間敏司組織部役員らが出席して活発な意見交換が行われた。

冒頭、花田連合会長が、次のように開催主旨を述べた。

「これまで、支部役員としての意識向上、次世代への継承、とテーマを掲げて研修会を開催し、今回はその組織運営の中心となる幹事長にスポットを当てて開催した。

九州は、これまで九州地区支部対抗ゴルフコンペの交流からはじまり、今や沖縄、山口、広島をも加えて、支部間の交流がさらに広がり、活発なものとなっている。そしてそれが、支部間の良い意味での競争を生み、その一方で、低迷している支部と活発な支部の温度差も見えはじめた。

支部運営の中心は幹事長であるという認識から、その役割や責任、そして、校友を如何に集めていくのか、特に、平成卒と言われる若手校友や女性校友を集めるためにどうすれば良いのか、そして彼ら次世代への継承を如何にはかるかを、ここ数年組織の活性化を積極的に進めている北九州支部と佐賀千里会の事例を参考に討議を深め、各支部が持ち帰って議論していただきたい。

続いて、本部の田中副会長は、「九州地区の総会の出席者の割合は非常に高いものがあり、本部としても大きな期待をしているとともに、日頃の支部役員の方々のご尽力に感謝申し上げます。

校友会では、2年後に迎える母校創立130周年記念事業を計画している最中であるが、地方都市での校友の集いを検討しており、その最初の地を、ここ九州では是非開催したいと考えている。九州地区連合各支部のご協力をお願いしたい」と挨拶。また、九州地区以外での地域支部の改革事例として、「尼崎支部では若手会がボウリング大会など親睦事業を行っており、

これには支部長等は参加しない。さらに、支部の若手校友らは、サークル活動には参加しても総会には参加しない。しかし、サークル活動に参加するだけでも将来的に効果がある」、「社会連携活動が活発になっており、市民まつりへの参画、市民公開講座の開催、特に、母校の先生の研究活動成果などを、是非ともみなさんの地域や社会に広めていただきたい」、「伊丹支部では地元の柿衛文庫と母校博物館が連携して『関西大学所蔵名品展』を開催した」等々、研修会の参考として、活性化に向けた支部活動の実例を挙げた。

その後、若手校友（青年・女性）を支部活動へ誘引するため

に、幹事長が中心となって若手会を結成して始動した北九州支部の西原正人幹事長と、佐賀千里会の松永久光幹事長から活動事例を聞き、討論をすすめ、意見交換では、各支部の事例を紹介しながら建設的な意見が多数提案された。

野々口瑞穂連合会副会長から、「幹事長という役割がいかに重要であるか、この会議を通じて改めて再認識されたと思う。各支部が、それぞれこの会議の内容を持ち帰って、是非とも支部内で検討していただきたい」と述べ、約4時間にわたる熱心な議論、意見交換を終えた。

支部は今、新しい組織への転

換を考える時機にあり、九州地区各支部（会）は、幹事長が中心的役割を担い、青年部会や女性部会を組織して活性化をはか

【事例報告】

低予算の総会（集い）で若手層の参加増える―佐賀千里会

北九州支部―社会連携など青年女性部会が支部運営のキーに

【佐賀千里会】

▼SWOT分析

・S（強み）Ⅱまとまりが良い。低予算で豪華な総会。九州でも存在感ある立場へ。幅広い層の参加。

・W（弱み）Ⅱ絶対人数が少ない。幹事がいい加減、慣れ。フォローがなっていない。次世代への引継ができてない。

・O（機会）ⅡリピーターのPRで発展の余地あり。近隣支部との連携強化で世代毎のメリット。

・T（脅威）Ⅱ現在のスタッフになんらかの事故。

▼目指す方向

・広い層からの参加ができるよう、各世代からの要望に応えられる組織

・進んで参画できる喜びを伝える。

・総会参加人数の増加、組織の強化。

・新しい参加要請手法の確立（フェイスブック、ツイッター、口コミ）。

り、支部活動の充実発展へ向けてスタートすることとした。

（事務局 奥田恵造）

▼生かせる経営資源

・会社、お店など経営する校友の積極的利用。

▼案内の方法

・校友会リストによる全員への郵送Ⅱコストパフォーマンスは低い、会員へプレゼントする気持ちで行っている。

・返却郵便物などの情報を本部へ還元。

・定型の案内だったものを毎回の思いを込めて内容変更Ⅱ①文章表現などを考慮、②「総会」という名称を「集い」に変更。

▼事業概要

・総会

・佐賀青春歌祭参加

・ゴルフ部会Ⅱ①関関同立、②福岡千里会との合同、③九州・山口・広島合同、④中国

・佐賀千里会ニュースの発刊（機関紙に同封）

・若手部会（支部予算計上）Ⅱ若手校友の集い

・九州各支部総会参加Ⅱ他支部参加で生かせることは利用

▼平成25年度に実施してみたこと

・会場を1次会からダイニングバーとし、会費を5千円とした

・その過程で、若い層、店主の意見を聞きながら参加意識を持たせた

・結果、飛び込みの参加が増え若い層の割合が高まった

・バー「酔美」(校友経営)のネットワークでの声掛け、平成卒の声掛けが増えてきた

・質沢な賞品が売りだったが難であったことを反省し、熊本支部の手法など取り入れ九州各支部からのおみやげを有効活用

・簡単な自己紹介ウオーク自己紹介した人に賞品贈呈

・若手を進行係へ

・フェイスブックでの案内当支部としてはあまり効果なし

・アンケートの試み結果、提出なし

・ツイッターでのフォロー

・佐賀新聞への投稿見た人に気軽に楽しい雰囲気を感じさせるような写真を掲載

・若手会への予算計上

▼今後の課題と26年度以降に考えていること

・総会案内に25年度の総会写真を掲載して気軽さをアピール

・1次会は「櫓庵治」(校友経営・人数の課題あり、豪華食事)、2次会は「酔美」(校友

経営)をあらかじめ案内に盛り込み2次会からの参加も可能とする(要検討事項あり)

・基本は声をかける人の数を増やすことであり、積極的参加者を増やしていく

・SNSの継続利用

・低会費の継続

▼友好支部へお願い

・6月の合同コンペに参加を

・11月15日の佐賀県青春歌祭への派遣要請

【北九州支部】

▼運営体制

・幹事 支部長、副支部長、幹事長、幹事(監事、会計、青年女性部会長)

・初的女性部会長選出(平成23年度) ①21~22年度17人(平成卒幹事1人、女性幹事1人)、②23~24年度21人(平成卒3人、女性4人)、③25~26年度20人(平成卒5人、女性4人)

・幹事会 年4~6回開催

・総会開催日、総会企画、総会案内の発送、合同ゴルフ

・他支部総会等への派遣、新年会、支部だより企画、青年女性部会助成

・青年女性部会増本光彦(平11学社)が立ち上げを幹事会にて発案、設立して5年経過

・現青年女性部会長、核となっている部会員は10人(名簿上は20~30人)で、年2~3回開催。総会企画、支部だより

企画、社会連携活動への参画(50周年を契機に)

※総会参加を強制していない↓それは彼らが支部運営を担っていく

※青年女性部会が支部運営のキーとなっている

▼総会(平成25年度の総会は支部設立50周年を記念し「校友のつどい」として開催)

・議題 活動報告を2種類

・会員講話 幹事会での発案。幹事会で指名。指名された会員が題目を決める↓学校教育、裁判員制度、食事、骨髄移植など

・その他 来賓、会場設営、記念撮影(総会終了後に手渡しできるよう配慮、初参加者紹介、抽選会(青年女性部会が運営)、アトラクション(北九州で頑張っている個人・団体)

▼支部だより(坂口現支部長の発案により発行を開始、年1回発行、25年に第10号を発行)

・初回発行 平成16年8月25日

・編集 指名して記事依頼。少人数で編集

・10年記念号 青年女性部会が企画・編集。完全な手作り

▼社会連携活動(校友会本部より助成金)

・実施日 25年11月15日(金) 18時~20時

・実施場所 八幡駅前

・企画等 青年女性部会が企画。八幡駅前イルミネーション

・点灯イベントに「関大ちゃんこ鍋」を出店し、関大のPR

(幟、法被、看板、総会案内パンフ等)を行うとともに、「にぎわいのまちづくり」に貢献する

※事前会議・調理実習実施(11月9日)

※機関紙「関大」への掲載依頼

・反省 次回実施する時は土日祝に。もっと手間のかからないものを

▼支部会員等

・会費納入者数 10年前は60人代、現在90人へ手が届くまでに増加

・幹事会費 会費とは別に5年前から幹事会費を徴収

▼会員名簿の管理

・支部会員名簿の作成に当たって、「もう連絡しないで欲しい」「ここには居ない」「亡くなった」「手紙が戻ってくる」などの返事返信に対し、確実に対応している 名簿備考欄に記事を残す。外には出さないが、名簿からは消さない

・また逆に、親から「子供はここには居ないけれど、支部会員として置いてくれないか」

「子供の住所も葉書等で返事をしてくれる親もいる(東京、兵庫、三重、長崎、札幌など)」必ず返事を出す(特に子供宛)ことにしている(帰ってきた時、寄った時、連絡くださいと)

▼その他支部運営・思うこと

・支部長への連絡は密に相談できる人。助けてくれる人。動いてくれる人

・自分も無理しない。強制しない

・でも少し上を目指せないか? 自分も楽しむ

【意見交換】

若手には会費がネック

総会会場の変更も検討

意見交換での主な発言は、つぎのとおり

【田中副会長】支部活動や総会に参加する若手校友、初めて参加された校友を大事にしたい

佐賀千里会が毎年参加する「寮歌祭」に九州各支部からも是非協力してほしい

【花田連合会長】本部から提供の校友リストは、卒業年順や地域別など、希望するデータをもらうことができる。新規校友獲得のためにも戦略性をもった名簿管理をされたい

九州各支部総会には、来賓支部がそれぞれお土産を持参するよう配慮し、それを総会の景品に充てるなど、有効的な活用を検討されたい

【大分】総会会費がネックとなっているため会場の変更など考えた

若手会を軸とした活動、また社会連携活動など、立ち上げる



のが難しいところもあるが、検討していきたい。

大分在住の校友数は意外と多いが、総会参加者数が30人弱と少ない。もう少し工夫していかなければならない。しかし、総会の内容充実が必ずしも参加者数の増加に繋がるとは思えず、それ以前の問題があるかと思う。少しでも関心のある校友に情報発信をしながら啓蒙していきたい。

【長崎】以前は2年に1度の総会開催であったが、数年前から毎年開催するようになった。

校友への案内は往復はがきで約150人。これまでの参加者や30〜40歳以上の新規校友に、長崎市内を中心に送付している。

平成卒業生が少ないため、若手に声掛けをお願いしながら、勧誘活動を強化しはじめている。

「総会」という名称がやはり硬い印象があるので、今回の議論を参考にして、当支部も名称を「集い」にするよう早速に検討したい。

【熊本】若手校友の発掘をしていきたい。

やはり懸念されるのは総会の会費であり、当支部も会場の変更など視野にいれて、比較的参加し易い会費の設定を検討したい。

広い県内、地域毎に活動 狭い所は卒業年順を重視

【広島】2000人以上の校友があり、総会には約40人が参加している。

当支部には、「三金会」という懇親の場が定期的に開催されており、60人近くが参加。

また、広島カープやサンフレッチェ広島の観戦にも約30人が参加しており、これら校友が総会に参加すれば、必然的に総会人数は増えるのだが、総会参加に結びついていないのが現状である。

当支部では副支部長に役割を

つけるようにし、広島各地域から副支部長を選出するなど組織体制の充実強化をはかっている。

【山口】当支部は東西にエリアが長いので、県内を8支部に分けて活動している。各支部が懇親会を通じて活動しており、それぞれ30人程度が参加している。

単純にその総数を合算すれば、総会参加人数は必然的に多くなるが、あまり無理をせずに総会を新山口駅前にて、各支部の代表者が集まって開催している。

当支部も、青年・女性部会の設置を、今回の会議を参考に検討したい。

【北九州】青年・女性部会は、若手校友が中心となって、最初は単なる飲み会からスタートした。そこから次第に、関大カラーを出していきながら現在に至っている。支部役員の方々の物心両面の支援も大きい。

北九州支部は、かつてブロック分けをして活動していたが、機能しなくなった。名簿も地区別に分けていたが、現在は、地域性よりも卒業年順で掲載し、同期生が分かり、親近感が湧くよう配慮している。

【福岡】約300人に各行事の案内を行い、約半分から返信がある。総会は約600人の校友に案内している。
電話による勧誘活動も行っている。

いるが、およそ約1割。リピーターの確保も難しい。単におもしろくない、会費に伴わない等々、意見もいただいている。

また、支部年会費収入も困難になってきている。今回の会議内容を参考に、できるところから改革していきたい。

【白木連合副会長】先般、同志社の福岡支部が150人を集めて総会を開催した。案内はがきを減らし、電話による勧誘などもしたようだが、どのようにしてそれほどの人数を集めたのか、調査し参考にしたい。

魅力ある総会づくりを検討して、個人的にはあるが、普段なかなか会えない著名人に参加要請するなど声掛けしている。

九州連合が一体となって、今後も交流を深めて意見交換しながら互いに勉強したい。そのために、年次別の幹事役の任命、平成卒校友や女性校友が集まる場を設けるなど、検討したい。

周年行事も契機に活用を 社会連携で支部活性化も

【花田連合会長】各支部の歴史をもう一度精査いただきたい。

例えば、本年度、佐賀と長崎、来年度は熊本が創立60周年となる。周年行事をひとつの契機ととらえて、支部の充実発展の機会とされたい。

【田中組織部長】平野支部長も仰せつかつているが、支部で

は、総会の様子を撮影した写真を送付し、アンケートを添えるなどしている。

また、なるべく参加してくれた人に、意識付けをするため幹事役を任せている。ほかにも、職域会や各種団体などに属する校友に、できるだけ地域支部活動に参加するよう要請することも大事である。

本部としては、今年も7月に全国組織代表者会議を開催するので、是非とも参加いただき、活発な議論と意見交換をお願いしたい。

また、現在、本部が推進している社会連携、地域連携活動にも取り組んでいただき、支部の活性化に繋がっていただきたい。

【本間組織部長】藤井寺支部に属しており、地域で河内連合若手会を結成したが、なかなか各支部の総会参加者増加に繋がっていない。「関大」というキーワードだけでは機能しなくなっているのではないかと感じている。

職域会では、経済人クラブの役も仰せつかつているが、ここでは、メイリングリストを作成し、ハガキ等の負担を軽減している。また、3ヶ月に1回の例会を開催し、さらには、毎月の幹事会を開催して、頻繁に集まる機会を設けている。関大というバックグラウンドのもと仕事を通じて繋がりも必要かと思う。

香港千里会と積極的交流を促進 第一弾として次回は香港で開催

第5回広東関大会(是澤秀樹会長)は、12月14日正午から深圳市羅湖区の日本料理店「酒菜屋」で開催された。深址は広州市の南約120kmに位置し、中国の近代化発展を牽引してきた大都市である。香港への玄関口となる深址の発展は止まることなく、あらゆるものの質が高い。

今回は、井上氏のご推薦で「酒菜屋」さんにお世話になったが、主人は同志社OBだそうで、料理の質も極めて高かった。現会員の居住地のちょうど中心となる会場に、井上・長谷川両氏は香港から、櫻田氏は順徳から東莞に引越された森口氏とともに前日入り。是澤会長、東口



は広州市内から高速鉄道「和諧号」で1・5時間駆けて集合した。

支部旗掲揚の後、各会員の近況を報告。2014年の活動に向け有益な情報が交換された。また、11月19日に開催された香港千里会定期会合について、東口より内容を報告した。その後、来年の活動方針として香港千里会との積極的な交流を図ることを満場一致で採決。その第一の矢として、次回開催地を香港とすることとなった。同時に広州での関関同立懇親会の開催も第一四半期中の開催をめどに進めることとなった。

このような活発な議論が続く中、「酒菜屋」従業員の大川健太郎氏の父親が関大OBとの情報を得、特別会員として学歌、応援歌、関大マグマ、逍遙歌の斉唱に参加いただき、大賑わいのうちに2013年度の活動を完了した。

写真は、左手前から櫻田、森口、大川(特別参加)、井上、是澤会長、東口、長谷川の各氏。(東口和文)

(東口和文 higashinaguchi.kazufumi@takenaka.cn)
会旗掲揚で士気が高揚
12人OB・OGが集う

11月29日、香港千里会では懇親会を開催。尖沙咀の居酒屋八海山に総勢12人のOB・OGが集まった。スペシャルゲストとして広東関大会から東口氏が参加。また、香港大学など香港にご出張中の外国語学部教授、内田慶市先生を招き、懇親会はいへん賑やかなものとなった。

初対面の方との名刺交換では、「XXの件ではお世話になりました!」「おつ、御社は敵やな!」などの会話が聞かれ、香港・華南地区の狭いビジネス社会が垣間見られた。

今回、校友会から贈っていただいた重みある紫紺の「関西大学香港千里会」旗を掲揚すると、香港千里会に箔がつき、同窓生



の士気が一気に高まった。宴も話が尽きない中、関大の卓上カレンダーを配布し、そこに掲載されている「学歌」「逍遙歌」「応援歌」を皆で声高らかに歌いあげた。途中、ヨット部で慣らした新井会長の応援手振りも加わり、ラストは「関大マグマ」で大いに盛り上がった。もちろん、「俺、バイト部やったから知らんわ(笑)」、「そもそも大学にあまり行かへんかったしなあ(笑)」という声も。

発足から28年以上続く、今年最後の香港千里会はこうして幕を閉じた。

次回は、2月中国旧正月(春節)明けに、広東関大会と合同での開催を企画している。

(山下謙一 hksenrika@gmail.com)

上海関大会が定例会 皆さん 新年好!

上海関大会は、1月15日に日



本料理の「天の川」で、12人参加のもと定例会を開催した。次回の定例会は、3月19日を予定している。みんなでもた集まりましょう!

(山本震一 yamamotos@snystrading.com)

新メンバー5人を加え 総勢15人で新年会開く

泰国千里会では、1月24日に新メンバー5人を加え、総勢15人で新年会を開催した。

桂文枝師匠の直筆サイン争奪のジャンケン大会が行われ、角田勇副会長が執念で勝ち取り、また関大ミニフラッグもジャンケン大会の賞品とするなど大いに盛り上がった。

学歌、逍遙歌で閉宴の予定が、平井克典氏(昭60学社)のリクエストで応援歌の合唱となり、大変良い新年会となった。なお、3月、4月の千里会ゴルフコンペの予定が決定してい





**昔のジャカルタが話題に
12人が参集して忘年会**

JKT千里会は、12月13日に「海宝丸」に12人が参集して忘年会を開催した。

先輩諸氏の20～30年前のジャカルタの話で大いに盛り上がり、また次年度の予定などを話し合い、充実した活動を期して再会を誓った。

今回は、新年会として1月31日にゴルフを兼ねて開催予定。
(黒田和孝 yaping.office.id@gmail.com)

る。3月30日(日)と4月26日(土)です。お忘れなく！

今年も、校友会本部の来タイが予定されている。それぞれが参加できる範囲で、今年も泰国千里会を楽しんでいただきたいと思う。

皆さん、今回はゴルフ場で会いましょう。

(安楽成司 anraku@sscth.com)

**発足後初の懇親会を開催
在米32年の辻野氏を送別**

ロサンゼルス千里会は、11月21日に懇親会をオレンジ郡レストラン古都で開催した。

当会が発足して初めての懇親会ということで、当日は全員の参加者と共に、関係者の紹介や今後の活動予定等について歓



**新春コンペ12人で熱戦
新年会には13人が集う**

JKT千里会は、1月31日にゴルフコンペ並びに新年会を開催した。

TAKARA GOLF RESORTで行われたコンペには、12人がエントリーして熱戦を繰り広げ、続いているCHUNG GI WAで開催された新年会には、途中参加者を併せて13人が参加し、新年の挨拶を交わした。

今回の例会は4月10日であるが、2月か3月に、足立会長および松村氏の送別会を予定している。

**会員10人と子ども3人
寄せ鍋を囲んで新年会**

パリ関大会では、1月24日にオペラ座界限にある和食レストラン・善で新年会を開催した。

日本に出張中の中井直氏、トウルに在住の安田華子氏、自営のレストランをやはり抜け出せなかった松本三夫氏以外の10人(石井襄、山口清治、村口照

談した。

また、今回は、在米32年の辻野貫三氏(昭46学商・写真左から3人目)の送別会を兼ねており、帰国される辻野氏の古きアメリカ時代の話や、帰国後の兵庫県川西市での日本の生活について等々、高齢者が多い当会の参加者には、興味ある話題で盛り上がった。

最後は、校友会から授与された千里会旗と共に記念撮影となり、再会を約束した。

(白川 敦 shirakawalex@gmail.com)



ご良縁 成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話。

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

- | | | |
|--|--|---|
| 1 成婚率の高さ
無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。 | 2 質の高い会員層
国公立・有名私立大学が中心。 | 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。 |
| 4 自社会員のための構成
成婚率の高さの維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。 | 5 格式あるお見合いパーティー
帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。 | 6 安心の均一料金システム
どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。 |

お問い合わせセンター
営業時間 10:00～18:30
定休日 水曜日

よい ふうふ よろしく
0120-4122-46

資料請求 無料

- ドクターズコース
- スタンダードコース
- シニアコース 有

株式会社 **エムロード** Marriage Road

携帯・WEBからも エムロード 結婚



11月29日、台湾OB会の李銘坤会長は、台湾新竹の玄奘大学で講演を行った。同大学には、

銘坤李会長が玄奘大学で講演 例会では母校と玄奘大学生の交流も

校友の池田辰彰先生が教鞭をとっておられ、今回は担任している応用外語学科日本語系の学生達に向けてのものであった。

ちょうど12月22日に開催予定の第6回例会に、母校経済学部授業の一環として台湾を訪問する国際プログラムで、担当の北波准教授が11人の学生を連れて訪台されることから、その折に関大と玄奘大学の両学生の交流をしようと企画提案もされた。

忘年会を兼ねた第6回例会は、12月22日に天星港式飲茶餐廳で開催。

その開会前の午後3時から5時まで、玄奘大学の13人の学生と母校の学生が一堂に会し、両

夫、丸山紀子、薛善子、松尾綱紀、辻本和加子、堂崎真紀、森



岡美晶、祖川健の各氏と、週末ということもあり8歳の女の子2人（真珠ちゃんとかナエちゃん）、3歳半の男の子（あらた君）が一堂に集まり、寄せ鍋を囲んで大いに盛り上がった。

気のおけないOB同士、話は尽きず解散となったのは11時を随分過ぎたころ。

次回は、6月もしくは夏休みをはさんだ9月に、皆で再会しようと言いつ、帰路に着いた。

（薛 善子 setsu.yoshiko@gmail.com）

台湾南部の高雄で OBの店に集い懇親会

正月明け早々の1月12日、台湾OB会は、台湾南部での懇親会を開催した。

引き続いて、我々台湾OBと母校学生達の交流懇談会が開宴。時を忘れて午後9時まで、4時間があつという間で、皆が楽しく過ごした。今回初めて出席の関大台湾留學生大学院生第一号の張廣村夫婦を入れて総勢47人、過去最大のOB会となった。

次回例会（26年第1回例会および新年会）は、2月22日の18時から上海聚園餐廳で、新入生および在學生を招待して開催予定である。



今回は、嘉義的林双雨ご夫婦が結婚37年で、台湾の昔の古礼でもう1度儀式を開く記念の日にあたり、その関係で当日は各々が各地より嘉義へ向い、式に参加することとなった。

昼食後は高雄へ移動して懇親会に。場所は、台湾OBである呉相賜、李怡娥夫婦が経営している韓国焼肉料理店「金漢城」。

宴は午後6時から始まり、おいしい焼肉とお酒をいただきながら、話は尽きることもなく楽しく充実した時間をすごした。

また、今後の台湾OB会の全国的な運営を充実させるため、台湾南部を柯武徳先生、中部を唐景良および廖天煜ご夫婦を連絡担当者に決定し、より強固な組織体制を整えた。



ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO- 14001



OHSAS-18001



【本部関係】

- ▷ 第102回定時代議員会 3月29日(土) 13:00 100周年記念会館
- ▷ 2014スプリングフェスティバル 4月6日(日) 10:00 千里山キャンパス
- ▷ 第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会 5月26日(月) 7:00 天野山カントリークラブ
- ▷ 第103回定時代議員会 6月14日(土) 13:00 100周年記念会館
- ▷ 平成26年度全国組織代表者会議 7月5日(土) 13:00 100周年記念会館
- ▷ 天神祭船渡御奉拝船関大丸就航 7月25日(金) 17:00 大川
- ▷ 平成26年度校友総会 10月19日(日) 12:30 BIGホール100
- ▷ 平成27年校友会新年互礼会 平成27年1月15日(木) 18:00 大阪新阪急ホテル
- ▷ 第104回定時代議員会 平成27年3月28日(土) 13:00 100周年記念会館

【地域支部】

- ▷ 四條畷支部総会 3月22日(土) 17:00 くるまや(櫻井孝雄=072-876-0836)
- ▷ 鹿児島千里里「万世特攻慰霊祭」(南さつま市) 参列 4月13日(日) 鹿児島中央駅8:45発送迎バス(時任博幸=090-4581-7092)
- ▷ 神戸支部親睦ゴルフ大会 4月16日(水) 8:00 オリムピックゴルフ倶楽部(3,000円+プレー費13,000円。kandaikobe@gmail.com)
- ▷ 神戸支部地域連携事業「六甲アイランドウェルカムフェスティバル」 4月26日(土) 11:00 (kandaikobe@gmail.com)
- ▷ 橋本支部総会 4月27日(日) 10:30 橋本市教育文化会館(橋本市教育委員会・坂本安弘=0736-33-1111)
- ▷ 東大阪支部地域連携事業「東大阪市民ふれあいまつり」 5月11日(土)(岩崎事務所=072-966-0111)
- ▷ 藤井寺支部総会 5月18日(日) 時間・場所未定(技研設計・本間敏司=06-6533-5145)
- ▷ 大阪狭山支部総会 5月24日(土) 17:00 SAYAKAホール(花崎光輝=072-366-6120)
- ▷ 和泉支部総会 6月7日(土) 11:30 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津(西田耕作=0725-33-2679)
- ▷ 松原支部総会 6月8日(日) 11:00 ふるさとピアプラザ(西田孝司=072-336-1600)
- ▷ 神戸支部総会・懇親会 6月20日(金) 18:30 生田神社会館(10,000円。kandaikobe@gmail.com)
- ▷ 和歌山支部総会 6月21日(土) 時間・場所未定(長谷川冷機・赤井雅哉=073-436-2151)
- ▷ 城東支部総会 6月21日(土) 17:30 大阪キャッスルホテル3階・錦城閣(近藤正昭=06-6935-5545)
- ▷ 北支部総会 6月27日(金) 18:00 ハービス大阪6階・ガーデンシティプラザ大阪(市田利夫司法書士事務所=06-6375-1336)
- ▷ 八尾支部総会 6月28日(土) 11:00 八尾市文化会館・リズムホール(中尾達夫=072-998-3526)
- ▷ 堺支部総会 6月28日(土) 16:00 ホテル・アゴーラリージェンシー堺3階・利休(鍋島均=072-284-1412)

- ▷ 鶴見・都島支部合同総会 6月28日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル3階・錦城閣(鶴見・みつばさ保育園・迫匡=06-6961-7363、都島・香西安勝=06-6922-4862)
- ▷ 京都支部総会 7月5日(土) 18:00 ホテルグランヴィア京都(壽見芳正=0774-24-8008)
- ▷ 河内長野支部総会 7月6日(日) 11:00 河内長野市ラブリールホール(かとう法律事務所・加藤安宏=06-6311-2235)
- ▷ 東淀川支部総会 7月6日(日) 17:00 場所未定(田中正紀=06-6328-4162)
- ▷ 富田林支部総会 7月12日(土) 10:30 富田林市民会館(野島努=0721-23-3190)
- ▷ 岡山支部総会 7月12日(土) 18:00 岡山全日空ホテル(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
- ▷ 石川県支部総会 7月12日(土) 18:00 金沢エクセルホテル東急(岡野茂=0767-28-3508)
- ▷ 香川支部総会 7月19日(土) 16:00 JRホテルクレメント高松(金星タクシー・川崎有二=087-821-7070)
- ▷ 池田支部総会 7月26日(土) 18:00 池田市市民文化会館コンベンションホール(井上章=072-753-5645)
- ▷ 茨木支部総会 8月7日(木) 18:30 ホテル阪急エキスポパーク(別處了一=072-634-6613)
- ▷ 滋賀支部総会 8月23日(土) 16:00 琵琶湖ホテル(加田幸雄=0749-22-5493)
- ▷ 広島支部総会 8月23日(土) 18:00 宮島ホテルまこと(コスモシステム・重谷里志=082-511-2161)
- ▷ 台湾OB会総会 8月23日(土) 18:00 場所未定

【職域会ほか団体】

- ▷ 葦文会文化講演会(評論家・石平氏「中国経済と今後の行方」) 3月23日(日) 13:30 福島区民センター1階ホール(1,000円。三電社=06-6452-2210)
- ▷ 鶴飼康東教授「ソシオネットワーク戦略研究機構」特別講演会・退職祝賀会 3月25日(火) 千里山キャンパス・100周年記念会館 ①特別講演会・共同討論会 16:00 第一特別会議室(参加無料) ②退職祝賀会 18:30 レストラン紫紺(10,000円。鶴飼ゼミOBなら当日でも受付可。実行委員長・松下敬一郎=06-6368-1228)
- ▷ 三二会総会 4月6日(日) 11:00 千里山キャンパス・(廣芝國夫=072-751-2561)
- ▷ 紫紺四五会(卒業44周年) 4月12日(土) 13:00 大阪駅前第一ビル12階・神仙閣(7,000円。西岡山清一郎=090-3059-6548)
- ▷ 大阪国税秀麗会総会 4月18日(金) 19:00 道頓堀ホテル(中野純一=072-726-6164)
- ▷ 心理学教育学研究部懇親会 4月19日(土) 15:00 100周年記念会館・レストラン紫紺(6,500円。大下正一=090-2283-2860)
- ▷ グリークラブOB総会 5月25日(日) 12:00 千里山キャンパス・校友会会議室(塔筋浩司=090-1024-9066)
- ▷ 経済人クラブ第202回例会 6月16日(月) 18:00 大阪新阪急ホテル(校友会事務局=06-6368-0041)
- ▷ 司法書士関大会合格祝賀会 7月12日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
- ▷ 博修士会総会 7月26日(土) 14:00 校友・父母会館内校友会会議室(システム理工学部・緒方正則=06-6368-1121)

北から 南から 《各地支部だより》

関関同立・宮崎と交流の輪

地域で交流、さらに学縁も

鹿児島千里会（桐原琢磨会長）の25年度総会が、10月5日、鹿児島市のプラザNで開催された。来賓の田中義昭校友会副会長、前村幸夫宮崎千里会会長、そして交流活動として同志社同窓会中塚洋子会長と小倉正和幹事長、関西学院同窓会徳田穰支部長、立命館大学校友友会川窪宏一事務局長らと校友の23人が参加した。

黙祷、学歌斉唱に続き、桐原会長（53学法）は、挨拶で「宮崎と鹿児島島の交流、そして関関



同立の交流の輪を広げて、母校の発展に寄与を」と訴えた。議事では、事務局から事業・会計報告が行われた。

懇親会に移り、来賓紹介のあと、田中副会長の挨拶、奥田課長の乾杯の発声で開宴した。

今回特記すべきは、遠路参加で奄美大島のぼしゃ山リゾートの椿敏郎校友（53社）、今後女性校友参加の中心的役割に期待の持てる川越美咲校友（平25外国）の参加があった。スピーチの中で、立命館川窪氏は「本日の参加者の間では、地域社会ですでに交流があり、さらに学縁でもあるケースを多く感じさせられた」ということに集約できる今回の集いであった。

翌日、田中副会長と奥田課長は、時任の案内で南さつま市の「万世特攻平和記念館」を慰霊訪問された。横田健一先生の句碑「若鷹は沸き立つ雲指し翔け入り」に感銘しつつ、「よろずよ

に」の碑に献花を行い、名誉館長であった故苗村七郎校友（18大経）の、特攻隊員の慰霊に尽力し、歴史の遺品を後世に伝えたいという業績に触れた。

近年、学徒出陣の記録を歴史遺産として後世に残そうという機運があり、最近、慶応大学の様子が報道されたが、苗村校友の「ペン」を操縦桿に置き換え、戦役に赴いたのごとく、散華された異清造校友（17二専）、そして「学徒出陣最後の早慶戦」の映画にもなった壺井重治早大校友の遺書遺品が展示してある。

25年4月14日に慰霊祭があり、例年のごとく支部では桐原会長他7人が参列献花を行い、この公式慰霊祭における関西大学の存在意義を堅持している。

（時任博幸・昭50歳）
（時任博幸 099-264-7806）

飛び入り含め9人初参加 稲荷支部長ら新体制発足

愛媛支部（小泉勇治郎支部長の総会・新年会が、1月25日に松山市内のいよつ会館に校友会本部・四国3支部から来賓を迎え、総勢50人の校友が集い開催された。

1部の総会は、寺内校友会長の来賓代表挨拶に始まり、続いて2013年の活動報告、収支報告があり、最後に役員改選に



よる小泉支部長の勇退、及び新役員の紹介があった。9年間に渉る小泉支部長の労をねぎらうとともに、稲荷和重新支部長から新体制による抱負を述べ総会を終えた。

本年は、昨年の人気ドラマさながら銀行関係の参加者が多く、飛び入り参加を含む9人の初参加校友の熱の籠もったアピールに会場も大いに湧き、和やかな雰囲気懇親会となった。恒例のビンゴゲームを楽しんだ後、藤岡校友のリードで逍遙歌を全員で合唱し、宮崎新副支部長の挨拶で盛況の内に散会した。

今後若い校友・女性校友がより多く参加できるような組織作りを目指して、愛媛における

関大ネットワークを広げたいと思う。
（稲荷和重）
（藤原敏貴 089-963-1736）

現役員でもう1期続行 初参加者等が自己紹介

25年度の山口千里会（藤井宏紀会長 総会は、12月7日にJR新山口駅前の山口グランドホテルで、本部の田中副会長はじめ福岡、佐賀、北九州及び広島各支部から幹部にご出席いただき、33人の出席のもと開催された。

記念写真を撮り、石井幹事長（43商）の司会で、福井副会長（43法）の開会の辞、元応援団長の岩国支部松本氏（平4院会）のリードで学歌を斉唱した。物語者への黙祷の後、藤井会長（39法）から、9月21日に行われた中国・四国地区の親睦ゴルフ大会が周南カントリー倶楽部



で、福岡、佐賀からの応援も得て無事終了したとの報告があった。

田中副会長の挨拶があり、議事では、事業報告・会計報告の後、役員改選では現体制でのもう1期続行を提案、承認された。なお、会長から次期執行部の若返りを推進するため、平成卒の幹事の登用、各地区の活性化をはかっていきたいとの発言があった。最後に下瀬副会長(45法)の閉会の辞をもって終了した。

懇親会に入り、宇部支部の下瀬副会長の司会で来賓紹介を行い、花田福岡千里会名誉会長の挨拶の後、東郷事務局長の発声で乾杯して会食、懇談へと移った。

食事も一段落した後、初参加者などから自己紹介があり、最後に広島支部の並川支部長による万歳三唱で閉宴となった。

(副会長 北乗吉道) 083-986-2626
(藤井宏紀)

地域活性化の懇親会 大崎上島と、竹原で

備後支部では、大崎上島、竹原市での地区懇親会を9月28日、広島県竹原市のホテル大広苑で開いた。今年度の地域活性化活動の第一歩であった。

備後支部の総会では、校友が多



く住んでいる福山や尾道で開催されることが通例で、遠方からの出席は数える程だ。参加をためらっている校友のためにも役員が出かけて行くという役員会の総意に基づき、地区懇親会は始まった。

大崎上島町長の高田幸典氏(51工)と竹原の渡橋博氏(53工)の協力により、役員を含め19人が参加した。地元の校友66人に案内を発送し、6人が参加してくれた。若い校友の多くは地元から離れ、都会で生活していることも分かった。

初顔合わせの状態が始まった会では、参加者全員の自己紹介に多くの時間を使い、和やかなゆったりとした懇親会になった。大人数の総会とは違った落ち着いた雰囲気、これもまたいいものだと思う。併せて、島嶼部や山間部に在住の校友にも、それぞれ思うところがあって、泊りがけでも支部総会に来ていただ

けるように、役員と校友、校友同士のつながりも作り込んでいく必要があるなど感じた。

来年は、広島県府中市で地区懇親会を開催する計画を進めている。協力をお願いします。

(副代表幹事 加納久徳)
(福山包装・畦崎雅則) 0849-43-1741

高橋・町田選手を支援 ソチ五輪出場募金で

岡山支部(行本章允支部長)新年会を1月18日、岡山市内のホテルで開催した。

今年は「午年」、参加した約70人の校友は馬の如く母校関大と校友会、それに日本が大きく飛躍できることを願って乾杯した。

新年会では豪華賞品が当たる「お楽しみ抽選会」が行われ、当



選番号が発表される度に「当たった、万歳」などの声があちらこちらから聞こえた。また新年会では、ともに倉敷・翠松高校出身で、われらの後輩、高橋大輔・町田樹両選手のソチオリンピック出場支援の募金呼び掛けのところ、5万円余りの寄付金が集まった。

新年会の締めでは、グリークラブ出身の野上明男支部事務局長のリードで声高らかに学歌と逍遙歌を歌い、高橋、町田両選手の活躍を祈念し、7月12日の支部総会での再会を約し、お開きとなった。

(行本章允)
(ユアーズコンサルティング 矢付) 086-250-5592

台北駐日経済文化代表が 極寒の支部新年会に参加

北海道支部(松本陽一支部長)の新年会は、1月23日に札幌



血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。
『お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がりなかつたA1C値...。今回、やっと下げるモノが見つかりました!』と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号
0120(090)3558
ヘルスケア研究所

資料無料送付

えん 燕子 しょう 掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページでも詳しく紹介しています。
ブライダルナカノ 検索

●関西大学卒業生(商87)中野友美子
経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO

幌クラッセホテル(ひだまり庭)で開催され、極寒の中、全道より19人が参加した。

今年のユニークな参加者をご紹介する。台北駐日経済文化代表處札幌分處の陳桎宏處長(平17M社)。氏は、仕事の一環として台湾から北海道への観光客誘致に活躍されているとのこと。2013年度に日本を訪れた1100万人余の外国人の内20%は台湾人だったそうで、大いに自国を自慢されていた。そういうことで、今年は国際色溢れる新年会になった。

最後に、ゴルフ部会長の増井千代一氏(48商)から、今年は関西7大学OBゴルフ対抗戦の当番幹事校になるので何が何でも優勝を目指そう、と力強い宣言があり、終宴となった。

(大坊健二)
(松本陽一) 011-778-6760

活発な同好会活動を報告 初参加者6人が自己紹介

千葉支部(神田万久支部長・45工)新春総会は、2月1日に田中義昭副会長、竹内洋東京センター長並びに東京・神奈川・埼玉の各支部代表を迎えて、総勢46人出席の下、市川グランドホテルで開催された。

第一部総会は、木原國夫校友(31商)のハーモニカ、イントロ



による学歌斉唱で幕が開き、神田支部長から1年間の活動報告に続き、居住区である浦安地域での大震災からの復興も目に見えて進んできたという力強い挨拶があった。続いて、田中副会長、東郷事務局長、竹内センター長から関大並びに校友会の現況報告があった。

司会の喜多良文校友(平6法)から会計報告があり承認された後、ゴルフ同好会の前川義男幹事(40商)から年3回のコンペが盛況に行われていること、写真同好会では江口昌成幹事(39工)から「風景写真と温泉旅行を楽しむ会」として実施したとの報告が自慢の写真を添えてなされた。

第二部は、木原校友によるハーモニカ演奏で学歌斉唱。お待ちかね懇親会では、3度木原校友に「登壇いただき乾杯の発声となるが、木原校友は「最年長

はいつまで経っても最年長、仕方ないかな」と。

初参加者6人の自己紹介があり、最高潮になったところでくじ引きに入った。喜多校友、大平聡子校友(62文)のコンビによる名司会で、会場はますます賑やかになる。

記念写真撮影後、松岡實校友(34文)からエールをいただき、逍遙歌を大熱唱、懇親会はお開きとなった。

と言ってもここで終われるはずもなく2次会、場所は家庭料理店「舞堵(まいど)」(店主、坂本行秀校友、41法)へ繰り出しとなり、ますます親睦を深めながら春近し宵は更けていった。

(広報担当 豊田稔・45工)
(神田万久) 047-354-2091

京都の紅葉と料理満喫 校友と堪能した2日間

千葉支部の同好会「風景写真と温泉を楽しむ会」(江口会長、39工)は、11月25日から1泊2

日の日程で京都の紅葉を写真撮影・観賞する企画を実施した。参加者は、木原(31商)、澤竹(36法)、江口(39工)、八反田(41法)、有本(42法)、神田(45工)、林(46法)の7人。

初日はあいにくの雨。新幹線を降りて、最初に「東福寺」の紅葉をめざす。雨が幸いして、



境内は閑散として紅葉を愛でるにはいい雰囲気であった。紅葉の最盛期で通天橋より見る「もみじ」はこの世のものと思えないくらい、うっとりさせられる。納得いくまで何度も何度もシャッターを切るが、やはり目で見るのが一番。

次の「高台寺」は、もみじのライトラップが美しいことでも有名。寺に着くと雨も小降りとなり、この幻想風景を映像に残したいとシャッターを切るもライトラップの撮影はそう簡単ではない。

今回の楽しみの一つが、夜に京会席膳を楽しむこと。会場は「がんこ高瀬川二条苑」。ライトアップされた庭園を眺めながら京料理に舌鼓を打った。

翌日は雨もあがり快晴。ワンボックスカーで、最初に「地蔵院」へ。観光地から離れていて境内に入ると、早朝でもあり清閑として心が洗われるようであ

った。

次に行った「善峰寺」は樹齢600年の五葉の松(別名遊竜の松、国の天然記念物)があり、横に長く伸びた松は正に龍のようであった。

もっとも期待して行ったのが長岡京にある「光明寺」。参道の両側には真っ赤に彩られたもみじのトンネルになっていて、そこを潜り抜けて歩くわれわれは夢の中にいるようである。

最後に「高山寺」に行き、今回の撮影旅行の締めくくりとする。山の中腹まで行くにあまりの寒さで下山し、山門の前にある湯豆腐の店「樹の茶屋」に駆け込み、「湯豆腐」で温まった。

今回の「風景写真を楽しむ会」は、京都の美しい紅葉を巡り、おいしい酒と料理を満喫し、心行くまで楽しく校友仲間と堪能した2日間であった。

(澤竹正明・36法)

講演「関大校友奮闘す」 初参加10人が自己紹介

2週連続の大雪が融けきらない2月23日、埼玉市民会館うらわで埼玉支部(高木良二支部長)総会および懇親会が開催された。渡邊泰之校友会副会長はじめ、東京、神奈川、千葉の各支部代表にも出席いただき、40人以上の参集となった。

第一部総会は、総会司会の信



友奮闘す」であった。

記念撮影の後、東郷校友会事務局長の発声で乾杯、第2部の懇親会へ。しばしの歓談の後、支部ゴルフ会、熊谷グループ等の支部活動報告、初参加者の紹介と続いた。今回は、初参加者がなんと10人。一人ずつ簡単に自己紹介をお願いしたところ、皆さん大いに語られ、充実した自己紹介タイムとなった。反面、次のショータイムを短縮せざるを得なくなったが、参加者が伸び悩んでいる昨今、ニューフェイスの増加はうれしい限りである。

本良平幹事の開会宣言に続き、元応援団副団長で元支部事務局、現在は関西在住で関西の複数の支部で活躍中の大林康一氏のもとで唱歌斉唱が始まった。

高木支部長の挨拶、来賓の渡邊副会長の祝辞、西郡貢副支部長による会計報告と続き、第1部の締めは、総合同会でもある信本幹事による「ニッポン男子奮闘す」と題した講演会。青春時代、サラリーマン時代、そして早期退職後と波乱万丈な人生を面白おかしく講演いただいた。

なかでも、約30カ国にも上る海外出張、海外駐在、海外ロングステイでの経験談は、渡邊副会長の祝辞でも活発な海外支部活動の報告を聞いたが、まさに「ニッポン男子奮闘す」「関大校

その後、ショータイムでは、バンド演奏、西川慶子副支部長率いるコーラスグループによるライブ等、校友の多才ぶりに会場は大いに盛り上がった。
お楽しみ抽選会では、時間が無くなりじゃんけん大会となったが、初参加の校友が勝ち残り1等の「お米10キロ」をゲット。盛大な拍手を浴びていた。
（幹事 森田啓太郎
（高木良二）048-882-7753）

第4回情報交換会を開催 難解な年金の説明を受ける

東京支部（堺精一支部長）では、1月24日に関西大学東京センターで第4回若手校友情報交換会を開催した。



東京在住・在勤の若手校友のネットワーク作りを目的としたこの会合も、3カ月に1回のペースで開催を続け、今回で4回目となった。今回は、初参加のメンバーも増加し、幅広い年齢層で様々な職業の18人の校友が参加した。校友同士ということもあり、初参加者の自己紹介を終える頃には全員が和やかな雰囲気となっていた。

講師に特定社会保険労務士の宇野尚志氏（平3商）を迎え、若手には難解であるが、消費税率の引上げとも密接に関係する年金の話を取り上げた。

年金がなぜ分りにくいのかを、現役世代が高齢者世代の年金を負担するという、世代間扶養の考え方に立つ社会的な制度であること指摘し、年金の種類や保険料の仕組みなどについても詳しく説明を受けた。



高水三山を縦走登山 下山後は酒造見学も

神奈川支部（重延義樹支部長）山歩きのは、11月23日に第6回「高水三山縦走登山」を開催した。

（常任監事 村田樹二）
（村田樹一）090-4712-7137

厚生年金保険料についてどのような働き方をすると保険料が増減するのか、月々の保険料と将来もらえる年金の額との比較、今後の年金制度の改正予定など、参加者にとって有益な話を聞ける会合となった。

起点となるJR青梅線軍畑駅は、奥多摩の山峡の入口にあり、新宿副都心から電車で1時間15分の距離にある。周囲は奥深い山村の風情で、東京にいる感じがしない。

今回7人の参加者は、高源寺の境内で軽く柔軟体操を済ませた後、急坂の上にある登山口へ向かった。登山口からは急登が続く、皇太子ご夫妻が登山中に立ち寄られ、有名になった古刹「常福院」に着くまでひたすら急斜面と向き合った。

高水山（759m）の山頂は展望が良くないので、次の岩茸石山へ向かう。三山の内の最高峰である岩茸石山（793m）の山頂からは素晴らしい展望が楽しめた。続いて、鎖付きの岩場の急登を越えて惣岳山（756m）に到着。

最後に目指すは沢井駅下にある小澤酒造。多数を占める酒飲み軍団は、気ばかり焦らせるが肝心の足が動かない。5分の遅刻ではあったが無事に下山し、全員酒造見学を果たした。

日本酒は一日二合飲めば、「ガン予防」「動脈硬化防止」「ボケ防止」「骨粗鬆病予防」「蒸留酒より肝臓にやさしい」とのありがたい御託宣をいただき、胸を張って試飲の杯を重ねた。続いて、ままこと屋で和食のコース料理を食べながら、談笑の

輪を広げた。

(代表世話役 小谷正廣・昭47商
(ダイケイ気付) 050-10
63-9660)

法本英明氏が野球談議 若手は先輩と名刺交換

愛知支部(森田敏二三支部
長 忘年会が12月18日、ホテル
サンルートプラザ名古屋で開催
された。

雨にもかかわらず25人が参加。
森田支部長の挨拶の後、塗木桂
子組織委員長(力強い乾杯の音
頭で宴に入り、校友で当ホテル
の総支配人日下部平吉氏(50
社)の特別なほからいで豪華な
料理に舌鼓を打つ中で、若手校
友たちは積極的に諸先輩と名刺
交換、自己PRをしながらお互
いの親睦を深め合った。

法本英明氏(32商、野球解説
者・評論家)の中ドラゴンズ



の野球談議に聞き入った。特に
学生時代から法本氏のファンで
ある瓜生晋氏(36経・名豊興産
代表取締役)の奥様と50年ぶりに
再会し、会場は大いに盛り上が
った。その後カラオケを楽しみ、
市橋正之氏(36商)が十八番の
ディック・ミネ「上海ブルース」
で拍手喝采された。

最後に、甲田幸生氏(平7
法)の音頭で逍遙歌を合唱、千
里山を思い出し声高らかに歌い
上げた。西川正総務委員長(45
経)の一本締め、杉本秋男副支
部長(48M商)の閉会の挨拶後、
来年の再会を誓って散会となっ
た。

今回の初参加者は、大野法律
事務所の弁護士柴田智史氏(平
20法)、大林組名古屋支店永田
真也氏(平12工)、宮本真志氏
(平20法)だった。

(幹事長・原勝也、事務局長・
市橋正之、会計・志水正彦
(知多工業・森田敏二三) 05
62-33-5822)

フラダンスショー楽しむ 雪の影響もなく44人出席

2月16日、第57回南勢支部
(時田耕路支部長) 総会が、伊
勢シティホテルで開催された。

校友会から田中副会長はじめ、
近隣の愛知、北勢、中勢、
名張の各支部来賓と会員あわ
せ、44人の出席で賑わった。

支部の地域連携事業報告

市制施行70周年に協賛 市民公開講座を試みる

貝塚支部(岡本俊彦支部
長)は11月24日、貝塚市制施
行70周年に自主的に協賛し、
25年度総会を彩る記念の市民
公開講座などを開催した。

これに先立ち、会場ロビー
に藤原貝塚市長が来訪くだ
さり、三木校友会副会長をは
じめ出席校友と親しく歓談さ
れ、また総会の冒頭には懇ろ
な祝辞を頂戴する一幕があ
った。自主的に行った市民公
開講座を、市長が認知してく
ださったものと思っている。

総会では、現役員を引き続
き頑張れと承認した。
目玉の記念講演は、大阪商
業大学商業史博物館主席学芸
員明尾圭造さん(平1M文)



川区民まつりに参加し地域の
皆さんと交流を深めた。

昨年を大幅に上回る2万5
千人の区民が集まり、関大の
幟で囲った当支部のテントも
人が絶えることなく、沢支部
長作製の西淀川八神社の社殿
と鳥居の展示物を多くの方に
見てもらうことができた。ま
た、災害に対する啓発活動の
一環として河田教授著書の防
災関連の本を展示し、先着20
人の方に配布した。

後半は中田先輩(35法)手作
りのぶんぶん駒を美演しながら
子供たちに自作してもらい、
上手くできたりできなかったり
だったが、子どもたちも楽しん
だようで多くの笑顔を見るこ
とができた。

校友の岩見星光府議、澤田



文化の伝承を願い 区民まつりに出展

西淀川支部(沢勲支部長)
は、9月22日の真夏日、西淀

念願の湖南地域交流会 全員が熱き思いを語る

滋賀支部（今井清支部長）では、念願の湖南地域（草津市、栗東市、守山市、野洲市在住会員）交流会を、11月30日にレイ

（時田耕路）0598-26-7209
（幹事長 松井信幸）

昨秋の伊勢神宮、遷宮の人氣で交通規制が現在も敷かれているが、2日前の大雪の影響もなく、無事に開催された。
今年は、地元のフラダンスグループによるアトラクションが、出席者を楽しませてくれたが、最近、各支部でフラダンスが披露されているようでブームになっている。今年は、少し会場が狭くて、皆さまには迷惑をかけたが、毎年恒例のビンゴゲーム、逍遙歌で一年ぶりの校友との再会が開きになった。



アホテル草津で18人出席のもと開催した。

地域交流会は、滋賀支部校友間の交流をより密にするため4年前から始まり、本年は彦根地域に続いて初めて湖南地域で開催された。

出席者の中に、初めて校友会行事に参加された方が2人おり、地域交流会の意義が見いだされた。交流会は、幹事役の田中義信氏（58法）の司会で始まり、学歌を3番まで斉唱し、中尾恭夫大先輩（29商）の発声で乾杯の後、全員の自己紹介となった。

各自、関大在学中の生活、クラブ活動の思い出、母校に対する熱い思い等、自己紹介の枠を超え、スピーチ、演説の様相を呈してきた。一人の話が終わるごとに尾中治副支部長（34経）



宜範、木本敏行両元西淀川区長が立ち寄られ談笑し、初めてお会いする校友、「孫が関大に行ってる」おじいちゃんおばあちゃん、本当にたぐさんの出合いがあり有意義な一日であった。（幹事長 西山正明（西山正明）06-6474-8587）

第4回葦水寄席が盛会 地元商業者や市民90人

2月11日午後1時半から宝塚商工会議所会議室で、宝塚支部（門田安正支部長）主催「第4回葦水寄席（いすいよせ）」が開催され、岡山からの参加者を含む90人近くが、落

語を楽しんだ。

近隣支部の校友のほか、地元商業者、宝塚市民等の参加者があり、残念ながら公務のため参加はされなかったが、宝塚市長から祝電を頂戴した。

出演者は、関西大学文化会落語大学OB4人。全日本社会人落語選手権大会の優勝者も含まれているだけあって、会場は終始爆笑の渦だった。

その後、懇親会があり出演者と交流を図った。門田支部長から、「次回はもっと大きな会場ですらに盛会にしたい」と力強い言葉をいただき、お開きとなった。

今後も落語を通じ、校友と



市民が連携をしていく素晴らしい寄席をしていきたいと思います。（副支部長 三坂友章（塚本壽一）0797-85-1491）

による補足の紹介があった。その間、バックには、関大の学歌、応援歌、学生歌が途切れる間もなく流れ、ムードも最高潮となり、あちこちで歓談の輪が広がった。

逍遙歌を高らかに歌い上げ、名残り惜しく、次回の再会を約して閉会となった。

（広報部会 奥村晴男（佃司法書士事務所）077-522-2961）

嵐山渡月亭に校友37人 出席者に50年の年齢差

京都支部（牧村史朗支部長）

第21回洛西ブロック懇親会が、例年どおり12月7日の第一土曜日に嵐山の「渡月亭」で、校友37人の出席で開催された。



9月の18号台風で災害のあった嵐山での開催だったが、見事に復興され、その時の様子を、オーナーである校友の古川先輩が写真や新聞記事を交え、あの時のテレビニュース画面で観た以上の恐怖の有様を話された。

牧村支部長も病気を完全治癒され、今まで以上に元気よく（関大風に）挨拶をされ、安心した。

また、弁護士で前校友会副会長の小寺一矢氏は、「法律学校から開校した我が大学は近年、司法試験合格者数が年々減少

し、他大学に差を開けられている」ことを危惧され、熱く語られた。

懇親会では、美味しい京都風山会席料理とお酒を堪能。出席者の卒業年度も昭和28年から平成20年までの約50年間の年齢の差を感じず、会話が進み、和やかな雰囲気です。2時間半は一瞬のうちに終わり、一同の楽しい記念写真の後閉会した。

私は帰り道、久しぶりに近くの「虚空蔵法輪寺」に上り、嵐山の渡月橋の全景を観て、今日の懇親会を思い起こし、また新たな「やる気」が漲った。

(山田義明・昭44
(壽見芳正 0774-24-8008)

秀吉没後のねねを偲ぶ 次回は大将軍八神社

錦秋の11月24日、京都支部「歴史街道を歩く会」は、東山



の圓徳院と高台寺を散策した。

圓徳院は、豊臣秀吉の没後にその妻・北の政所ねねが、58歳の時にここ東山に移り住み、19年間余生を送った処である。今ねねと同じ年齢になった私としては老後のことを考えると羨ましい限り！

伏見城の前庭を移した北庭に全員が座り、ねねの終焉の地を偲び、隣の掌美術館へ。小さいがゆえに親しみと共感を味わい、桃山時代の数々の美術品を鑑賞した。

いよいよ秋も本番の高台寺を拝観。「うわあ。きれいな！」艶やかな錦繡に彩られた境内に皆歓声をあげた。高台寺は秀吉没後にその菩提を弔う為、北の政所(ねね)が開創した寺である。開山堂の天井・小堀遠州作の庭園・華麗な蒔絵が施された霊屋・茶席の遺芳庵・傘亭・時雨亭では千利休の「わび・さび」に胸うたれた。その後霊山観音で合掌を済ませ、ホテルりようぜんで懇親会となった。昼のご馳走膳では古都の美味を充分楽しみ校友同志の「人の和」を大切にして交流が図られた。

俳句 芭蕉

色付くや 豆腐に落ちて
うす紅葉

「また会いましょう！」と再会を願い、関大の絆を感じる幸せな秋の一日を過ごした。

次回は平安京建設時、玉城鎮護のため都の方除け守護として造営された大将軍八神社を予定している。皆さんのご参加をお待ちしています。

(茶谷幸代・52文)

総会総括の役員会で 杉岡前支部長を追悼

11月23日、生駒支部(藤俊弘支部長)では、25年第4回役員会を生駒駅前のレストランで開催した。

冒頭、11月1日に急逝された前支部長杉岡昌彦氏のご冥福を祈り、出席役員全員で黙祷を行った。病魔と闘っておられたと後に聞いたものの、10月初旬には元気な声を聞いていただけに突然の訃報に驚いたのは私だけではなかった。



役員会では、10月19日に開催した支部総会の総括として、総会の進行や会場の設営等について反省点や改善事項が熱心に話し合われた。より良い支部総会をめざして課題を共有することにも次回に反映させることで一致した。

その後、恒例の忘年会に移行し、故杉岡前支部長の思い出話や、今後の支部運営の進め方、新たな支部事業の提案など話が弾み、新年が校友や生駒支部にとって良き年となるよう祈念して散会した。(支部長 藤俊弘 (藤俊弘 0743-79-5157)

最高の1110人集合！ 平成卒50人女性20人

芦屋支部(直林法廣支部長)は2月1日、ホテル竹園で25年



度総会を開催した。本部から北嶋弘一副会長をはじめ近隣支部代表など11人を来賓に迎え、ゲスト参加の応援団現役学生及び入学内定者を加えて総勢110人、支部史上最大規模の総会となった。

支部長からは、これまでの芦屋支部発展に寄与された諸先輩に対する謝意が述べられるとともに、これからは体育会系クラブの活動応援のみならず中国人留学生の支援など、グローバルな文化交流を図っていく方向性が示された。

懇親会では、30年ぶりに復活した吟詩部による吟詠と演舞でセンターシヨナルなスタートを切り、恒例の応援団演舞、お楽しみ福引大会へと、若手校友のリードでテンポ良く進み、例年にも増して活動的なものとなった。人員規模だけではなく、平成卒50人、女性20人以上が参加し、豊かな個性の集まる総会となり、今後の発展が更に期待される。

また、ソチ五輪のフィギュアスケート男子日本代表の高橋大輔選手及び町田樹選手への応援募金として、芦屋支部より6万2266円を集め、校友会本部へ渡し、ふたりの活躍を祈って団結を強めた。(坂本匡弘・60迄 (依藤健史 0797-23-7004)

より広い校友の交流を 新年ランチ会で検討

1月18日、第8回芦屋支部女子会を開催した。今回は7人のメンバーが、芦屋市公光町のイタリアン「ラ フォーリア」に集まった。

大きな窓から緑が見え、明るい陽光が降り注ぐ店内。いろいろ鮮やかな前菜をはじめとする目にも美味しいお料理と楽しい会話で、終始華やかなムードでの新年会ランチ。盛り上がる会話の内容も、いつしか今回のメインテーマである2014年の芦屋支部女子会の活動に関する話になった。

「支部の活性化に努め、女性校友間の親睦を深める」という会の目的の原点を改めて見つめ、女子会の継続開催にプラス、今年はより広く、校友間の交流が図られるような会合を女子会主催で開催できるかを検討



していこうと話し合った。

今年も芦屋支部女子会は、会員同士の交流を通じて、お互いが成長していける、知的で、エレガントで、楽しく、美しい場を築いてまいりたいと思う。

（岡島美佳・63学齢）

駿馬のように駆巡る年に 昭20〜平20年代が交流

神戸支部（齋藤富雄支部長の新年互礼会が、1月18日に神戸東急インで開催され、100人近い会員が出席した。

中村真由美幹事（平2文）と古屋敷博文常任幹事（平11総合）の司会で定刻に開会。松田陽三副支部長（38経）が開会のことを述べ、続いて学歌を斉唱。挨拶に立った齋藤支部長は、「昨年は昇り龍。神戸支部では総会を新たに生田神社で開催、校友である矢田神戸市長が退任された。今年は母校よりソチ五輪出場、神戸支部役員改選、元気に一年駆け巡る年になりますように」と述べた。



織戸新副支部長（49法・神戸新聞社代表取締役専務）写真

の乾杯の発声で開宴。「懇親が最大のアトラクション」をテーマに、昭和20年代から平成20年代の校友はテーブルを超えて交流を深めた。初参加者紹介、淡路島から駆けつけた門康彦神戸支部参与（43文・淡路市長）、現神戸支部設立をリードした最高齢参加の上田保雄顧問（20専）、矢田立郎参与（46法・前神戸市長）と挨拶が続いた。

歓談尽きない中、大拍手で迎えられた前田由利副幹事長（61工）が「関大神戸、みなさんが良き年」と閉会のことを述べたあと、逍遙歌を合唱し、新年互礼会の幕を閉じた。

26年度は、4月16日（水）親睦ゴルフ大会、6月20日（金）総会、平成27年1月24日（土）新年互礼会を予定。詳細は神戸支部ホームページおよびフェイスブックで「関西大学校友会 神戸支部」で検索お願いします。

（幹事長 谷口欣久・61工）
（神戸支部メール＝kandaikobe@gmail.com FAX＝078-453-2171）

年明けの新年会的総会 恒例の「牡丹鍋」囲む

25年度猪名川支部（大西経二支部長）総会は、1月18日に町内の料理旅館「まんか」で開



催され、本部の三木副会長はじめ、近隣支部の代表など来賓14人と支部会員13人が参加した。

猪名川支部総会の時期は、12月上旬の実施が恒例化し、一年の締めくくりの「忘年会」といった様相を呈していたが、本年は、1月18日の新年会的総会として実施した。

総会終了後の会食は、恒例となっている「牡丹鍋」。和気あいあいの雰囲気の中、参加者の自己紹介に始まり、ビンゴゲームの賞品獲得競争など極めて楽しいひと時となった。ビンゴゲームの景品は、花や野菜など、猪名川町の特性を生かしたものとさせていた。

猪名川支部は、規模的には大きくはないものの、今後、団塊世代のリタイアといった社会状況のもと、こうした校友のひとつの受け皿的役割を担うことが出来ればと思っている。

（幹事長 南隆志）
（南隆志＝072-768-0853）

秋のウォーキング大会 21人で地元一庫ダムへ

川西支部（井上能一支部長）歩こう会（会員69人）の秋のウォーキング大会が11月9日、爽やかな秋空のなか行われた。今回は地元・一庫ダムと周辺の知明湖の散策である。

参加者21人は、能勢電鉄「光風台駅」に参集し、一庫ダムに向けて出発した。歩いた距離は約7km・3時間のウォーキングであった。途中、光風台団地を歩いたが、山肌を削って出来た住宅街だけあって能勢の山並みが美しく、所どころ紅葉の木々が映えていた。

1時間半ほどで一庫ダムに着。近郊型のダムとしては日本有数のもので、「日本のダム10



0選」の1つでもある。貯水量3300万立方メートルを誇り、川西・猪名川・宝塚・池田・尼崎などに給水し、田畑もうるおす多目的ダムである。

軽い汗をかいたところで、近くの公園で休憩・昼食。ダムからの水流の音を聞きながら弁当を広げるのもまた格別であった。

お腹もふくれたところで午後コースに出発。向かったのが川西市郷土館。ここは、かつて猪名川町の多田銀銅鉱山の採掘で財をなした平安家が興した製錬所跡に建てられた所である。係員の説明では、鉱山は奈良時代に発掘され、奈良大仏の建造にも寄与した、とのことであった。

館を後にした一行は、帰路「山下駅」に向かい、駅では今日一日の無事故をたたえ、またの再会を約束しあい、家路に向かった。(白井宏・45文)

(荒木敏雄 072-758-1787)

寒風の中39人が参加 5同好会合同の納会

川西支部は、12月14日に料亭「音羽多田別館」で、39人が参加し納会を行った。

寒風の中、関大オールドボーイ・ガールは、息を弾ませ会場に集まった。川西支部にはゴルフ愛好会など5つの同好会があ



り、夏の「夕涼み会」をあわせ各同好会の輪番で幹事役を受け持っている。今回は「歩こえど」が担当した。

井上支部長から、川西支部の永年の会員相互間の親睦及び母校への発展に寄与した功績に対し、他支部・他組織とともに校友会本部から感謝状の授与を受けた旨の報告があり、会場は大きな拍手に包まれた。

水口博喜名誉支部長の乾杯で、待望の宴会に入った。酔いに身を任せる中、会場はあちこちで談笑が飛び交った。宴もたけなわの頃、サプライズの「年忘れくじ引き抽選会」が始まり、特等賞には水谷進治氏が当選。地元・能勢温泉での食事付き人浴券が贈呈され、氏は大喜び。会場はやんや、の大喝采だった。5同好会による年間報告・明年の行事予定などの披露があ

り、夏の「夕涼み会」は史跡探訪の会が幹事役とのこと、同会の土井照夫氏から発表があった。

閉会あいさつの後、またの再会を約束しあい、参加者は背を丸め家路に向かった。

(白井宏・45文)

第1回綱取り杯を開催 「3ない」の健康麻雀

7月、宝塚支部(門田安正支部長)において、健康マージャン同好会(会長・麻野精二)が「賭けない・飲まない・吸わない」の「3ない」をスローガンにかかげ、支部会員の親睦を深めることを目的として発足した。(月1回開催)

12月8日に、「第1回健康マージャン綱取り杯」が開催され、福永直人氏(昭49卒)が初代横綱に、大関・三坂友章、小結・中多武志氏となった。

健康マージャンのいいところ



は、老若男女みんなで楽しく「脳トレ」ができるところにある。現在会員数は17人、参加費は必要ですが、皆様の参加をお待ちしております。

(副支部長 三坂友章
塚本寿一 0797-85-1491)

U-40主催のBBQ 山田副幹事長邸で開催

11月24日、尼崎市内の山田実副幹事長邸に15人が集い、尼崎支部(大角教雄支部長)青年部会主催のバーベキューが開催された。

今年も市役所秀麗会から4人、さらに友人等を招き、当支部との交流を図った。私自身の楽しみでもあるが、このバーベキューの醍醐味は何と言っても、共に準備し、食事をし、語り合う中で、新しい発見ではない



だろうか。それぞれ立場や世代は異なるもの同士だが、意見交換し、悩みを共有し、互いの誓いの場となった。

場所を提供して頂いた山田副幹事長並びに奥様、誠に有難うございました。

結びに、作家のツヴァイクの言葉を締めくくりに変えさせていただく。「責任は常に人間を高めて偉大にする」

(青年部会サブリーダー 森永憲治
田中正喜 06-6499-1948)

伊丹「冬の元気まつり」 150人がブース訪問

2月9日、NPO法人いたみタウンセンター主催による「第12回わっしょい!冬の元気まつり」が開催され、多くの市民参加のもと、盛大なうちに終始した。

伊丹支部(加藤拓支部長)も、ブースを確保し、ブースの前には「関西大学校友会伊丹支



平成24年度 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者 占有率 No.1

37都道府県での開講にもかかわらず
**全国の合格者の半数以上が
 当学院現役受講生!**

全国合格者合計 4,276名中、
 当学院現役受講生 2,211名

他講習
 利用者
 当学院
 現役
 受講生

51.7%

平成24年度
 1級建築士合格者

卒業
 合格者 **48名中、28名が**
 当学院の講座を利用して合格されました!

当学院
 利用率 **58.3%**

※卒業学校別合格者数は、試験元である(財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。 < 平成24年12月20日現在 >

平成24年度 2級建築士 設計製図試験

新試験となった2級建築士設計製図試験において、
 当学院の「分析力」「対応力」を含めた講習システムの良さが
 実績として証明されました!!

当学院現役受講生
 合格者数 **2,116名**

< 平成24年12月12日現在 >

平成24年度 1級建築施工管理技術検定

学科
 試験 当学院基準達成
 現役受講生 合格率

実地
 試験 当学院現役受講生
 合格者数

97.7% **956名**

8割出席・8割宿題提出現役受講生
 266名中、合格者250名
 < 平成24年7月20日現在 >

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の
 役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記各校まで!

1級・2級 建築士 **宅建** **1級・2級 建築施工管理技士**

1級 土木施工管理技士 **インテリアコーディネーター**

株式会社 総合資格

(社)日本経済団体連合会 監理技術者講習実施機関 登録番号7
 (社)日本建築学会 宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
 (社)全国産業人能力開発団体連合会 宅建登録実務講習実施機関 登録番号(3)第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
 一般建築士定期講習 登録番号 第5号 管理建築士講習 登録番号 第2号
 経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111 神戸校 TEL.078-241-1711
 新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411
 京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011
 なんば校 TEL.06-6648-5511 草津校 TEL.077-566-6911
 堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
 パーコードリーダー
 対応機種に限りです。

www.shikaku.co.jp

学院長 岸 隆司 (法48卒)

部」の紫紺の幟旗を立て、大いに大学をアピールした。今年は支部会員の開拓を目標に、オープン関大伊丹支部をコンセプトに、校友等関係者の皆様方に気軽にブリス内を覗いてもらった。支部会員が持ち寄った各種の般若湯をホスト役の支部会員等と酌み交わしながら、在学当時の思い出話に華を咲かせた。

また、現役生から今の大学生活の様子を聞いた。そして伊丹支部の事業などをPRする「ウエルカム関大」と銘打って取り組みを行った。

機関紙「関大」、機関紙「関大いたみ」を手に、行き交う人々に関大ブリスへの来訪の声掛けをしたところ、10時から15時までの間に、約150人の方々がこれに応え、参加をしていただ、という盛況ぶりだった。

このイベントを通し、関大の卒業生をはじめ関係者の方々が

いかに多いか実感した。なお、会場で頂戴したカンパについては、伊丹支部会計と合わせ「オリンピック出場支援募金」に納付させて頂いた。

(広報部長 古屋敷達志
 (ヒラク気付) 072-785-5507)

**三日市から河内長野歩く
 蔵主の案内で酒蔵も見学**

河内近隣支部新年互礼会が、今年は趣向を凝らして1月25日に開催された。

一つは、高野街道の名所旧跡散策から天野酒酒蔵見学。三日市宿から上田宿を経て長野・西條合資会社(天野酒醸造元)の酒蔵まで歩くコースに、河内近隣支部から17人が参加した。

参加者全員で記念写真を撮り出発。最初に再開発で一変した街と高野街道の景観の一郭を担う八木邸母屋(校友宅で元蔵



元、松川邸(校友宅、元副本陣旅館鍋屋、天誅組も脚を留めた宿場本陣油屋跡(亡支部校友、明治・大正時代の治安を担った木造建て交番(市指定文化財)の歴史を峯校友から聞く。松屋坂を上り上田宿の増福寺境内の高札板の説明を支部の太田校友から受け、戦国時代の土塁や空堀の残る烏帽子形城址、同八幡神社本殿(人母屋松皮葺、重要文化財)に参拝。一

路東・西高野街道の合流付近に所在する酒蔵へ向かった。

二つ目は、酒造見学から合流。西條酒造は、河内長野駅から徒歩5分で、支部校友の西條陽三蔵主が営む造り酒屋。蔵治の常夜灯と杉玉が昔の高野街道としての歴史的景観を残している。酒蔵旧店舗の母屋と土蔵は、平成16年国の登録文化財に指定された。酒蔵見学には47人が参加。蔵主の西條氏に案内して頂き、酒造りの工程を自家精米から出荷まで詳細に説明を受けた。約40分の見学会だった。

最後の懇親会は、河内長野市文化会館・ラブリールホールで開催された。「ドローン」一瞬にして会場が静まり綴帳が上がっていく。10数人の若者が大太鼓・小太鼓のぼちを鮮やかに捌く。府立河内高校の和太鼓部のオーピングだ。幹事支部を代表して榎本河内長野支部長が歓迎の

言葉。続いて各支部の紹介。代表して中尾達夫八尾支部長から挨拶を頂き、前年・今年・次年度の幹事支部の代表者が関大の法被を着て「ヨイショ」と鏡割りで「カンパイ」。

宴では談笑、互礼交歓と時の流れが早い。利き酒大会が始まり会場と舞台が一体となってお酒の鑑定・品評。

そして宴もたけなわの中、橋本支部の植島義信校友の「イヨイウ」の気合で逍遙歌を合唱。幹事の梶谷健二藤井寺前支部長の言葉で幕を閉じ、天野酒の酒粕と河内長野支部が栽培したみかんをお土産に閉会した。

(湯川勝・上田耕造・木下幸勇

**団体優勝は東大阪支部
 河内地区ボウリング大会**

11月24日、河内各支部の絆を深めるボウリング大会が、近鉄



八尾駅前「ボウル123」で開催された。今回も各支部の先輩校友のお元気で澁刺としたプレーが印象的であった。

当日は八尾・東大阪・柏原・藤井寺・松原・平野の6支部から31人の精鋭が参加した。ホスト役の八尾支部・中尾達夫支部長の挨拶、始球式の後、記念撮影を行い、会場スタッフの合図により一斉に熱闘の火蓋が切られた。

3Fのフロア10レーンを貸し切りで利用し、いざプレーが始まると支部単位のチームごとに和気あいあいと歓声を上げ、隣のチームとも歓談しながらプレーを楽しんだ。

試合終了後、西武百貨店のバスケトリウムに場所を移し、成績発表があった。団体の部優勝は東大阪支部で、豪華優勝トロフィーが岩崎英夫支部長に手渡された。準優勝は八尾支部、第3位は平野支部という結果となった。個人の部優勝は、東大

阪支部の松葉健一氏、準優勝は八尾支部の石部勝氏、第3位は平野支部の宮崎文雄氏という結果であった。

引き続き、東大阪支部の鎌田益廣氏発声で乾杯の後、懇親会となった。中華料理に舌鼓を打って、戦いすんで和やかな懇親会となった。

八尾支部長 中尾達夫
(中尾達夫 072-998-3526)

役員諮問会と忘年会 伝統踏まえ更に漸進を

八尾支部(中尾達夫支部長)は12月7日、市内で拡大役員諮問会と同時に忘年会を開催した。当日は、第3代水野富藏、第5代横山享史、第6代青砥申生の歴代支部長の参加を仰いだ。

垣内晋祐副支部長の挨拶の後、中尾支部長から、6月の総



会後の経過報告と今後の予定などが諮問会の案件として上程された。

①広報関係では、機関紙「関大」への投稿のほか、新たな試みとして支部臨時会報を発行していること、②財務と組織関係では、支部財政の健全化を図るため、会費納入の促進に努力していること、③事業関係では、ぶどう狩りが台風18号のため中止したこと、ボウリング大会では3連覇ならず、準優勝となったことなどを報告。

歴代支部長からは、河内地区近隣支部との交流状況について、今後とも友好親善のネットワークの構築を図り、八尾支部の伝統を堅持し、更なる漸進をするように、との諮問を受けた。

長野副支部長の乾杯の音頭で忘年会へと移行。会席では飲み放題で出席校友の異業種間の会話や、趣味の話など会話も弾み、拡大役員諮問会とは雰囲気も変わり、和やかであった。最後は、水野名誉支部長のお元気で高らかな発声により、万歳を三唱して散会した。

(支部長 中尾達夫
(中尾達夫=jn3wdy@kjp.co.netne.jp)

竹内街道と古墳群訪問 第7回歴史散歩の会

富田林支部(杉多弘至支部



長 歴史散歩の会では、11月2日に第7回歴史散歩の会を実施し、会員家族を含め21人が参加した。

講師は、今回も鍋島隆宏氏(平5文・太子町文化財保護課勤務・学芸員)に依頼。自作の貴重な資料により、それぞれの古墳の形体、特色、時代背景等について分かりやすく丁寧な解説していただいた。

コースは、古市駅から竹内街道沿いに西琳寺、安閑天皇(27代)陵・日本武尊白鳥陵・清寧天皇(22代)陵・仁賢天皇(24代)陵・峰ヶ塚古墳をたどる、約5kmの行程となった。

今年は、竹内街道開設1400年の記念の年であり、また百舌鳥・古市古墳群が早く世界遺産に登録されることを祈念してこのコースを組んだものである。

安閑天皇陵・仁賢天皇陵は、いずれも大型の前方後円墳であり、考古学としての説明だけでなく「古事記・日本書紀」の

神話にも触れての説明であった。特に仁賢天皇と、その弟の顕宗天皇(23代)の間における皇位の継承の話も、興味深いものであった。

また参加者からの鋭い質問もあり、それに対して講師から丁寧な説明があった。

(幹事長 秦純二
(野島努 0721-23-3190)

奥琵琶湖散策に30人 さらさら温泉で疲れ癒す

守口支部(平井治支部長)バスツアーは第30回を迎え、11月30日実施の今回は奥琵琶湖(湖東三山)の散策で30人の参加者があった。

八日市インターを降り、最初に訪れたのは、湖東三山の西明寺だった。本堂に行く参道は、冬日向を受けた紅葉・黄葉の鮮やかさが印象に残り、また苔の青さともマッチして素晴らしい



雰囲気のあるお寺だった。また樹齢250年の不断桜も少し咲き、何か得をした感じだった。

本堂では、10年に1度の秘仏・玄武刀八毘沙門天三尊像を拝観する事ができた。この仏は、勝運の神様で8本の刀を持っているのが特徴である。

昼食後、奥琵琶湖パークウェイのつづら展望台より湖をはさみ、冠雪の伊吹山を鮮明に見ることができた。紅葉に囲まれ記念の集合写真を取り、各自高台よりの景色を眺め楽しんだ。

楽しみの風呂は、マキノスキー場の麓、さらさ温泉で疲れを癒した後、メタセコイヤの並木路を通り、道の駅藤木の里あどがわで買い物をし、帰路についた。帰りの車中では好例のビンゴゲームを楽しみ、無事守口に到着した。
(城流造)

新年会に91歳菊池氏など 会頭就任の平井氏が挨拶

守口支部は、1月29日に市内の料亭・柿右衛門で新年会を開催。参加者は31人で、91歳の菊池清名誉支部長もお元気に出席され、西田一郎門真支部長も顔を見せにいたいた。

昨秋、守口門真商工会議所会頭に就任された平井支部長が、アベノミクスによる市内の



経済情勢の話しや関大校友会の新年互礼会に出席した際の印象などを交えて挨拶された。

乾杯の音頭は、元守口市議会議員の市橋教昭校友にお願いし、全員が起立して高らかに乾杯。その後、お店自慢のフグづくしの料理に舌鼓を打った。

宴の途中で、市会議員の澤井良一校友と服部浩之校友に對して、司会者から最近の守口市政の動きについて話しをしてほしいと要請があり、市庁舎や学校統廃合の動きなど市民が関心のある問題について2人から簡潔にわかりやすい報告をいただいた。

最後は、逍遙歌を声高らかに歌い、万歳を三唱。杉本國雄副支部長の閉会の挨拶で楽しいひとときの幕を閉じた。

(副支部長 山本護)

紀州へ合同バスツアー 北河内地区連合会企画

1月26日に、第1回北河内地区連合会合同バスツアーが開催された。北河内7支部のうち今回は四條畷、寝屋川、枚方の3支部から21人が参加し、とても有意義で楽しい1日となった。

まず、一行が向かったのは「稲むらの火の館」で、ここでは安政時代に津波から多くの人の命を救い、震災後に巨額の私財を投げ打って故郷の復興を成し遂げた漬口梧陵さんの生き様に触れ、深く心を打たれた。

太刀魚尽くしの豪華な昼食を頂いた後、醤油発祥の地と言われている湯浅町にある由緒正しい「角長醤油」で、手作り醤油の貴重な資料を拝しながら丁寧なお話を伺った。次に古い銭湯の「甚風呂」を見学し、黒潮市場で目一杯買い物を楽しんで、帰宅の途についた。



帰りのバスの中では、各支部の交流が深まる機会もあり、また、どここの場所も校友会のツアーでしか体験できなかったであろう内容で満ちていて、有意義な一日を過ごすことができた。

(枚方支部副幹事長 林裕介)

明石へ恒例のバスツアー 海峡大橋と天文科学館へ

四條畷支部(櫻井孝雄支部長)では、11月24日に恒例の秋のバスツアーを開催した。市の行事と重なり20人と少ない参加者だった。

目的地的明石海峡大橋・舞子海上プロムナードへは、10時過ぎに到着し、まずは記念撮影。その後、舞子プロムナードへ入館し個人行動での見学となった。8階から明石海峡大橋の明石側の橋脚に接続しており、海面から45mの高さの位置に淡路島に向かって一部ガラスの通路があり壮大な眺めである。

そのガラスの通路の上に置かれた丸太橋は、まるで45mの高さに掛けられたようの中々の迫力であった。科学館など館内を散策して食事処へと向かう。

今や名所となった、「魚の棚商店街」は、海の幸の宝庫である。この商店街西端にある「お食事処」で待望の昼食。乾杯もそこそこに、名物の蛸料理に舌鼓を打ちながら特に生蛸のお刺



身に驚きを感じながら大いに盛り上がった。

食後は、魚の棚商店街をブラブラ散策。土産を買ったり明石焼を食べたりと時間を忘れそう。次の目的地、明石天文科学館では約50分のプラネタリウムを何十年振りに体験。流れ星と彗星の違いや2013年11月29日アイソン彗星が太陽の至近距離を過ぎる等の話をほぼ半数の人は、かすかな「いびき」の中で聞いていたようだ。

帰路は、高速道路が事故も重なり渋滞、関大120年ビデオを見ながら予定より1時間遅れて四條畷帰着となった。

(副支部長 三木宏
櫻井孝雄 072-876-0836)

紅葉ハイキングと みのお山荘で懇親会

豊中支部(上村学支部長)では、11月30日、同伴2人を含む11人で、箕面市の観光ボランティア



イア4人の案内で、箕面の滝まで晩秋の紅葉を楽しんだ。幸い天候は快晴で、ガイドの方から今シーズン最高の紅葉狩りと言われ、各人のテンションは大いに盛り上がった。

箕面は、近くても余り行く機会がなかった方が多く、新しい発見が色々あった。紅葉の天ぷらは箕面の名物だが、紅葉は広島産もみじ（一行寺楓）を使っているとの事、また一の橋の石柱が4本あったが現在3本のみ残り、滝道に各々移されている等の説明を受けた。

滝からの帰り道は、往きの対岸の地獄谷コースで、それは遊歩道とはほど遠く厳しいコースだった。

12時頃箕面駅に戻り、懇親会場である「みのお山荘・風の杜」へ向かった。昼食をほぼ終えかけた頃、初参加の松本氏が週刊ダイヤモンド（10月12日付）の記事を配布された。その内容は、関関同立の記事の中で、関大の記事が殆どなく評価が低いと指摘さ



れ、愛校心の強い参加者から種々厳しい意見が飛び出した。入湯する時間も忘れ再会を期して山荘を後にした。みのお山荘の経営者石田嗣人氏は昭和60年関大卒の箕面支部の校友。大変お世話になりました。

（副支部長 遠藤昭
（横島正秀 06-6331-2275）

**本年も事業の充実誓う
木本茨木市長など参加**

茨木支部（別處）一支部長の新春懇親会が、1月30日に市内の割烹・片桐で開かれ、支部顧問の木本保平茨木市長はじめ、楚和敏幸副市長、近江巳記夫元科学技術庁長官、さらに坂口康博・小林美智子・安孫子浩子の3人の市会議員、池田敏雄名誉教授ら総勢35人の参加で盛り上がった。

別處支部長の新年挨拶、木本市長の祝辞の後、近江氏の発声で、母校の発展と茨木支部の飛

躍を誓って乾杯。片桐名物の高級但馬牛のすき焼きに舌鼓を打ち、久しぶりに会った校友は座卓を囲んでうちとけ、互いにビールを酌み交わし、先輩・後輩の垣根を越えて大いに賑やかな歓談となった。

宴も盛り上がったところで、豪華景品が全員に当たる抽選会。最高級但馬牛が当たった3人は、今年の良運をすべて使っ

160余人が学歌と逍遙歌大合唱 関大に在籍していたよかったなあ

2月18日、ホテルニューオータニで26年大阪市内支部連合会（田中義信会長）総会が、160余人の出席で開かれた。

第1部総会は、仁井ひろみ監事の司会で開会。関大スピリットを中心にした連合会の歩みが、田中会長から熱く語られた。チアガール・クレアーズと応援団OBのリードによる学歌の大合唱で、全員の心が一気に奮い立った。

報告の議事は全て承認された。

楠見晴重学長は、連合会への期待の大きいことを熱弁され、ソチ五輪出場の高橋大輔・町田樹両選手の健闘を高く称えられ、会場からも賛同の熱い拍手が沸き起こった。

第2部講演会は、大学院会計

と他の参加者から羨ましがられ、満面の笑みでいっぱいであった。

最後に、辻口信良氏の見事な口上と演舞のもと逍遙歌を合唱し、支部の発展と事業の充実を参加者一同誓い、閉会となった。

（幹事長 小西盛人
（別處）072-634-6613



内近隣12支部連合が活発に活動していることを語られた。

寺内俊太郎校友会長は、まず、この大阪市内支部連合会が、辻佐一郎初代会長の情熱から生まれたことを高く熱賛された。ソチ五輪の現地で2選手を直接応援してきたこと、彼らがいつも関西大学を意識して応援してくれていた姿勢を熱く披露された。

また、池内啓三理事長は、寺内会長が自費でソチ五輪の応援に行かれたこと、2選手への募金活動の先頭に立って協力されたこと、そして募金が1000万円を超えたことも報告され、会場から感動の大きな拍手が起きた。

アトラクションは、クレアーズの皆さん。学生歌や応援歌を華麗に舞いつつ披露し、やんやの喝采。会場も大盛り上がりとなり、巨大な円陣で全員肩を組み、高一弘リーダーの指揮で逍遙歌。「ああ、関大に在籍していたよかったなあ！」

その円陣のまま、首藤俊二副会長の発声により、見事に決まった大阪締め。

最後に、迫匡副会長が出席者への感謝と感動を込めた万歳三唱をもって無事お開きとなった。

（副会長 迫匡
（田中義信法律事務所 06-6316-0348

秋田好廣新支部長ら選出 平均年齢40代の執行部

旭支部（首藤俊二支部長）は、三木允子校友会副会長、迫匡市内支部連合会副会長らを来賓に迎え、12月5日に福寿会館で臨時総会を開催した。

臨時総会では、役員の改選が行われ、新執行部が満場一致で承認された。長きにわたり活躍いただいた首藤支部長から秋田好廣新支部長にバトンタッチし、現教育後援会会長の廣内良明氏が幹事長に就任。その他役員の交代もあわせて「平均年齢40歳代」の新執行部体制となった。

懇親会では、参加者から近況報告が行われ、秋の叙勲で旭日双光章を受章された宮崎順平氏からは、創業時のお話などを聞かせていただいた。

会の締めくくりには、秋田新支部長のご子息秋田哲史氏か



ら、旭支部の更なる発展を祈念してエールが送られた後、参加者全員で肩を組んで逍遙歌を合唱し、和やかに散会となった。

（広報担当 富田忠泰）
（秋田好廣）06-6954-2433

関西法律学校発祥の地 現在の様子写真で回覧

西支部（西村輝和支部長）総会を11月16日、福島のホテル阪神で開催。

第1部総会では、西村支部長の開会の辞、学歌斉唱、11人の来賓紹介の後、三木允子校友会副会長から大学の現状報告等の来賓祝辞をいただいた。

議事では、事業報告、会計報告、会計監査報告が滞りなく承認され、今井一男副支部長の閉会の辞で総会を終了。

記念撮影後、懇親会に移り、武智虎義大阪市内支部連合会副会長の挨拶、澤勲西淀川支部長の乾杯の音頭。歓談中、西区にある関西法律学校発祥の地の現在の様子を撮影されたアルバム（支部長が撮影）が回覧された。

宴半ばで、10人の支部会員による自己紹介があり、恒例のマジックショーを斎城正之大阪中央支部顧問が実演。今回初の企画でビンゴゲームを開催、支部長提供の数々の商品で盛り上がり



り、懇親会は和気藹々と進められた。お開きは逍遙歌を合唱、藤井功生氏（37商）の音頭で万歳三唱し、閉会となった。

（河内克之）
（西村眼鏡店気付）06-6441-4612

住吉大社で総会と互礼会 今年は馬頭琴と相撲甚句

恒例の住吉大社での住吉支部（小林洋司支部長）総会と新年互礼会。寺内校友会長、田中大阪市内支部連合会長、近隣8支部の来賓をお迎えしての正月のイベントである。

巫女さんの舞、お祓い、お神酒を済ませ、今年は品川校友による馬頭琴の演奏。馬頭琴で楽器なんですよ！ご存じでしょうか？モンゴルの楽器です。遊牧民族特有の、馬やラクダをイメージした数曲を演奏してください



った。モンゴルではおめでたい席で必ず演奏されるそう。

乾杯の後には米山校友率いる相撲甚句、相撲に関係するものでなくてはなくユーモア溢れた題材をユーモアあふれた小唄風にアレンジされた唄いで盛り上がり、またアルコールと相撲甚句のアンコールでさらに盛り上がり、今年も住吉支部は元氣なスタートを切った。

3月の「関大130周年事業の一つ蜂須賀桜を母校に咲かせましょう！」の記念バスツアー。そして、スプリングフェスティバル住吉ブリスでは、これまた縁起のよい住吉さんのどら焼き販売と、春に向かい益々元氣モリモリで活動している。

これからも強い関大！頑張ります。
（広報 友成純子）
（小林洋司）06-6673-9063

台湾からの留学生招く 母校の素晴らしさ共有

西淀川支部（澤勲支部長）では、25年度忘年会を井上副幹事長のお店、本町の薬酒活菜・武者で開催した。

六壁、長谷部両副支部長のもと、西山幹事長を中心におおいに盛り上がった。

今回は、台湾からの留学生を4人お招きし、台湾留学生会会長の林育鋒君も、母校関大の素晴らしさを私たちと更に共有したいと述べていた。

この1年、伊勢神宮参拝を起点に多くの行事を終え、来年は出雲大社参拝をスタートとして更に西淀川支部は発展していく所存です。（副幹事長 河野賢治）
（西山正明）06-6474-587



生根神社で御祓い受け かこの屋で懇親会開催

1月12日、西成支部（吉村健治支部長）の新年会が開催され



た。玉出の生根神社にて18人で御祓いを受け、その後「かこの屋」での懇親会には23人が参加した。

吉村支部長の挨拶の後、学歌が始まり、世代を越えての歓談の中に、「お祭り男」の吉川校友が加わり大変盛り上がり、最後は逍遙歌で締めくくった。

二次会は、校友が経営する西区九条のスナック「フリーク」へ行き、和やかに過ごしている、「他の新年会を切り上げて来ました」と田中校友が合流。一層盛り上がり、楽しく過ごし散会となった。(幹事長 花岡宏 (吉村健治) 06-6661-5325)

トンネルの新施工法聞く スケッチ描きながら熱弁

11月21日、ふうふやで25年度第4回目の鶴見支部(迫匡支部長 定例交流会を開いた。
迫支部長(40商)から、9月23日「のどか村ファミリーハイ



キング」、10月20日の校友会総会等々の行事案内のあと、恒例となったマイスピーチは、近藤善重先輩(40文)による「トンネルの今、昔」である。

近藤先輩は、大学卒業後、建設資材会社にて営業職の傍ら、トンネルの施工についての見聞を深め、大手ゼネコンとの仕事が多く、数多くの現場を経験してこられた。

「トンネルは、高度経済成長によりインフラ整備が急速に進められ、高速道路、新幹線の建設等で大断面が要求されてきた。昭和55年頃までは日本では在来工法だったが、ヨーロッパでは既にNATM工法が実用化していた。この工法は、地山自身の岩盤力を利用し、地山を吹付とロックボルトなどで補強しながら、アーチアクションを形成し、トンネル自体を自立させる工法で、まさしく剛にも軽と柔で対処する工法といえる。こうしてコンクリートの一体打設

が可能となり、後々までひび割れ、漏水のないきれいで補修のいらぬトンネルができる」と、スケッチを描きながらの熱弁で近藤先輩に拍手、拍手だった。

そのあと、恒例のお楽しみビンゴゲーム。今回、一番乗りの上田さんの賞品は、年末のお掃除用クレンザーだった。

健康の有難さ淡々と 重里さんが体験語る

1月16日、ふうふやで第5回目の鶴見支部定例交流会を開く。今回は都島支部から香西支部長、池田副支部長も出席いただいた。

迫支部長から、支部ビューティ・レディース女子会の報告や、市内支部連合会総会の参加依頼、6月28日鶴見、都島支部との合同総会を天満橋錦城閣で行うこと、9月3日第6回親睦ゴルフコンペ(四条畷CC)の行事案内等があった。

恒例となった今回のマイスピーチは、重里正信会計部長(54法)による「健康について」だった。

「自身の過去2度にわたる大病をされたときの体験談や健康であることのありがたさを淡々と語られた。一同、他人事とは



思えず、ひしひしと聞き入った次第で、重里さんに拍手、拍手だった。

そのあと、恒例のお楽しみビンゴゲーム。今回、ビンゴで一番乗り都島支部の香西支部長の賞品は、大好きな缶ビール詰め合せだった。和気あいあいと宴が進み、次回3月20日交流会での再会を約束して楽しく散会となった。(幹事長 南畑吉忠)

年末に第2回女子会 十分満腹のぶくぶく

第2回鶴見支部女子会「ビューティ・レディース」は、12月4日の昼、区内キャナリーローで開催。イタリアン料理と飲み物を交えて、楽しい交流会となった。

支部からは、JMSK「ジェムスケ4人組」…J-重里会計部長(54法)、M-南畑幹事長(47工)、S-迫支部長(40商)、K-近藤善重副幹事長(40文)



の4人組

女子会メンバーは、神藤加代子さん(41国)、室本ちえさん(平13商)、加えて協賛会員の谷口さん・前田さん・前田さんの子供2人・梶祐くん3歳・夏穂ちゃん1歳で合計10人。

おいしいイタリアンをいただくながらの自己紹介は、お料理に心が奪われて、耳は空の上、食べきれないほどのランチにピザやベジタブル、飲み物と十分満腹のぶくぶく。

テーブルの料理に気をとられて赤ちゃんを下に落とすやら、ビンゴゲームに熱中している姿を見て、お隣のテーブルさんも入りたそうな様子。あつという間の90分だった。

ビンゴゲームの景品プラスいろいろのお土産も加わって全員大喜び。年末を忘れさすオアシス・女子会だった。

(幹事長 南畑吉忠)

若手中心の新年会開く 出席の半数が20〜30代

大阪中央支部（伊藤晃充支部長）の若手を中心とした新年会が、1月23日、堀江にあるお洒落なビザのお店「ピッツェリア・クオ・レルディーノ」で開催された。参加者16人のうち、半分の8人が20〜30代の若手であり、非常にフレッシュな感じのする集まりであった。



幹事である上野財務副部長の新年の挨拶に始まり、来賓の伊藤支部長に乾杯の発声を頂き、スタートした。如何にも堀江らしい、スタイリッシュな店の雰囲気と料理が好評であった。途中、余興としてクジ引きが行われた。賞品の中には、幹事が百貨店で2時間近く並んで手に入れた人気のお菓子もあり、また、参加者から多数豪華な賞品を提供頂いたこともあって非常に盛

上がり、嬉しいことに参加者全員に賞品が当たることになった。

終始和やかな雰囲気、3時間も続いた新年会の最後に、参加者全員で記念撮影を行い、散会した。

<https://picasaweb.google.com/kwandai/2014124#>

（財務部副部長 上野和雄）
伊藤晃充 0743-71-2285

会則の改正等を決定 会員の老舗で役員会

節分の行事も済ませた2月8日、吉例の大阪中央支部新年役員会を開催した。今年は、北村太一氏（39法）経営のすき焼きの老舗「北むら」にての開催。主な議題は、会則の改定（支部発足以来、会則と実際の運営とに、やや差が生じて来ているため、この際会則を見直そうというもの）。

また、今までは会費を徴収していなかったが、財務の強化のため、若干の年会費をお願いしようという事も決まった。

議事終了後は、当日の長老、佐伯崇邦氏（25経）の乾杯の音頭で懇親会がスタート。プロが焼いてくれる、老舗の関西風すき焼きに舌鼓。溶き玉子で、すき焼きを食べるのは「北むら」の考案と聞き、一つ雑学も増えた。当支部名物の斉城一座のマ

ジックショーで大いに盛り上がり、記念撮影の後、各自ミナミの街へ繰り出した。

（広報部長 矢野茂



移民の現状につき聞く 6月27日に支部総会

北支部（福田平司支部長）は、2月7日、がんこ寿司で新年会を開催した。

昨年10月に亡くなられた前田正前支部長への黙祷に始まり、福田支部長の挨拶、馬場副支部長の乾杯の後、大阪移民法律事務所所の河野聡氏による移民の現状についてのお話し、斉城正之中央支部顧問のマジックショーと進み、会場は大いに盛り上がっていた。

橋本副支部長の閉会挨拶のあと参加者全員肩を組み逍遙歌を合唱、閉会した。

なお、北支部総会は、6月27日（金）18時30分からガーデンシ

ティクラブ大阪で開催される。

（副幹事長 宮本明浩）
市田利夫司法書士事務所
付 06-6375-1336



李英和先生の講演を聞く 特別参加者と活発に交流

経済人クラブ（栗原照次郎会長 第201回例会は、2月17日にホテル阪急インターナショナルで開催され、池内啓三理事長、寺内俊太郎校友会長、一軸浩幸・畑下辰典当クラブ名譽顧問の来賓と、前回200回記念例会に参加いただいた方で経済人を中心に案内した特別参加者を含め76人が出席した。

本間敏司代表幹事の司会で、栗原会長の挨拶の後、今回は経済学部教授・副学部長の李英和先生に、「北朝鮮情勢の現状と今後」最高人民会議代議員選挙の意味するもの」と題して、ご講演いただいた。



李先生は、「北朝鮮と中国の関係は悪化しており、日本と秘密裏に交渉を進めている」「中国に秘密資金を凍結されており、財政が逼迫している。例年幹部に配られていたベンツが今年は中国産の車に代わった。幹部に配る車やお金が無いこともあり、軍部との関係が悪化してきている」など、テレビでは聞けないことや、私たちがマスコミを通じて知っている情報とはまるで違う話を、とても分かりやすく、詳細にお話しいただいた。

その後の懇親会は、来賓紹介の後、池内理事長にソチ五輪や大学入学、就職の現状についてお話しいただき、寺内校友会長の乾杯の音頭で始まった。途中、特別参加の自己紹介や交流でおおいに盛り上がり、志水利達副会長の閉会挨拶で終了した。

（若手会幹事 楠隆夫・平9工）
（校友会事務局気付）06-63
68-0041）

中小企業のM&A聞く まるで企業同士の結婚

経済人クラブ若手会不動産・
建築部会（KURC）（川端康
平部会長）の第14回勉強会・合
同交流会が、2月6日にホテル
阪急インターナショナルで開催
された。

今回は、株式会社M&Aセン
ター情報開発部課長の羽田晶年
氏を講師に招き、『強く生き抜
く中小企業のM&A戦略』のタ
イトルで講演いただいた。

後継者問題を抱えた中小企業
の出口戦略としてM&Aをどの
ように活用するかについて、数
多く事例を基に説明いただき
とても興味深い内容で勉強にな
った。

M&Aと聞くと、乗っ取り、



マネーゲーム、弱肉強食等の悪
いイメージがあるが、羽田講師
が携わられてきた中小企業の
M&A戦略は、まるで企業同士の
結婚と言われるように、友好
的で、お互いの強みを補完し、
企業を発展、存続させるという
ものであり、M&Aに対する考
え方が変わったとの感想を多数
いただいた。

その後の懇親会では、大先輩
から卒業間もない若手まで44人
の参加者が互いに交流を深め
た。初参加の方の自己紹介のほ
か、希望者の各種アピールの場
もあり、和気藹々とした会とな
った。なお、勉強会の様子はホ
ームページにも掲載しています。
<http://ku-keizaijinh.jp>

次回の第15回勉強会・合同交
流会5月22日（木）を予定して
いる。（幹事 瀬弘和・平4社

若手職員が楽しい企画 河野西宮市長など祝辞

西宮市役所秀麗会（掛田紀
夫会長）では、1月31日にノボ
テル甲子園で来賓を含め64人が
出席して総会、懇親会を開催し
た。

総会は、会長の挨拶に始ま
り、校友で会員の河野昌弘西宮
市長、校友会西宮支部長でもあ
る中川経夫顧問から祝辞を頂い
た後、4人の新入会員が紹介さ
れ、その後の議事では全ての議



案が承認された。

引き続き、上谷幸彦顧問によ
る乾杯で懇親会に移り、豪華賞
品が当たる恒例のじゃんけんゲ
ームなど若手職員による楽しい
企画を行い、合同でボウリング
大会を開催するなど、近年、積
極的に交流している校友会西宮
支部の役員の方々をはじめ、ご
来賓の方々、会員一同大いに盛
り上がった。

最後は全員で肩を組んで円陣
になり、中川顧問の指揮で学生
時代に想いを馳せて逍遙歌を合
唱し、大盛況のうちに閉会とな
った。（幹事 北野良太・平2社

組織特別顕彰を受賞 総会で中村会長が報告

11月9日、大阪キャッスルホ
テルで第53回司法書士関大会
（中村博会長）総会並びに懇親
会が行われた。

当日は、北嶋弘一校友会副会
長をはじめ、七士の若手勉強会



「関土会」や応援団OB長柄会
（II部）など友好団体から来賓の
出席をいただき、総勢50人の参
加を得た。

総会は、北田五十一副会長の
開会の辞で始まり、高一弘長柄
会副会長のリードによる学歌斉
唱、物故者への黙祷の後、中村
会長の挨拶があった。

中村会長は、今年は大阪司法
書士会第127回定時総会にお
いて、岸和田支部の中谷豊重会
員が関大出身として4人目の会
長に当選したこと、10月の校友
総会で組織特別顕彰を受けたこ
とを報告。来年の活動方針とし
て、新合格者の把握と研修会等
の行事の充実を述べた。

次に議案審議が行われ、提出
議案の全てが満場異議なく、原
案通り承認された。

来賓を代表して北嶋校友会副
会長と仁井ひろみ女子秀麗会長
から挨拶を頂き、中井邦夫スポ

ーツマンクラブ会長の発声で乾
杯、和やかな懇親の場に移行し
た。

懇親会では、当会参与である
中谷大阪司法書士会会長が、会
の現状と今後の取り組みについ
て抱負を述べられた。今年はア
トラクションとして、サザンマ
ウンテンボーイズのカントリー
演奏があり、会場は大いに盛り
上がった。

高橋一夫相談役の中締めめ
の後、逍遙歌を全員で合唱、本総
会で選任された蒲田隆史副会長
の開会の辞でお開きとなった。

なお、「平成25年度司法書士
試験合格者」及び「司法書士関
大会に入会希望者」は左記の事
務局まで一報下さい。

（幹事長 辻井宏之）
（事務局・中村司法書士事務所
内）06-6705-5678
FAX 06-6705-61
11）

講演「笑いは百薬の長」 健康気遣う会員に特効薬

学部二七年会（畑下辰典会
長）は、25年度総会を11月27日
に肥後橋・徐園で、本部から渡
邊副会長らを迎えて総員25人が
集い開会した。

総会では、畑下会長から「本
年度総会では、卒業60周年総会を
昨年に終えた後に、次ぎの周年
への第一歩との位置付けの下に



躍の母校人間健康学部教授森下伸也先生から、笑いの効果を學問的に体系を立てての解説を賜り、含蓄のある講話に出席者一同改めて意気を新たに、大好評を博した。

懇親会に移り、乾杯の発声に立った羽間法人顧問から、11月27日の開催日設営は「いいつきに・にじゅうななねんかい」と語呂合わせをもって、会の成功を祝したスピーチを賜り、一氣に談笑ムードが広がった。

各テーブルからの代表スピーチに続き、出席者全員の紹介も加わり一段と盛り上がりを見せた。最後は、逍遙歌合唱、万歳三唱の後、紅一点の岩見副会長の閉宴の挨拶で、散会した。

（中野英満）
（畑下公認会計士事務所）06-6773-3871

創立100周年を京都で寿ぐ 舞妓さんの優雅な京舞を観賞

関大阪倶楽部（一軸浩幸理事長）の25年度秋の総会は、11月30日の土曜を利用して、古都の佇まいに歴史と伝統を学び、由緒深い京舞の優雅に親しみ、且つ倶楽部創立100周年の記念総会を意義深く祝賀した。集うもの総勢59人に及ぶ盛況な記念行事となった。

午前9時に大阪を発ち、一路名神高速を京都へ。最初の表千家北山会館に到着。厳肅にして風雅の漂う館内に通されて、特別展「千家2代少庵ゆかりの茶道具展」ほか表千家の系譜を学び、お点前一献をいただいた。

総会・昼食会場のリーガロイヤルホテル京都に到着。ここでは、今回全面的な協力をいただいた京都支部の牧村史朗支部長



はじめ役員の出迎えを受けた。定例総会も簡潔に止め、威儀を正した京舞の妙技に親しみ、記念式典に相応しく、大正2年に先人のほとぼる母校愛から発足した、倶楽部の歴史を回顧し、宮川町の舞妓さんが手ける杯に、祝宴も最高潮。お馴染みの斉城正之会員のマジックショーを楽しみ、惜しまれつつ閉宴とした。

午後は、東本願寺・涉成園の庭園美を鑑賞し、100周年記念品の特製「扇子」と内藤稜児会員提供の26年度卓上カレンダー「日本の灯台」を手土産に帰路についた。

3月に「文化講演会 成功に向け一致団結！」文化会OB会章文会（渡部基義会長）は、12月14日、此花区西九条の料亭で忘年会を開催した。19人の参加で、前国会議員や大手ホールの元役員などの先輩方の参加もあった。

腹話術のアトラクションがあり、会場は爆笑の渦に包まれ、平岡昭雄副会長から大吟醸「児島惟謙」の差し入れもあった。

渡部会長から、3月23日に葦文会初の試みである「文化講演会」実施に協力の依頼があり、成功させようとの力強い言葉を



法科大学院同窓会を設立 開校以来761人が修了

2月12日、千里山キャンパス校友・父母会館で関西大学大学院法務研究科同窓会（関大法科大学院同窓会）の創立総会が開催された。

官公庁など、多方面で活躍している。そこで、これら多くの校友ら



本学法科大学院は、司法制度改革に伴い、実務法曹養成のための専門職大学院として平成16年4月に創立され、以来、平成25年10月までに761人もの修了生を輩出している。本学法科大学院を修了した校友は、法律の専門的知識を活かして、法曹関係、司法書士や行政書士等の専門職、あるいは、民間企業や

の親睦を深めるとともに、司法試験合格を目指す学生・修了生の後方支援、あるいは公務員試験や企業への就職サポート等を行うことを目的として、同窓会を創立して校友会へ正式に団体登録の申請をすることとなった。

創立総会の会場には、ご多忙の折、また平日夕方にもかかわらず、校友会から田中義昭副会長、田中義信組織部長、加藤安宏学生支援部長、大学から法学科大学院名誉教授でもある栗原宏武法人評議員会議長、木下智史法務研究科長、同教学主任の村上幸隆教授に来賓としてご臨席賜り、ご祝辞を頂戴した。

また、発起人が事前に予想していたよりも遙かに多い約60人の出席を得て、役員選任では自ら幹事に立候補する校友も複数おられるなど、同窓会創立の意義や今後の活動について、活発に議論がなされた。その後、同窓会の規約が満場一致で承認され、吉村卓輝代表幹事（平19専法）その他の役員を選出して関大法科大学院同窓会が創立された。

さらに、創立総会閉会後は懇親会が行われ、集まった校友の間で、各々在学当時の思い出話や近況報告等を行い、時間を忘れて盛り上がった。

今後は、校友会本部のご支援を賜りながら、在学生と修了生相互の親睦及び苦境にある法科大学院の支援活動等を精力的に進めて参りたいと考えている。

（副代表幹事 大住洋

小川社会学部部長も出席 17年には学部創立50年

社会学部同窓会（横山豊会長）は、1月19日に新大阪ホテルで新年懇親会を開催し、小川博司社会学部長と会員15人が出席した。

懇親会は、小川先生の社会学部の現況を交えたスピーチを皮切りに、和氣満々の内に始まった。特に大学の130周年へ向けての動向や、社会学部が2017年に創立50周年を迎えること等が話題となった。

社会学部内でも、130周年と50周年を合わせた形で記念の企



画を検討中とのことだった。私ども同窓会も、それに合わせて準備を進めたいと思う。

いつものことながら、同窓生個人の現況発表を聞きながら、皆、それぞれの道を着実に、より力強く、たくましく歩んでい

ると感じた。
来年の新年懇親会の日程はまだ決まっていないが、次回の幹事会で決定し、会員の皆さんにお知らせする予定です。

（会長 横山豊

（横山豊）075-961-104

バスで冬の丹波篠山へ 城址見学とぼたん鍋

各地で雪が降り、バスの運行を心配した翌日、2月9日の朝の青空の下、女子秀麗会（仁井ひろみ会長）第14回楽塾企画「冬を楽しむ」のバスは、校友会や他支部等からのゲストの参加も得て、総勢44人を乗せて賑やかに篠山城址を目指して出発。

篠山では、地元ボランティアガイドの案内で篠山城址・大書院・青山歴史村を見学した。

昼食は、囲炉裏料理の「いわや」でのぼたん鍋。バスを降りると目の前に茅葺き屋根と水車の田舎家が目に入った。雪を踏みしめて入った玄関の先には、いくつもの囲炉裏が有り、炭火の上的鍋からの湯気がほっこり



暖かい雰囲気。赤味噌仕立ての出汁にお肉のなんと柔らかい。

斉城先輩（28経）の手品も面白く、笑いとおしゃべりも尽きない中、味土里館へ出発。その後、兵庫県立陶芸美術館で、芸員さんの概要説明を受けながら立杭焼や出石焼などの陶器を鑑賞して冬の一日を楽しみ、帰路についた。

（広報部幹事 隠岐美穂子・49文（仁井ひろみ）06-6925-1821）

各界で活躍の論客集う 大学の諸問題熱く語る

12月24日、15人が参加して清交社関大会（加藤拓会長 忘年のつどいが、ANAクラウンプラザホテル大阪で開かれた。

加藤会長の挨拶の後、小寺一矢氏の乾杯の音頭でフランス料理コースに舌鼓。当会が、9月の本部常議員会で登録組織として承認されたことの報告の後、



アルコールが入りだすと話が大いに盛り上がりつつあった。

まず、五輪出場を決めたフィギュアスケートの高橋、町田両選手の話に入ると、大学のスポーツ推薦の取組姿勢に対し様々な意見交換となった。

また、今最大の関心事である司法試験合格者の減少に歯止めがかからないことへの危機感から、法科大学院はどうあるべきかについて、弁護士の見玉憲夫氏や小寺一矢氏が現状認識と私見を述べられた。

さらに、元校友会長の畑下辰典氏からは、大河ドラマ「八重の桜」の話から転じて、新島襄（同志社）と児島惟謙（関大）の人物像、戦後の新学制、当時の関大を動かしてきた人物像を生きた字引の如く熱く語られ、あっという間の2時間となった。さすがに関大OBとして各界

で活躍された論客の集いで、議論が大いに盛り上がったところで、来年の再会を祈念してお開きとなった。 (幹事 松永明)
(清交社気付 06-6341-8001)

こんぴらさんの麓で総会翌日はオプショナルツアー

秀麗寮士会 (市場康雄会長 四国支部 (山下暁支部長) の25年度総会が、11月24・25日に「こんぴらさん」で有名な琴平町で開催された。

今回の総会は、急遽香川県で実施されたことや平日に掛ったこともあったのか参加者が10人という少し寂しいものとなった。しかし、総会終了後の交流会は、敷下幹事(42経)の司会の下、学生時代や寮生活を懐古しながら一献を傾け、ワイワイと賑やかに楽しいひと時を過ごす事ができた。また、25日のオプショナルツアーは、前夜来の雨も暫し止み一部青空を垣間見ながら金刀比羅宮のお参りや有名な丸山応挙のふすま絵などがある表書院を拝観し、江戸時代ヘタムスリップをしたようであった。

総会の方は、議事として23・24年度の事業報告と収支決算、25・26年度の事業計画と収支予算(総会が隔年開催)等が審議され、全員異議なく承認された。



議論の中で、古希記念品(当支部では対象者に贈呈)の品物を高級なものにするとか、会費の徴収率の向上等について話し合われたが結論が出ず、今後の検討課題とすることになった。

次回は、27年度に徳島県で開催することになった。是非、多くの寮友が参加されることを今から期待している。

◎幹事長 吉本敏彦・44歳
(吉本敏彦 0877-32-3890)

村井名誉教授叙勲祝賀会「生涯現役で研究活動」

12月15日、関西大学100周年記念会館で行われた村井正名誉教授の叙勲祝賀会に100人を超えるOBたちが参加した。祝賀会は、関大OB代表の上野義治氏の開会の辞で始まり、お祝いムード一色に包まれた。

先生が受章された瑞宝中綬章は、永年にわたる国際租税法を



はじめとする我が国の租税法分野における著しい功績が認められたものである。それでも、先生は、この名誉ある章を受けられるか、少し迷ったと仰った。なぜなら、叙勲の栄を賜うことは、研究者としての卒業を意味するのではないかと感じたからである。

しかし、11月11日に、皇居で天皇陛下に拝謁され、「日本国の象徴、日本国民の統合の象徴」にふさわしいオーラを感じ、この受章が新たな研究のスタートとしての励ましになったそうである。

先生は、最後の挨拶で、「大勢の皆さまに祝宴をして頂き感謝します。私の好きなロマン・ローランの言葉を引かせて頂きます。『生とは休戦のない容赦のない闘いで、人間に値する者は生を止めるまで闘わなければならない』これを、お礼の言葉とさせていただきます」と結ばれ、

生涯現役での研究活動を誓われた。(三宅一成)

米寿迎え益々「壮健」廣田先生を励ます会

廣田司朗先生と薫風が満ちる時を楽しく過ごしているゼミOB等が、先生にお元気で過ごしていただくとうと気候の良い11月にと決め、爽やかな青空の下に「米寿」を迎えて益々壮健に過ごしていただけるよう、先生を見舞おうと集まった。

各地で輝く千陵の丈夫36人が待つ会場に來られてスピーチを頂いた。…楽しく過ごして逍遙歌を唄い中締めとなり、表玄関前で記念写真を撮り、次回の再会を誓った。(南栄一・49学商)



現役の活躍を皆で応援 全員母校に愛着と関心

一年前元氣だったのに、今年は境遇が変わるゝそんな年にな

ったんだと感じながら、第10回目の38年卒体育会・応援団OB会を、今年も元氣な仲間と語り合えるひと時を持つことができた。

11月6日、今年は、場所を新阪急ホテル内・白楽天に移し、この会を楽しみにしている仲間のうち13人が参集。

今年4月に、体育OB・OG会第9代会長に就任した女川隆君に乾杯と激励。彼からの挨拶並びにこの一年の体育会現役の活躍状況について、配られた資料を参考に説明を受けた。

素晴らしい数年前のサッカー部の今の低迷、野球部は何年優勝から遠ざかっているのやゝ優勝の味を味わって欲しいなあ!監督も変わったし期待しよう!など、色々なクラブの話題で今回は終始した。皆で一層の活躍を期待し、しっかり応援しようという意見で一致した。





やっぱり、全員が母校に愛着と関心があるのを感じた。来年は20人程の参加を目標にし、和気藹々のうちに散会した。

（野球部 草川雄二）

44年ぶりに母校を訪問 キャンパスの充実に感動

10月28日、文化会奇術研究部OBの昭和44年および45年卒業生と同伴者の17人が、44年ぶりに大阪に集まり母校を訪問した。

同伴者の「出身校を見たい」との強い希望により実現したもので、正門・高松塚古墳壁画再現展示室・豊臣期大坂城の屏風・凜風館を見学し、校友父母会館を使わせていただき学生時代の思い出話を過ごした。

前日は万博公園、当日朝は箕面公園を散策したが、千里山キャンパスの見学にも疲れを見せず、一同はその充実ぶりに感心・感動した。（OB会会長 温井康之）



晩秋の絶好のコンディションであり、ゴルフを通じて交流を図り、楽しいコンペとなった。

プレー後、表彰式会場にて、守口支部の伊勢重治氏（44法）に優勝のトロフィーが渡された。その後、寝屋川市選出の北川法夫府会議員に、大阪府政についての報告をして頂いた後、次回の大会は門真支部が幹事役を務める事を確認して散会した。

（寝屋川支部副支部長 今井邦昭・昭42終）

北河内6支部から20人 優勝は守口・伊勢重治氏

北河内支部親睦ゴルフ大会が、寝屋川支部（清水英俊支部長）の幹事で10月29日に交野カントリー倶楽部で開催された。守口、門真、寝屋川、大東、四條畷、枚方支部から20人が参加した。



初参加の谷添氏が優勝
紅葉の中プレー楽しむ

11月24日に奈良OGMゴルフクラブで大阪中央支部（伊藤晃充支部長）秋季ゴルフコンペを開催した。お天気にも恵まれ快晴のもと、校友18人が紅葉を鑑賞しながらゴルフを楽しんだ。

熱戦の後、ひと風呂浴びて表彰式と懇親会。参加賞を含め全員に賞がある中で、初参加の谷添剛士氏が見事に優勝。2位光成和晃、3位成岡昭二の各氏。また、ベストグロスは石川雅一幹事長だった。次回は4月20日（日）にオレンジシガCで春のコンペを開催します。奮っての参加をお待ちしています。

（事業部長 前田典亮
伊藤晃充 0743-71-2285）

エッジ品質を学ぶ バリ取り・エッジ仕上げを知る。

わが国のものづくり復活に向けた動きの中、製品の高機能化、高性能化、高精度化など、さらなる高付加価値化の流れに時宜を得た刊行です。バリ取りは、金属などの材料を切ったり削ったりした際に、製品を構成する部品の端部（エッジ部）にできる出っ張り（バリ）を取り除くことであり、エッジ仕上げは、エッジ部でできたバリを単に除去すると



北嶋弘一（昭44M工）著
『バリ取り・エッジ仕上げ大全』
日刊工業新聞社刊
定価3600円＋税



いうことでなく、エッジ部をどのような品質に仕上げるかという事です。これらの技術はバリテクノロジーと呼ばれています。

本書は、（株）日刊工業出版プロダクション刊行の『機械技術』に、平成23年7月から連載されてきた「バリ取り・エッジ仕上げ技術」を学ぼう！―基礎から応用まで―をまとめたものです。

「バリは、なぜ発生するか」、「バリは、なぜ除去しなければならないか」、「バリはどのような方法で除去するか」など、ものづくりの現場における永遠の課題について、体系的に学び、知ることによって解決のヒントが確実に得られる内容で、まさにバリテクノロジーに関する大全となっています。

内容は、全13章で構成。部品に求められる「エッジ機能」と製品の精度設計、部品の生産工程において採用されている各種加工法によって生成されるバリの生成メカニズム、製品の生産の流れの中で生産設計段階におけるバリの抑制対策、「エッジ品質」保証のためのバリ・エッジの寸法・形状の定量化、エッジの設計図面上への指示方法、エッジ品質のJIS化、バリ取り・エッ

(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。



結婚

年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に関西大学校友の皆様には平成16年より「関大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

登録料

50%OFF

ブライダルコース
¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース
¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>

<http://www.bridal-vip.net/m/>

右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



株式会社 **ブライダル**

名古屋本社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

Network/東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪